

令和 7 年度 仕様書

工事名称 川越市立仙波小学校トイレ改修工事
工事場所 川越市富士見町 4 番地 1

【工事の概要】
川越市立仙波小学校校舎棟のトイレを改修する工事である。

構造・規模		
普通・特別教室棟	R C 造	地上 2 階建て
管理・特別教室棟	R C 造	地上 4 階建て
1 建築工事	一式	
2 機械設備工事	一式	

本工事は、「週休 2 日制適用工事（現場閉所型）」である。

[illegible]

[illegible]

[illegible]

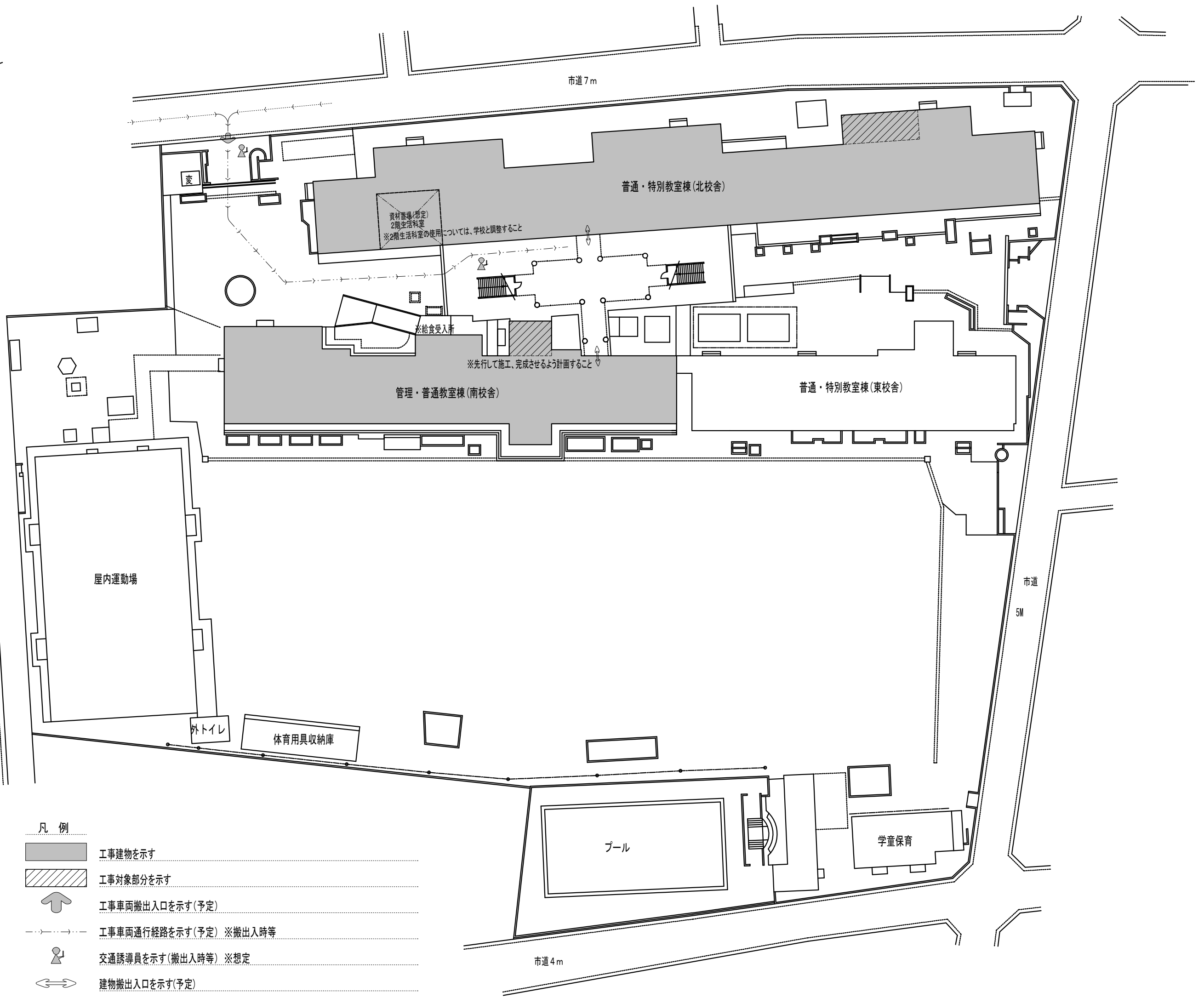
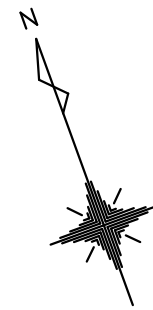
川越市立仙波小学校トイレ改修工事

図 面 リ ス ト

図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称
A－01	特記仕様書(改修その1)	M－01	機械設備工事 特記仕様書
A－02	特記仕様書(改修その2)	M－02	現況 給排水衛生設備撤去器具表・換気設備撤去機器表
A－03	特記仕様書(改修その3)	M－03	改修 給排水衛生設備新設器具表・換気設備新設機器表
A－04	特記仕様書(改修その4)	M－04	現況 給排水設備 系統図
A－05	特記仕様書(改修その5)	M－05	改修 給排水設備 系統図
A－06	案内図・配置図	M－06	給排水設備 1階平面図
A－07	1階平面図	M－07	給排水設備 2階平面図
A－08	2階平面図	M－08	給排水設備 3階平面図
A－09	3階平面図	M－09	給排水設備 4階平面図
A－10	4階平面図・仕上げ表	M－10	現況 北校舎 東トイレ 給排水衛生設備平面詳細図
A－11	現況 北校舎 東トイレ 平面詳細図	M－11	改修 北校舎 東トイレ 給排水衛生設備平面詳細図
A－12	改修 北校舎 東トイレ 平面詳細図	M－12	現況 南校舎 東トイレ 給排水衛生設備平面詳細図
A－13	現況 南校舎 東トイレ 平面詳細図	M－13	改修 南校舎 東トイレ 給排水衛生設備平面詳細図
A－14	改修 南校舎 東トイレ 平面詳細図	M－14	現況・改修 北校舎 東トイレ 換気設備平面詳細図
A－15	現況・改修 天井伏図	M－15	現況・改修 南校舎 東トイレ 換気設備平面詳細図
A－16	建具表		

[illegible]

10 鉄筋工事	①鉄筋	鉄筋の種類 (5.2.1) 種類 呼 び 径 (mm) 備 考 ○SD295 ※D16以下 ・SD345 ※D19以上 ・ ・ ・ 形状等 (5.2.2) 種 類 種類の記号 網目の形状、寸法、鉄線の径(mm) 使用 部 位 ・溶接金網 ・鉄筋格子 鉄筋の継手方法等 (5.3.4) 部 位 継 手 方 法 呼 び 径 (mm) 柱、梁の主筋 ガス圧接 ・機械式継手 ※D19以上 溶接継手 耐力壁の鉄筋 重ね継手 ・ 基礎、耐圧スラブ、土圧壁 重ね継手 ・ガス圧接 その他の鉄筋() ①重ね継手 ・ 継手位置 ・図示による(構造関係共通図(配筋標準図)5.1、6.1、7.1、7.3、8.1) ・基礎梁主筋の継手位置・図5.2・図5.3・図5.4 ・図示による() 柱及び梁の重ね継手の長さ ・図示による() 耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さ ※図示による(構造関係共通図(配筋標準図)3(1)(ウ)) ・図示による() 柱及び梁の主筋で隣り合う継手を同一箇所に設ける部分の位置及び施工方法等 ・図示による() 鉄筋の定着長さ (5.3.4) ・図示による() 機械式定着工法 運用場所 ・図示による() 種類 ・摩擦圧接結合 ・飯合グラウト固定 工法 ※第三者機関の評定等を取得している工法とする 必要定着長さ ※評定等の評価内容による 補強筋形状 ※評定等の評価内容による かぶり厚さ ※評定等の評価内容による 品質確認 ※評定等の評価内容による 検査 ※評定等の評価内容による	コン ク リ ー ト 工 事	①コンクリートの種類等 (6.2.1) 種類 ※Ⅰ類(JIS A 5308 への適合を認証されたコンクリート) ・Ⅱ類(JIS A 5308 に適合したコンクリート) 普通コンクリート (6.2.1～6.2.4) 設計基準強度 (N/mm2) 気乾単位容積 (t/m3) スラブ 適用 箇 所 ○24 2.3程度 15又は18・18 ・ ・ ・ ・ 構造体強度補正值(S) (6.3.2) ※標準仕様書 表6.3.2による 補正值S=3(月 日～ 月 日、 月 日～ 月 日) S=6(月 日～ 月 日、 月 日～ 月 日) ・ 種類 (6.3.1) ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は フライアッシュセメントA種 適用箇所(※下記以外全て ()) 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和 熱が7日目で 352J/g以下、かつ28日目で 402J/g以下のものとする。 ・高炉セメントB種 ㊤ 適用箇所(・1FLより下部(立上り部含む) ()) ・フライアッシュセメントB種 ㊥ 適用箇所(・ ()) ③骨材 (6.3.1) アルカリシリカ反応性による区分 ※A・B(コンクリート中のアルカリ総量が 3.0 kg/m3 以下) ④混和材料 (6.3.1) ○混和剤 混和剤の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(a)による () ○混和材 混和材の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(b)による () 5 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地 (6.6.4) 打継ぎの位置 梁及びスラブ ※スバンの中央又は端から1/4の付近 ・図示による() 柱及び壁 ※スラブ、壁梁又は基礎の上端 ・図示による() 目地の寸法 (6.6.4)(6.8.1)(9.7.3) ・標準仕様書 9.7.3(1)(ア)による () ※ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、躯体外側の打増し部で処理する ・図示による() ひび割れ誘発目地の位置、形状、寸法 (6.8.1) ・図示による() 6 湿潤養生 (6.7.2) 湿潤養生の期間 ・セメントの種類が普通エコセメントの場合 ()日 ⑦コンクリートの仕上り (6.2.5)(6.8.2) 合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ 種 別 適用 箇 所 ・A種 ※図示による() ・B種 ※図示による() ○C種 ※図示による(床面) () コンクリートの仕上りの平たんさ 種 別 適用 箇 所 ・a種 ※図示による() ・b種 ※図示による() ・c種 ※図示による() 8 打増し厚さ(打放し仕上げ部) (6.8.1) 打増し厚さ ・打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) ・20mm ・打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る) ・10mm ・20mm ・外装タイル後張り面の打増し処理 ・20mm 打増し範囲 ・図示による() ・ ⑨型枠 (6.8.2) せき板の材料及び厚さ ○合板(※12mm ㊤㊥) コンクリート打設時の充填性の確認のため、型枠の一部に透明型枠等を使用する場合は、強度、変形等について、事前に監督員と協議する。 ・断熱材を兼用した型枠の使用 適用 箇 所 ・図示による() ・MOR工法用シーートの使用 適用 箇 所 ・図示による() 打増し厚さ・20mm 打増し範囲・図示による() ・ スリーブの材種・規格等 ・図示による() ・ 存置期間及び取外し (6.8.4) ※標準仕様書6.8.4による ・普通エコセメントの場合(※図示による() ()) 10 軽量コンクリート (6.10.1、2) 適用箇所 ・図示による() 種類 ・1種 ・2種 気乾単位容積質量 ・標準仕様書 表6.10.1による () スラブ ※21cm	11 寒中コンクリート (6.11.1、2) 適用期間(月 日～ 月 日) 構造体強度補正值(S)を積算温度を基に定める場合 ・図示による()、S=()・ 12 暑中コンクリート (6.12.2) 適用期間(月 日～ 月 日) 構造体強度補正值(S) ※6N/mm2・図示による()、S=()・ 13 マスコンクリート (6.13.1、2) 適用箇所 ・図示による() セメントの種類 ・普通ポルトランドセメント・中熱ポルトランドセメント・低熱ポルトランドセメント ・高炉セメントB種・フライアッシュセメントB種・シリカセメント 混和材料の適用 ・あり(・標準仕様書6.13.2(2)(ア)による・標準仕様書6.13.2(2)(イ)による) スラブ ※15cm 構造体強度補正值(S) ※標準仕様書表6.13.1による 14 無筋コンクリート (6.14.1) コンクリートの種類 ※普通コンクリート セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は フライアッシュセメントA種 ・高炉セメントB種 ㊤ ・フライアッシュセメントB種 ㊥ 設計基準強度 ※18(N/mm2) スラブ ※15cm又は18cm 適用箇所 ※標準仕様書6.14.1(4)による箇所 ・図示による() 15 コンクリートの単位水量測定 実施要領 (1)単位水量の測定は、150m3に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2)単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(イ)(c)による。 (3)単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。 1)測定した単位水量が、計画調合書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m3の範囲にある場合はそのまま施工する。 2)測定した単位水量が、設計値±15を超過±20kg/m3の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後、設計値±15kg/m3 以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 3)設計値±20kg/m3 を超える場合は、生コンを打込みずしに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m3以内であることを確認する。更に、設計値±15kg以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 4)3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。 (4)単位水量管理についての記録を書面(計画調合書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により提出する。 (5)単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、エーメー法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。
	2 溶接金網				
	③鉄筋の継手				
	④鉄筋の定着				
	⑤鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(溶接金網含む)				
	⑥各部配筋				
	7 ガス圧接				
	8 機械式継手				
	9 溶接継手				



配 置 図 S=1/500

凡 例

- | | |
|---|------------------------|
|  | 工事建物を示す |
|  | 工事対象部分を示す |
|  | 工事車両搬出入口を示す(予定) |
|  | 工事車両通行経路を示す(予定) ※搬出入時等 |
|  | 交通誘導員を示す(搬出入時等) ※想定 |
|  | 建物搬出入口を示す(予定) |

※仮設計画は周囲の状況を調査し、仮設計画図を作成の上、監督員の承認を受ける事。

※工事用駐車場は施設と協議の上、決定すること

※仮囲い範囲外の工事はカラーコーン等で随時区画し安全に配慮すること。

※給食配送車等の通行に支障が生じないように注意すること。



齊藤出建築設計室

一級建築士 第326081号 齋藤 出



檢 印



設計

設計年月日
R 7 . 3 . 1 5

変更年月日
R 7 . . 0 0

工事名称 川越市立仙波小学校トイレ改修工事

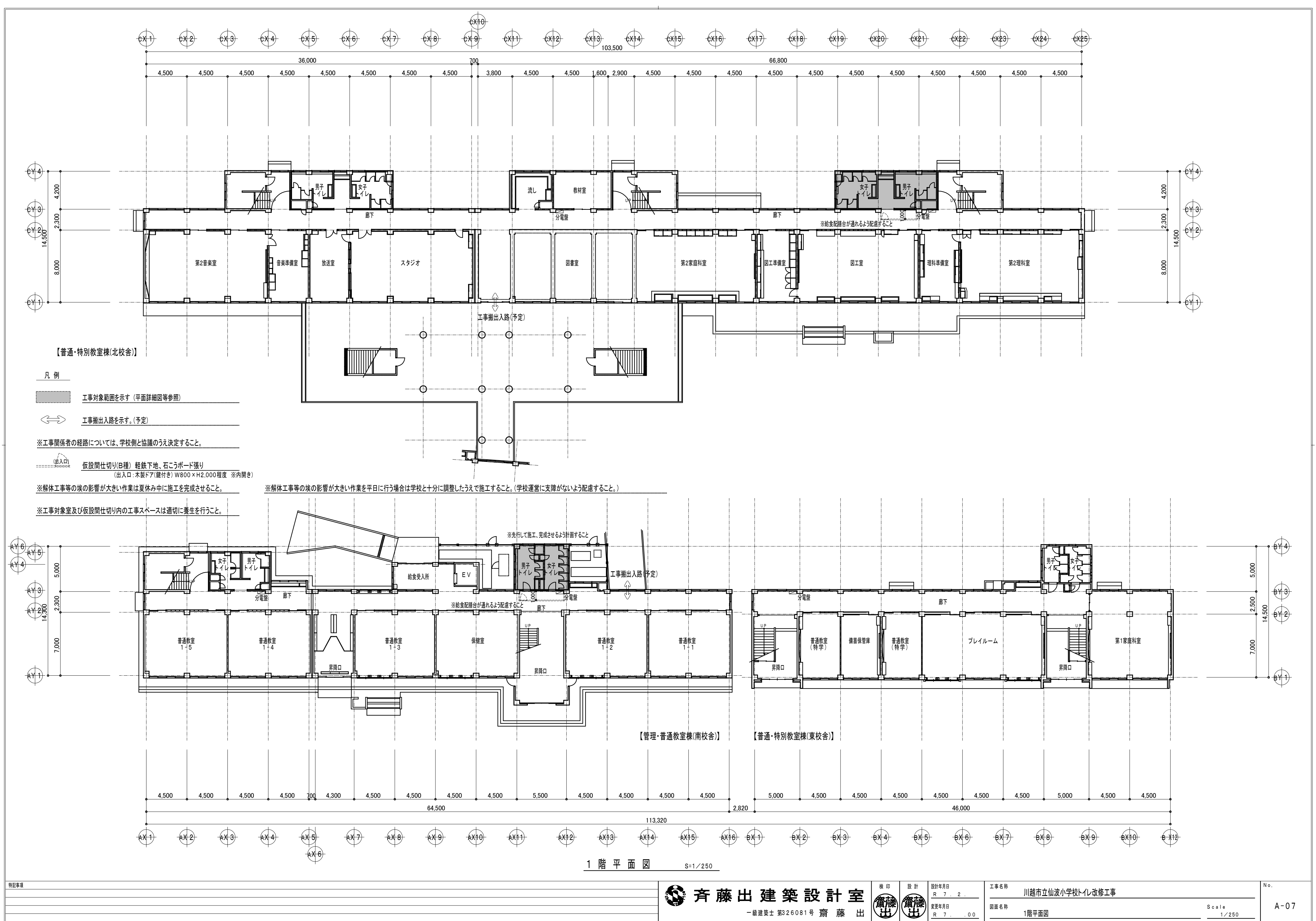
図面名称 案内図・配置図

Scale
1/500

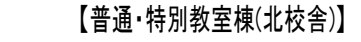
•

- 06

特記事項



1 階 平 面 図 S=1/250



工事対象範囲を示す（平面詳細図等参照）

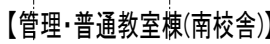
※工事関係者の経路については、学校側と協議のうえ決定すること。

==== (出入口) 仮設間仕切り(B種) 軽鉄下地、石こうボード張り
(出入口:木製ドア(鍵付き) W800×H2,000程度 ※内開き)

※解体工事等の埃の影響が大きい作業は夏休み中に施工を完成させること。

※工事対象室及び仮設間仕切り内の工事スペースは適切に養生を行うこと。

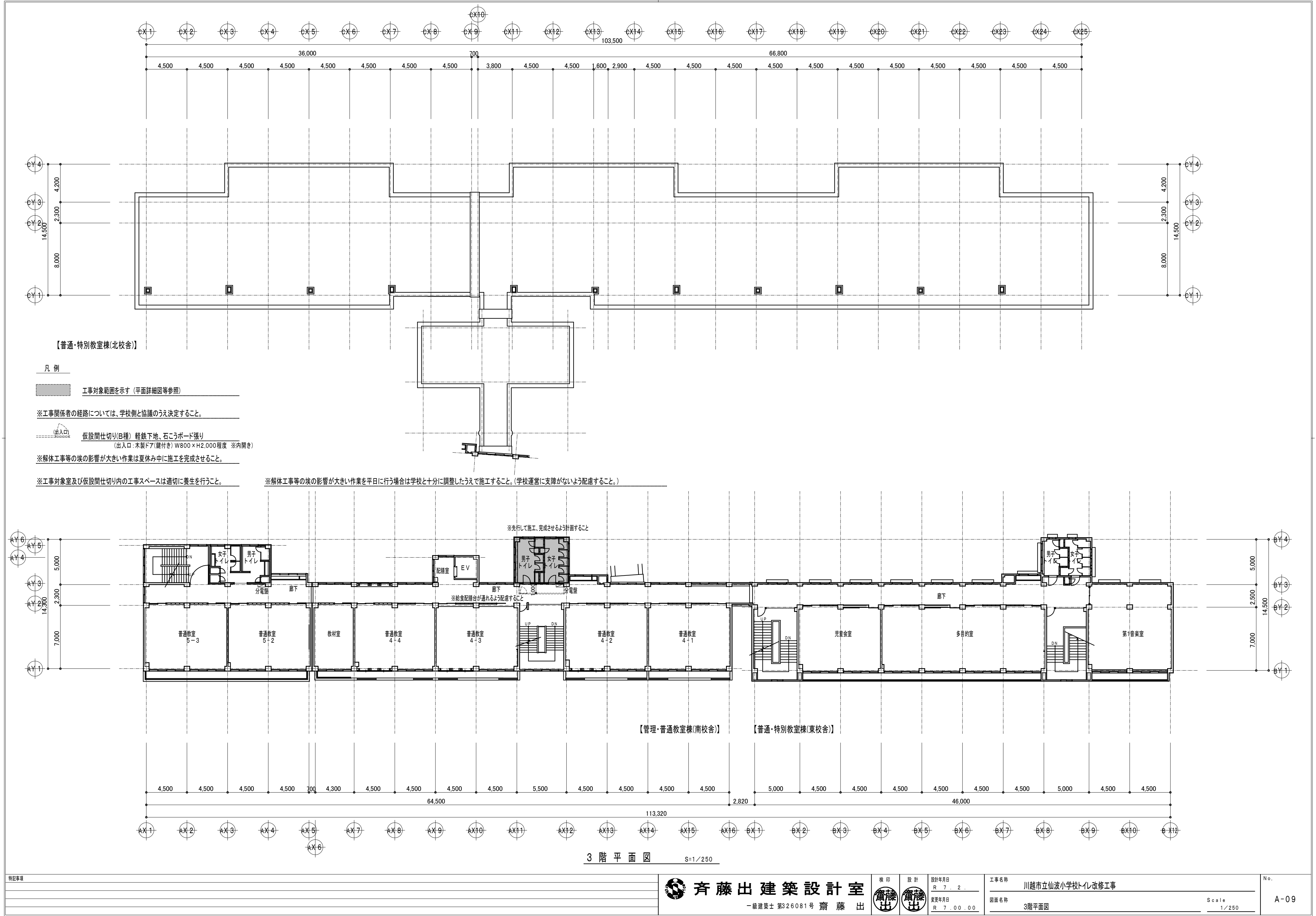
※解体工事等の埃の影響が大きい作業を平日に行う場合は学校と十分に調整したうえで施工すること。(学校運営に支障がないよう配慮すること。)



【普通・特別教室棟(東校舎)】

2 階 平 面 図 S=1/250

特記事項	 斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋藤出	検 印 	設 計 	設計年月日	工事名称	No.	
				R 7 . 2 .			川越市立仙波小学校トイレ改修工事
				変更年月日	図面名称	Scale	
				R 7 . . 0 0	2階平面図	1/250	A-08



内部仕上表

校舎	階数	室名	改修前・後	床	巾木	壁	天井	天井高	備考
北校舎（東トイレ）	共通 （1～2階）	男子トイレ	改修前	磁器モザイクタイル アスファルト防水層（※アスベスト含有建材レベル3）	陶器質100角タイル	陶器質100角タイル	フレキシブルボード t＝6（※アスベスト含有建材レベル3） 【撤去】天井下地とも	2,500	トイレブース【撤去】
			改修後	ビニル床シート t＝2.0【新設】 嵩上げコンクリート【新設】 h＝30	SUS巾木 h=60【新設】 （新設ライニング）	部分壁補修：樹脂モルタルのうえ、塗装（EP-G） 袖壁補修：樹脂モルタルのうえ、塗装（EP-G）	化粧石こうボード t＝9.5（廻り縁：塩ビ） 天井点検口【新設】、天井埋込換気扇【新設】	2,450 （床嵩上）	トイレブース【新設】 ライニング【新設】（小便器）
		女子トイレ	改修前	磁器モザイクタイル アスファルト防水層（※アスベスト含有建材レベル3）	陶器質100角タイル	陶器質100角タイル	フレキシブルボード t＝6（※アスベスト含有建材レベル3） 【撤去】天井下地とも	2,500	トイレブース【撤去】
			改修後	ビニル床シート t＝2.0【新設】 嵩上げコンクリート【新設】 h＝30	SUS巾木 h=60【新設】 （新設ライニング）	部分壁補修：樹脂モルタルのうえ、塗装（EP-G） －	化粧石こうボード t＝9.5（廻り縁：塩ビ） 天井点検口【新設】、天井埋込換気扇【新設】	2,450 （床嵩上）	トイレブース【新設】 ライニング【新設】（掃除用流し）
南校舎（東トイレ）	共通 （1～4階）	男子トイレ	改修前	磁器モザイクタイル アスファルト防水層（※アスベスト含有建材レベル3）	陶器質100角タイル	陶器質100角タイル 既存CB壁【撤去】	フレキシブルボード t＝6（※アスベスト含有建材レベル3） 【撤去】天井下地とも	2,500	トイレブース【撤去】
			改修後	ビニル床シート t＝2.0【新設】 嵩上げコンクリート【新設】 h＝40	SUS巾木 h=60【新設】 （新設ライニング、新設LGS壁）	部分壁補修：樹脂モルタルのうえ、塗装（EP-G） LGS壁（化粧けい酸カルシウム板 t＝6張り仕上げ※下張りあり）【新設】	化粧石こうボード t＝9.5（廻り縁：塩ビ） 天井点検口【新設】	2,450 （床嵩上）	トイレブース【新設】 ライニング【新設】（小便器、流し台※1階のみ）
		女子トイレ	改修前	磁器モザイクタイル アスファルト防水層（※アスベスト含有建材レベル3）	陶器質100角タイル	陶器質100角タイル 既存CB壁【撤去】	フレキシブルボード t＝6（※アスベスト含有建材レベル3） 【撤去】天井下地とも	2,500	トイレブース【撤去】
			改修後	ビニル床シート t＝2.0【新設】 嵩上げコンクリート【新設】 h＝40	SUS巾木 h=60【新設】 （新設ライニング、新設LGS壁）	部分壁補修：樹脂モルタルのうえ、塗装（EP-G） LGS壁（化粧けい酸カルシウム板 t＝6張り仕上げ※下張りあり）【新設】	化粧石こうボード t＝9.5（廻り縁：塩ビ） 天井点検口【新設】	2,450 （床嵩上）	トイレブース【新設】 ライニング【新設】（流し台※1階のみ）

凡 例

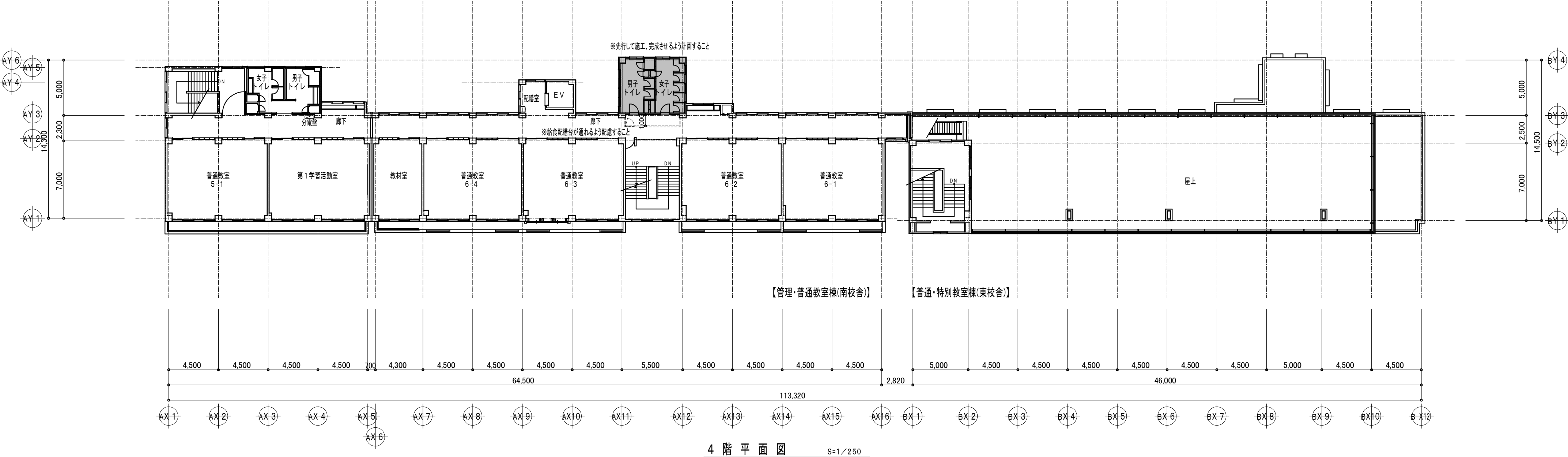
工事対象範囲を示す（平面詳細図等参照）

※工事関係者の経路については、学校側と協議のうえ決定すること。

仮設間仕切り(B種) 軽鉄下地、石こうボード張り
(出入口：木製ドア(鍵付き) W800×H2,000程度 ※内開き)

※解体工事等の埃の影響が大きい作業は夏休み中に施工を完成させること。 ※解体工事等の埃の影響が大きい作業を平日に行う場合は学校と十分に調整したうえで施工すること。(学校運営に支障がないよう配慮すること。)

※工事対象室及び仮設間仕切り内の工事スペースは適切に養生を行うこと。



4 階 平 面 図 S=1／250

現 況

凡 例

 撤去範囲を示す

※衛生器具の撤去は機械設備工事参照。

※凡例以外の事項は図示による。

床撤去(和便)及び(器具) 詳細図参照(和風便器、床排水金具、床下掃除口撤去部)

床改修:床嵩上げのうえ、直張り仕上(床現況仕様は床撤去詳細図による) ※施工範囲は室内全域

袖壁:一部補修あり

PS扉撤去:扉のみ撤去(520×1,570) 計2箇所

PS扉・掃除具入扉塗装:塗替え

トイレブース撤去:木製 H=1,900 (※トイレブース撤去後の壁・補修)

床下点検口撤去:600×600、カッター入れ、周囲はつり撤去(仕上、下地、躯体) ※床撤去仕様は床撤去(和便)参照)

手摺撤去:ステンレス製小便器用手摺 W600×D560×H470

ライニング撤去:撤去範囲周囲カッター入れ(躯体部はカッター入れしないこと)のうえ、CB積みライニング(天板入造研石t30)撤去

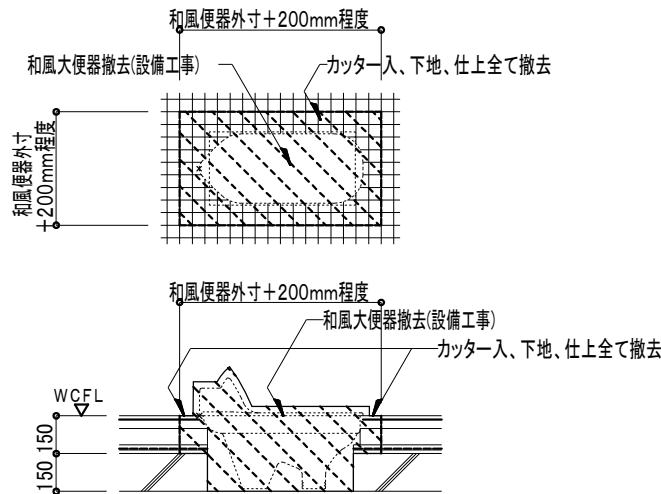
現況床仕様

躯体:コンクリートスラブ t=150

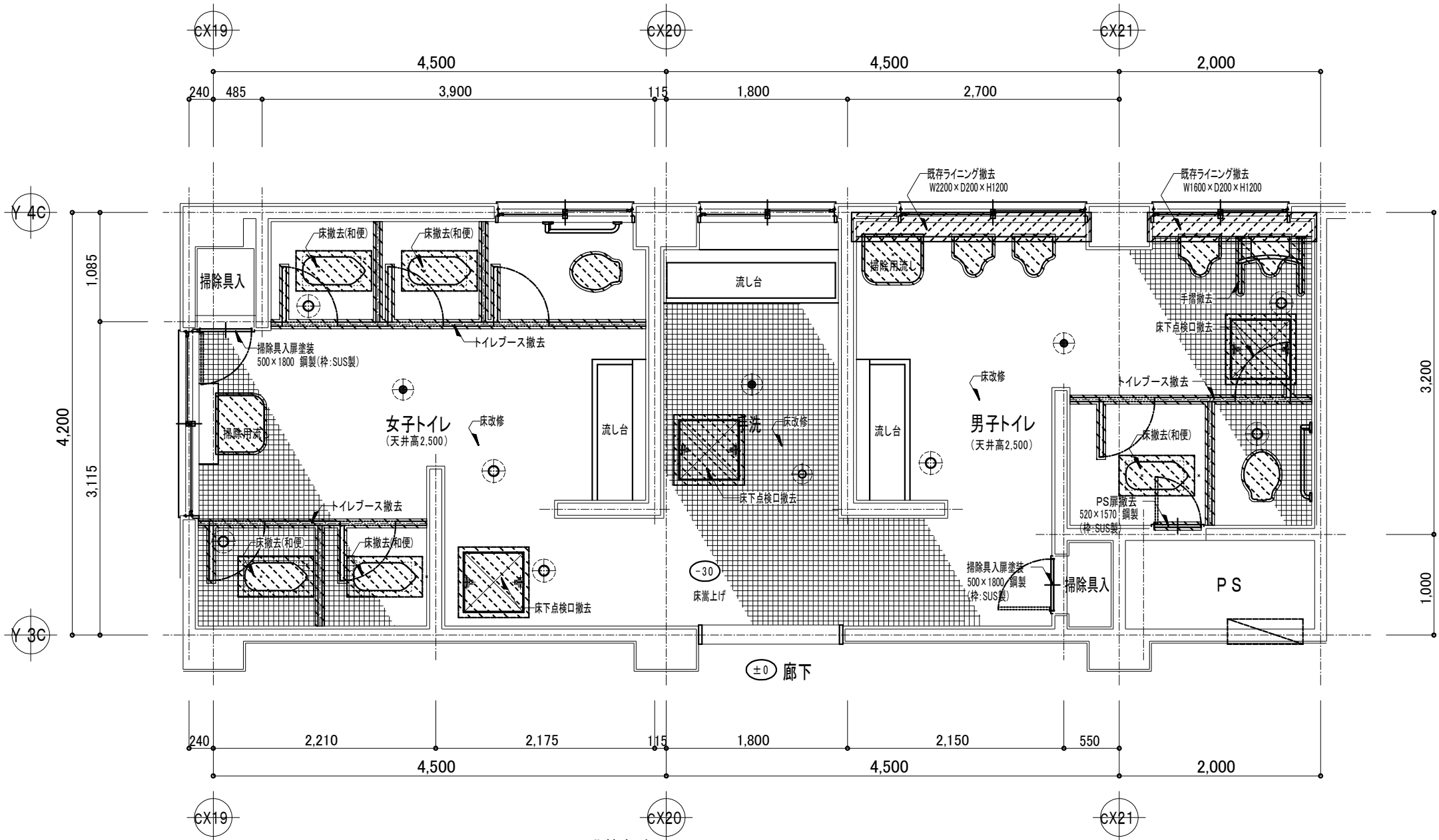
下地:均しモルタル、アスファルト防水層(※3)、押えコンクリートt=60、モルタルタイル下地

仕上:磁器モザイクタイル

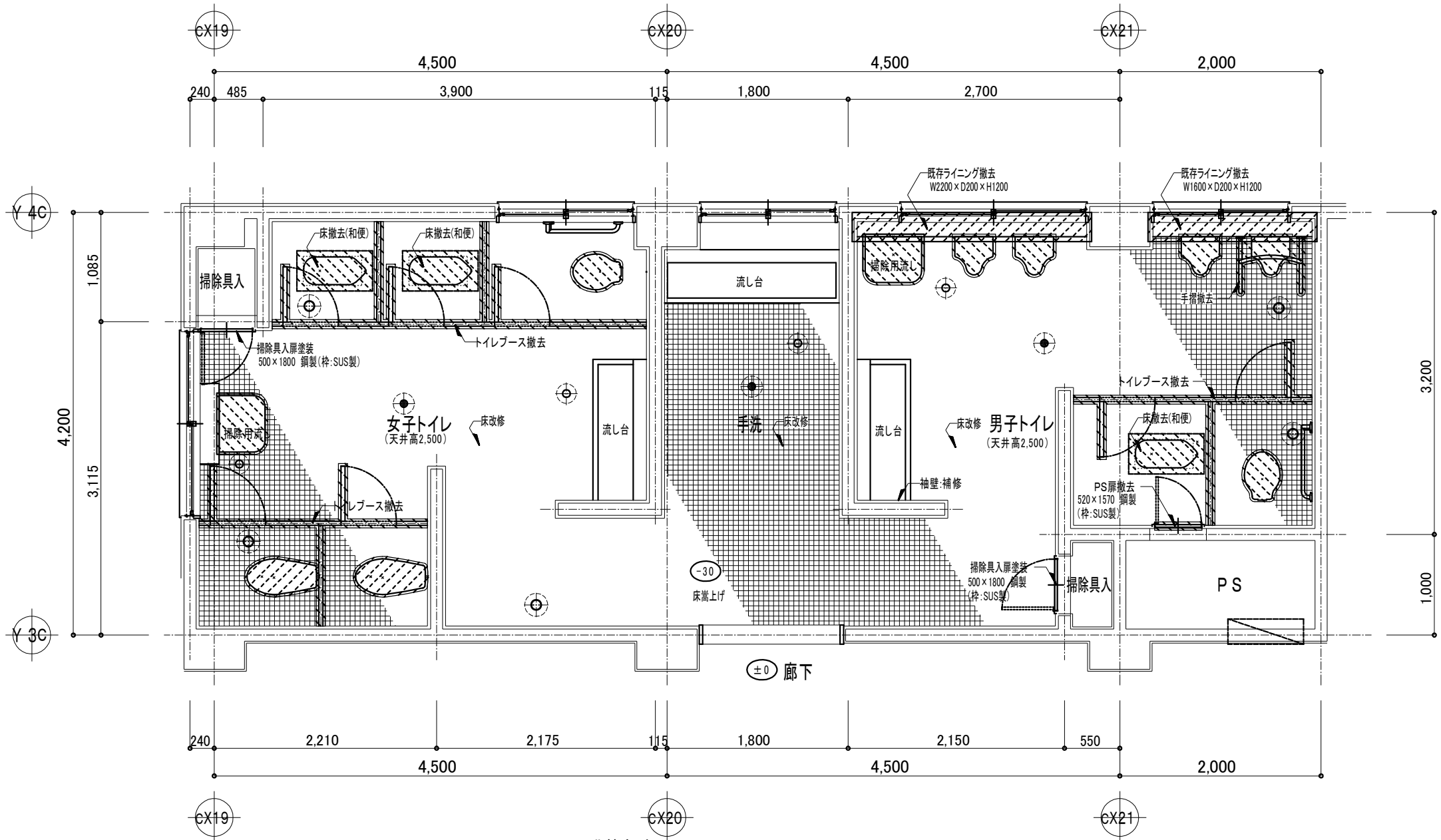
(※3):アスベスト含有建材レベル3を示す



床撤去(和便)詳細図 S=1/30



北校舎 東トイレ
1階トイレ平面詳細図 S=1/50



北校舎 東トイレ
2階トイレ平面詳細図 S=1/50

改修

凡例

※衛生器具の新設は機械設備工事参照。

※凡例以外の事項は図示による。

床復旧(和便)及び(器具) (詳細図参照、和風便器、床排水金具、床上掃除口撤去部)

床改修: 床嵩上げ(既存タイル目荒し、コンクリート打設、金ゴテ)のうえ、ビニル床シート=2.0(防滑・防汚・張り)

※施工範囲は室内全域 ※床ワックス1回

補修: 補修(不健全箇所除去のうえ、樹脂モルタル、塗装(EP-G))

PS扉新設: 扉のみ新設(520×1,570)

※建具表: SD-1参照

PS扉・掃除具入扉塗装: 下地調整RB、錆止め塗布、SOP塗り・建具調整

トイレブース新設・建具表参照 (トイレブース撤去後の壁・補修(樹脂モルタルのうえ、塗装(EP-G)))

床下点検口: ステンレス製600角・ボルト固定式・密閉型(防水・防臭型)

手摺新設: 小便器用 樹脂被覆タイプφ34 W600×D550×H470

ライニング新設: 軽重量鉄骨壁65形下地組、壁構造用合板(特類)t12二重張り、化粧けい酸カルシウム板t6張り、天板メラミンポストフォーム(アイカ工業(株))ポストフォームカウンター-KLA t32同程度品)巾木はステンレスH=60とする。

※衛生器具の取付(箇所は、メーカー仕様により、下地補強を行うこと。

※各トイレ毎に下記の備品を1組づつ準備する (品番は参考とし同等品程度とする)

ほうき: テラモト CL-465-210-7 x2

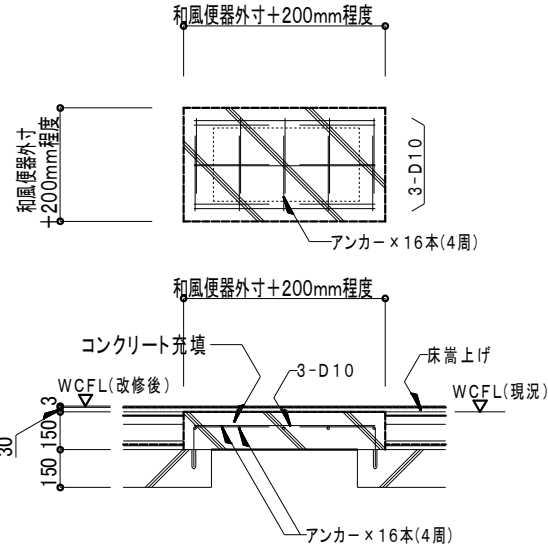
ほうき: ジョイントックス 黒シダほうき短柄 N126J x1

ちりとり: テラモト、カラダストパン線、DP-461-000-1 x1

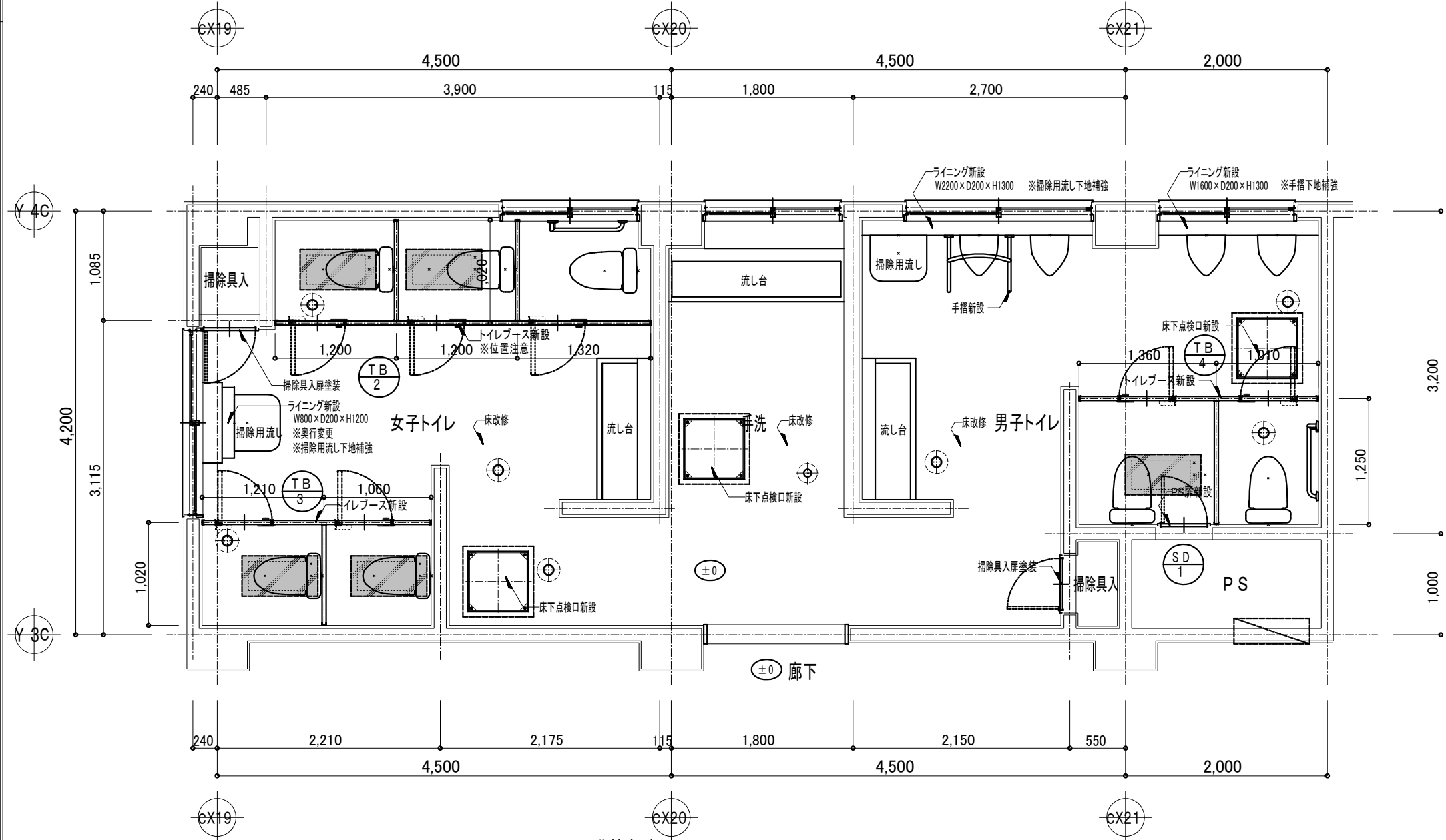
トイレブラシ: テラモト CE-898-120-0 x2

サニタリーボックス(女子トイレのみ): 山崎産業 サニタリーボックスST-M3 DP-28L-SA x個室数

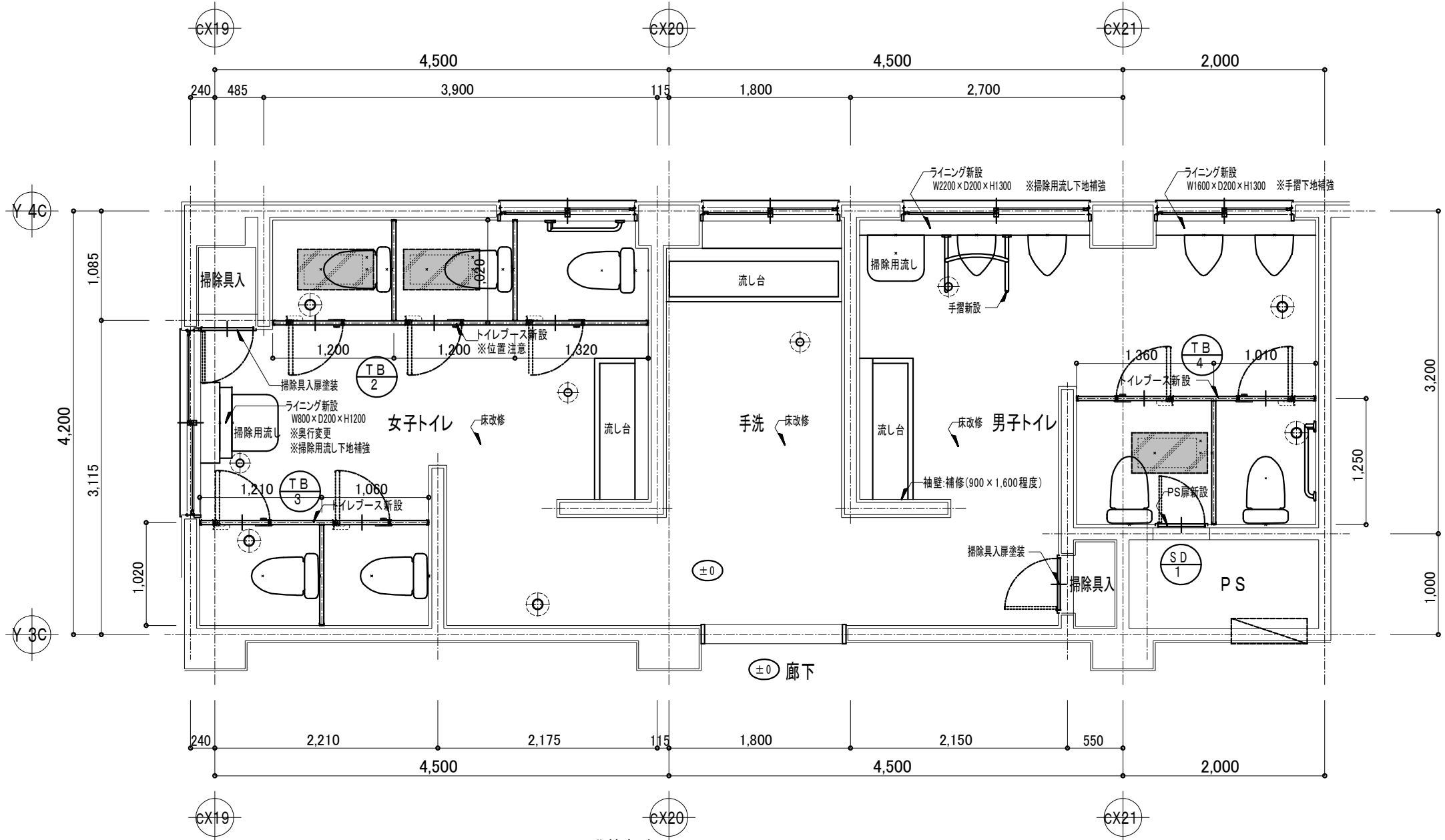
液状石鹸: サラヤ製 ワンツール500mlポンプ付き石鹸液用、同石鹸液共 x1



床復旧(和便)詳細図 S=1/30



北校舎 東トイレ
1階トイレ平面詳細図 S=1/50



北校舎 東トイレ
2階トイレ平面詳細図 S=1/50

凡 例

撤去範囲を示す

※衛生器具の撤去は機械設備工事参照。

※凡例以外の事項は図示による。

床撤去(和便)及び(器具) 詳細図参照(和風便器、床排水金具、床上げ撤去部)

床改修:床嵩上げのうえ、直張り仕上(床現況仕様は床撤去詳細図による) ※施工範囲は室内全域

PS扉・掃除具入扉塗装:塗替え(枠とも)

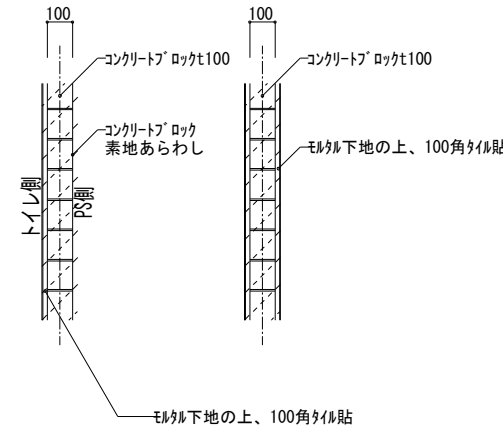
トイレブース撤去:木製 H=1,900 (※トイレブース撤去後の壁:補修)

既存鋼製ドア塗装:塗替え(枠とも)

手摺撤去:ステンレス製小便器用手摺 W600×D560×H470

ライニング撤去:撤去範囲周囲カッター入れ(躯体部はカッター入れしないこと)のうえ、CB積みライニング(天板入造研石 t30)撤去

界壁撤去(PS廻界壁・PS男女界壁): 詳細図参照



PS廻界壁 PS男女界壁

界壁撤去縦断面詳細図 S=1/30

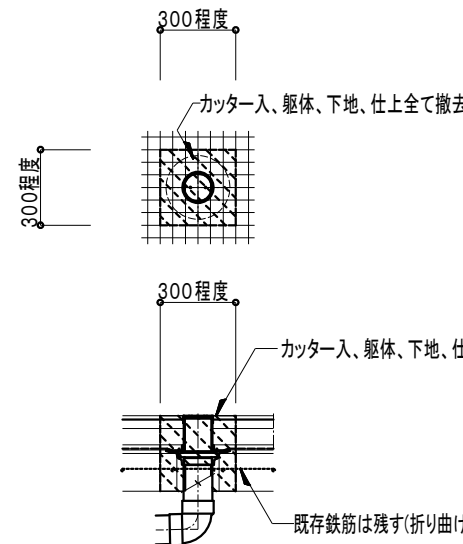
現況床仕様

躯体:コンクリートスラブ t=150

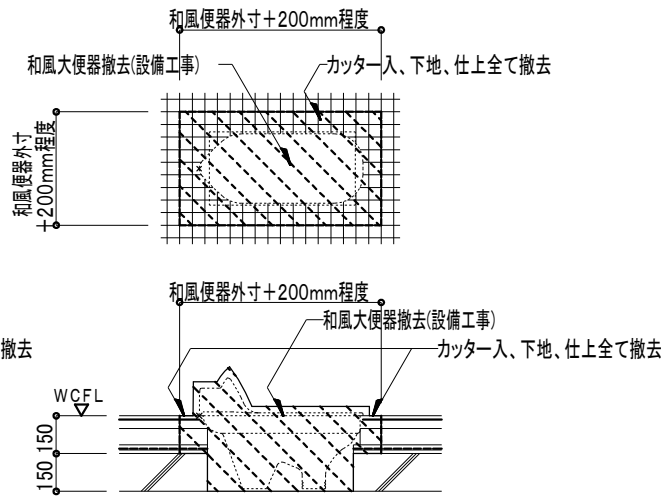
下地:均しモルタル、アスファルト防水層(※3)、押えコンクリートt=60、モルタルタイル下地

仕上:磁器モザイクタイル

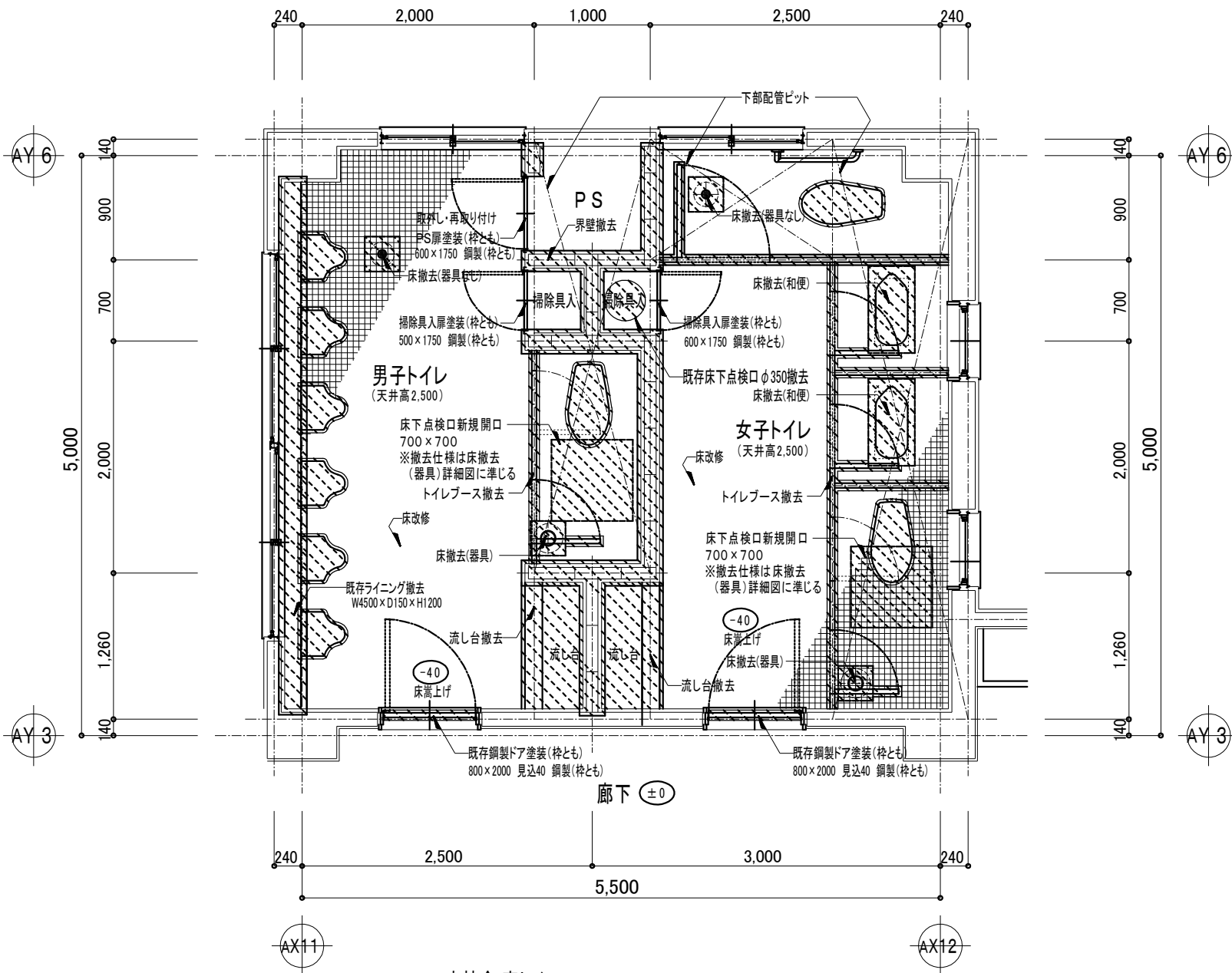
(※3):アスベスト含有建材レベル3を示す



床撤去(器具)詳細図 S=1/30

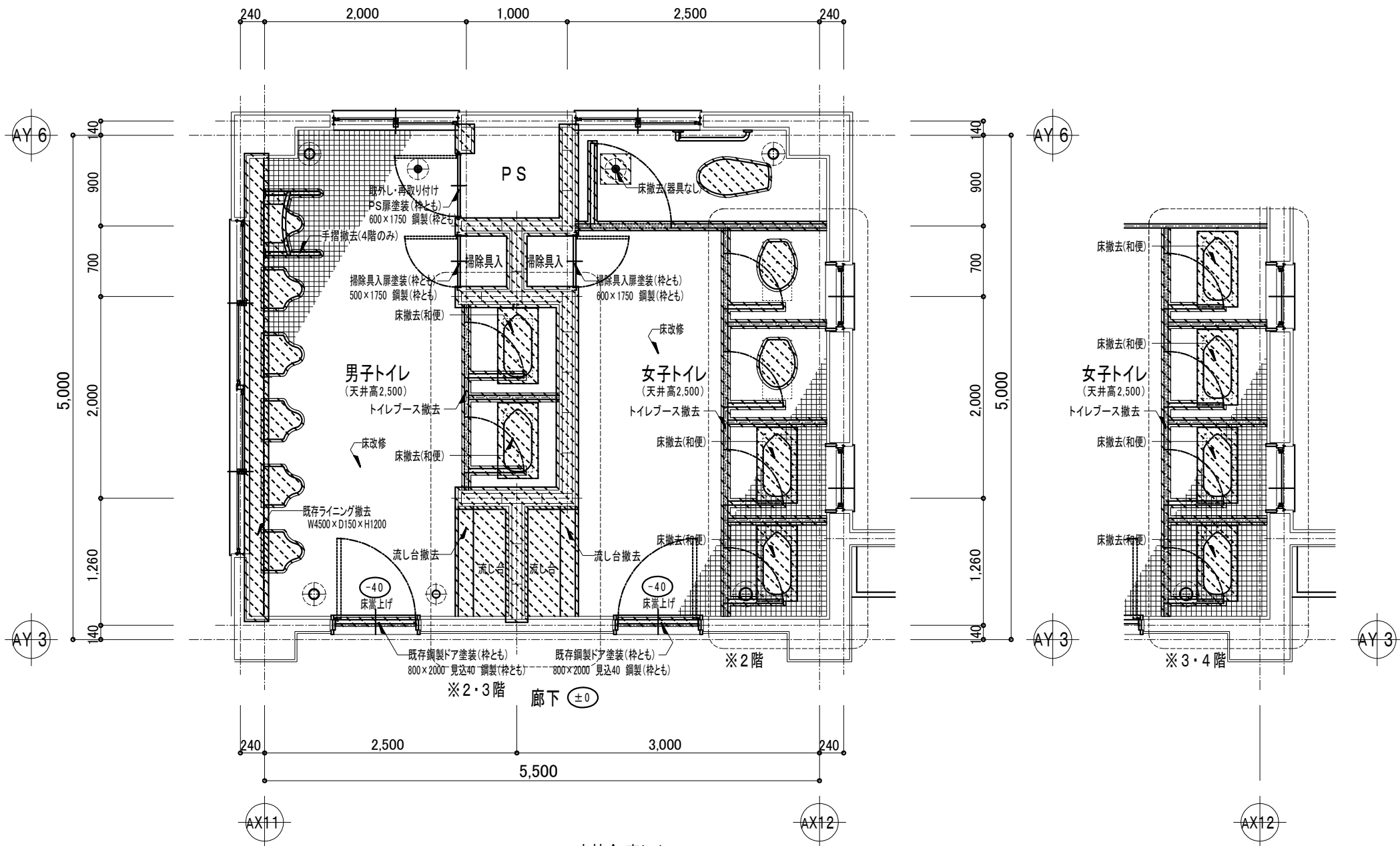


床撤去(和便)詳細図 S=1/30



南校舎 東トイレ
1階平面詳細図

S=1/50



南校舎 東トイレ
2-4階平面詳細図

S=1/50

特記事項



齊藤出建築設計室

一級建築士 第326081号 齋藤出

検印

設計

設計年月日
R 7 . 3 . 15

変更年月日
R 7 . . 00

工事名称

川越市立仙波小学校トイレ改修工事

図面名称

現況 南校舎 東トイレ 平面詳細図

Scale
1/50

No.

A-13

改修

凡 例

※衛生器具の新設は機械設備工事参照。

※凡例以外の事項は図示による。

床復旧(和便)及び(器具) (詳細図参照、和風便器、床排水金具、床土掃除口撤去部)

床改修: 床嵩上げ(既存タイル目直し、コンクリート打設、金ゴテ)のうえ、ビニル床シート=2.0(防滑・防汚張り)

※施工範囲は室内全域 ※床ワックス1回

既存鋼製ドア塗装、下地調整RB、錆止め塗布、SOP塗り・建具調整

PS扉・掃除具入扉塗装: 下地調整RB、錆止め塗布、SOP塗り・建具調整

トイレブース新設: 建具表参照 (トイレブース撤去後の壁・補修(樹脂モルタルのうえ、塗装(EP-G)))

床下点検口: ステンレス製600角・ボルト固定式・密閉型(防水・防臭型)

手摺新設・小便器用 樹脂被覆タイプφ34 W600×D550×H470

ライニング新設: 軽重量鉄骨壁65形下地組、壁構造用合板(特類)t12二重張り、化粧けい酸カルシウム板t6張り、天板メラミンポストフォーム(アイカ工業(株))ポストフォームカウンター-KLA t32同程度品)市木はステンレスH=60とする。

※衛生器具の取付(箇所は、メーカー仕様により、下地補強を行うこと。

【男女トイレ界壁】軽重量鉄骨壁下地90形組み、片面、耐水合板(特類)t12、強化石膏ボードt12.5張り、グッド充填(t50、24kg/m3)357下地又は梁下地立上げ、化粧けい酸カルシウム板t6張り仕上げ。

化粧けい酸カルシウム板の目地はシーリング施めとする。市木はステンレスH=60とする。

【PS壁内区画】準耐火仕様、軽重量鉄骨壁下地90形組み、片面、強化石膏ボードt12二重張り(型式認定番号FP060NP-0294-1)、357下地又は梁下地立上げ、化粧けい酸カルシウム板t6張り仕上げ。

化粧けい酸カルシウム板の目地はシーリング施めとする。市木はステンレスH=60とする。

【新設洗面器下地補強】軽重量鉄骨壁下地スタンド間に耐水合板(特類)t12二重、t24

※PS貫通部の隙間はモルタルその他不燃材により埋め等建築基準法施行令第112条第20項による措置を行うこと。

※各トイレ毎に下記の備品を1組づつ準備する (品番は参考とし同等品程度とする)

ほうき: テラモト CL-465-210-7 x2

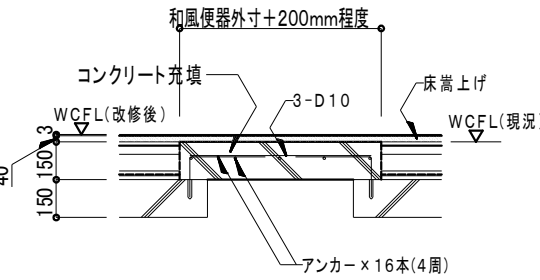
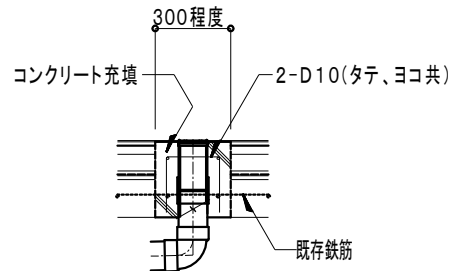
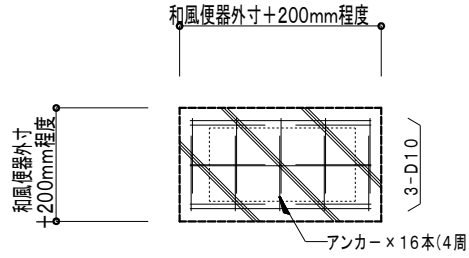
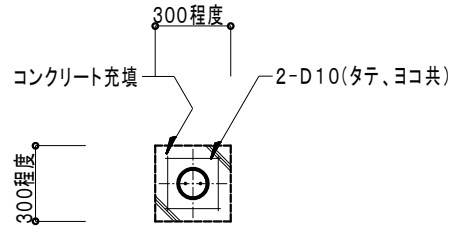
ほうき: ジョイントックス 黒シダほうき短柄 N126J x1

ちりとり: テラモト、カラーダストパン 緑、DP-461-000-1 x1

トイレブラシ: テラモト CE-898-120-0 x2

サニタリーボックス(女子トイレのみ): 山崎産業 サニタリーボックスST-M3 DP-28L-SA x個室数

液状石鹸: サラヤ製 ワンツール500mlポンプ付き石鹸液用、同石鹸液共 x1

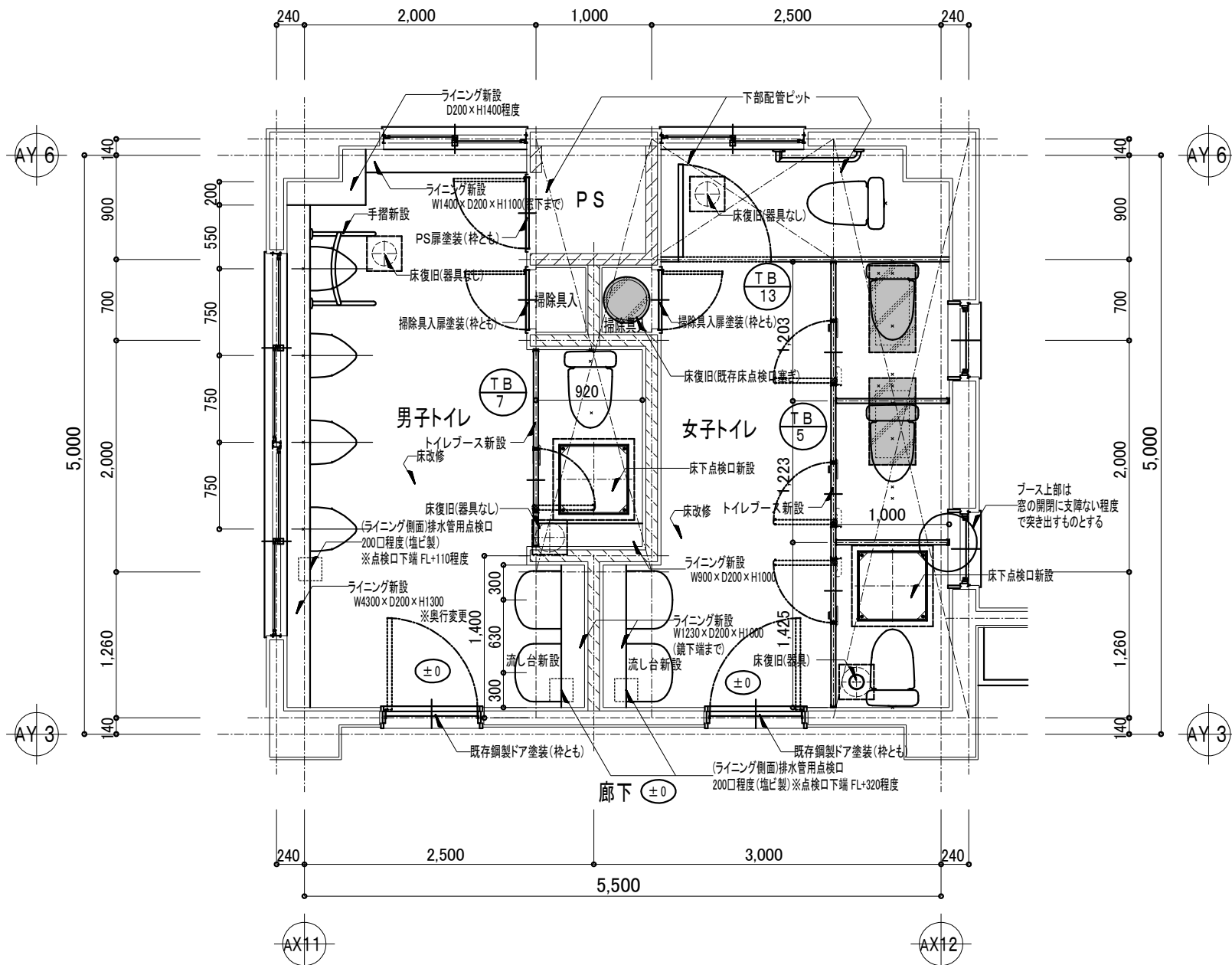
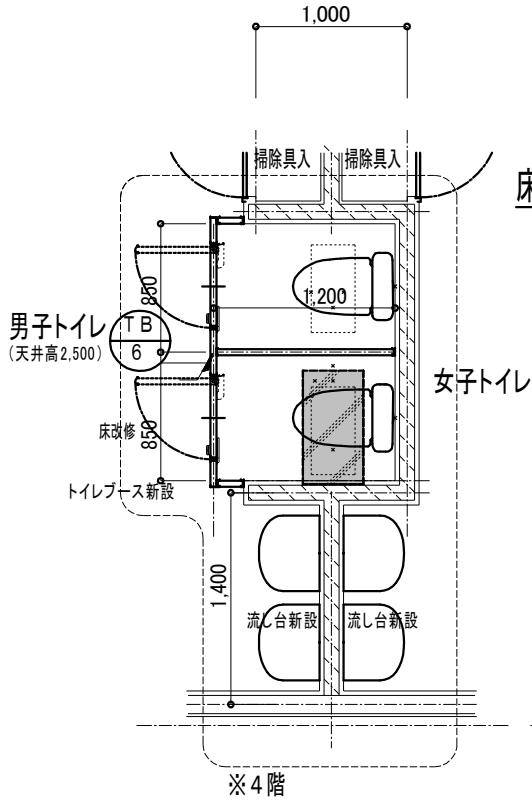


床復旧(器具)詳細図

S=1/30

床復旧(和便)詳細図

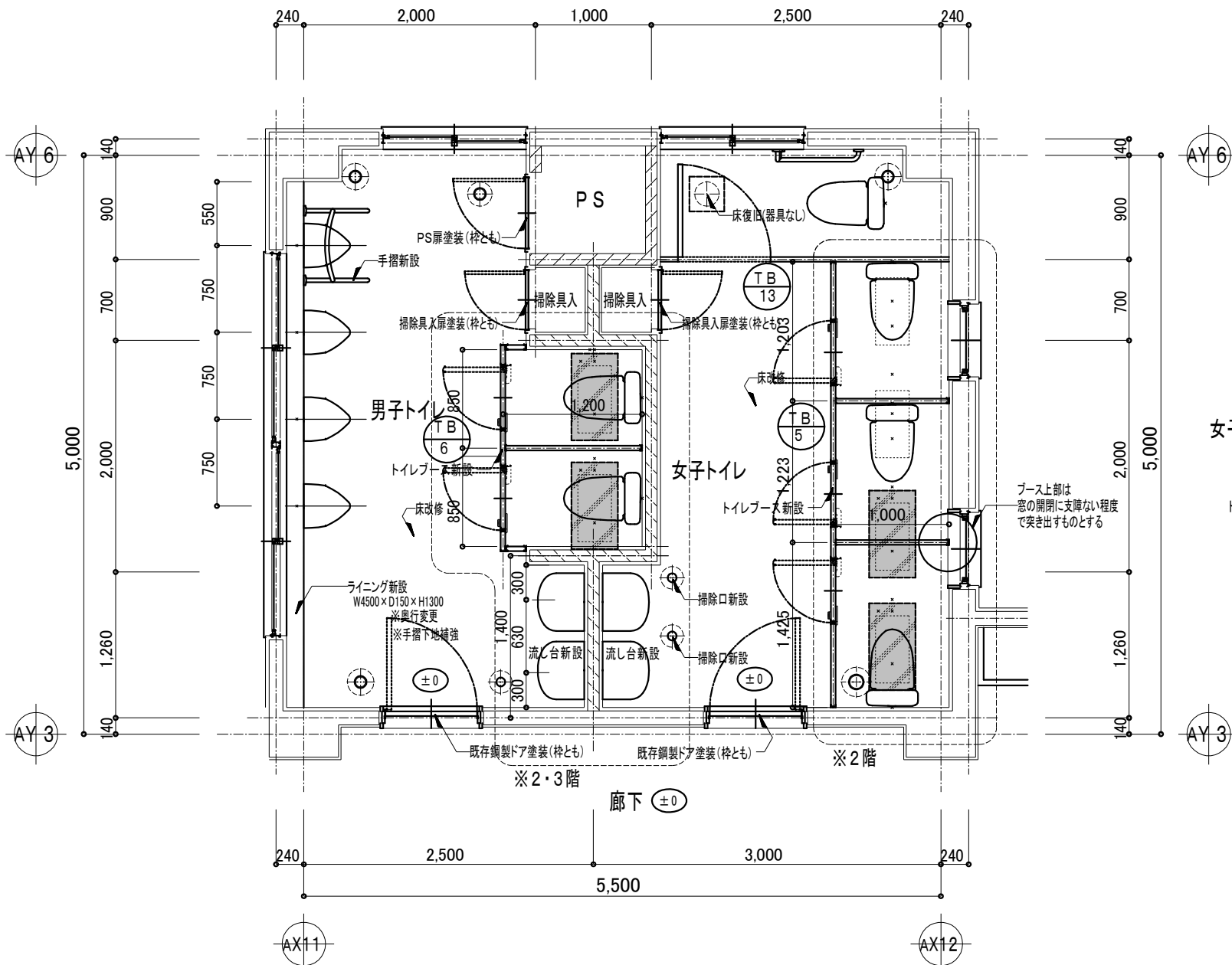
S=1/30



南校舎 東トイレ

1階平面詳細図

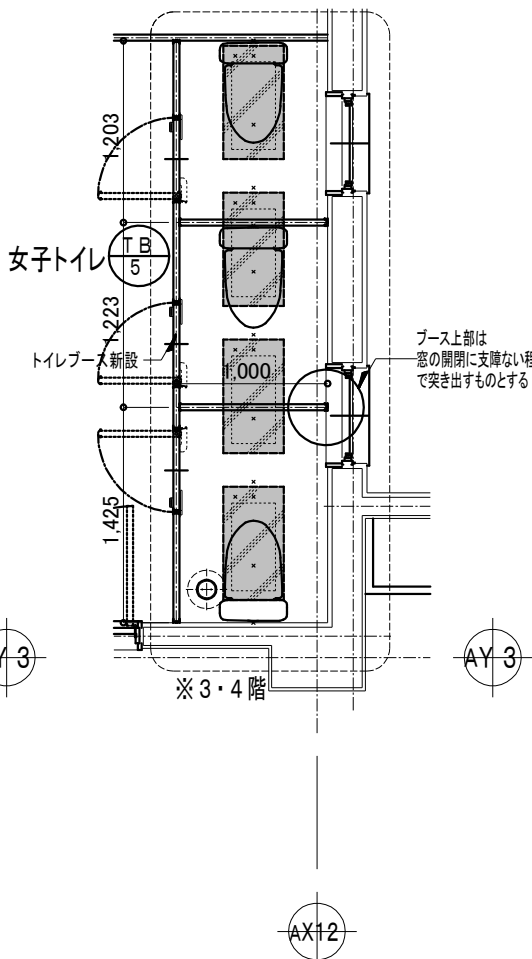
S=1/50



南校舎 東トイレ

2-4階平面詳細図

S=1/50

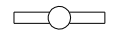


現 況

凡 例

 撤去範囲を示す

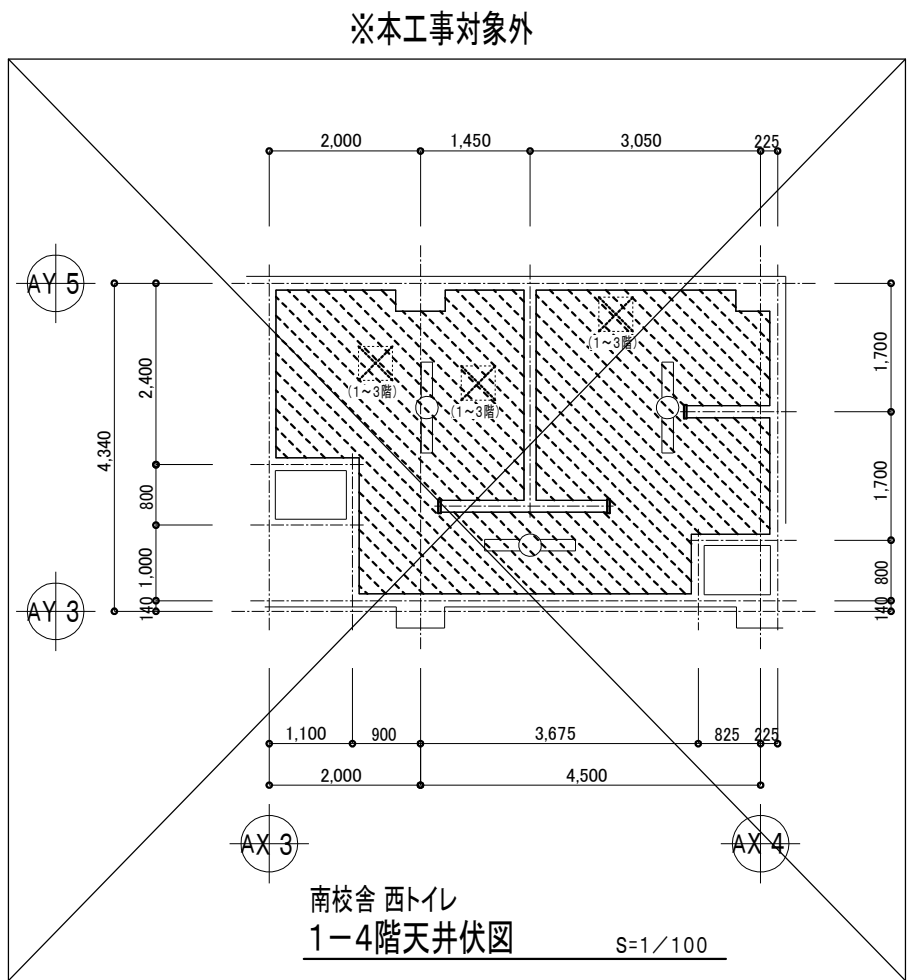
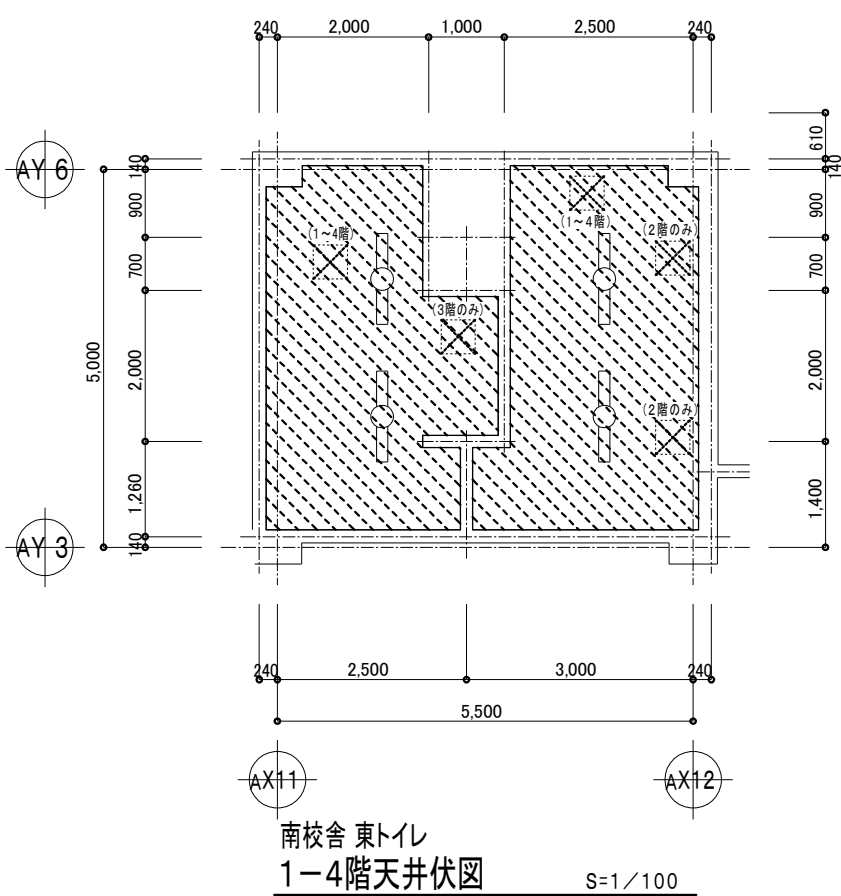
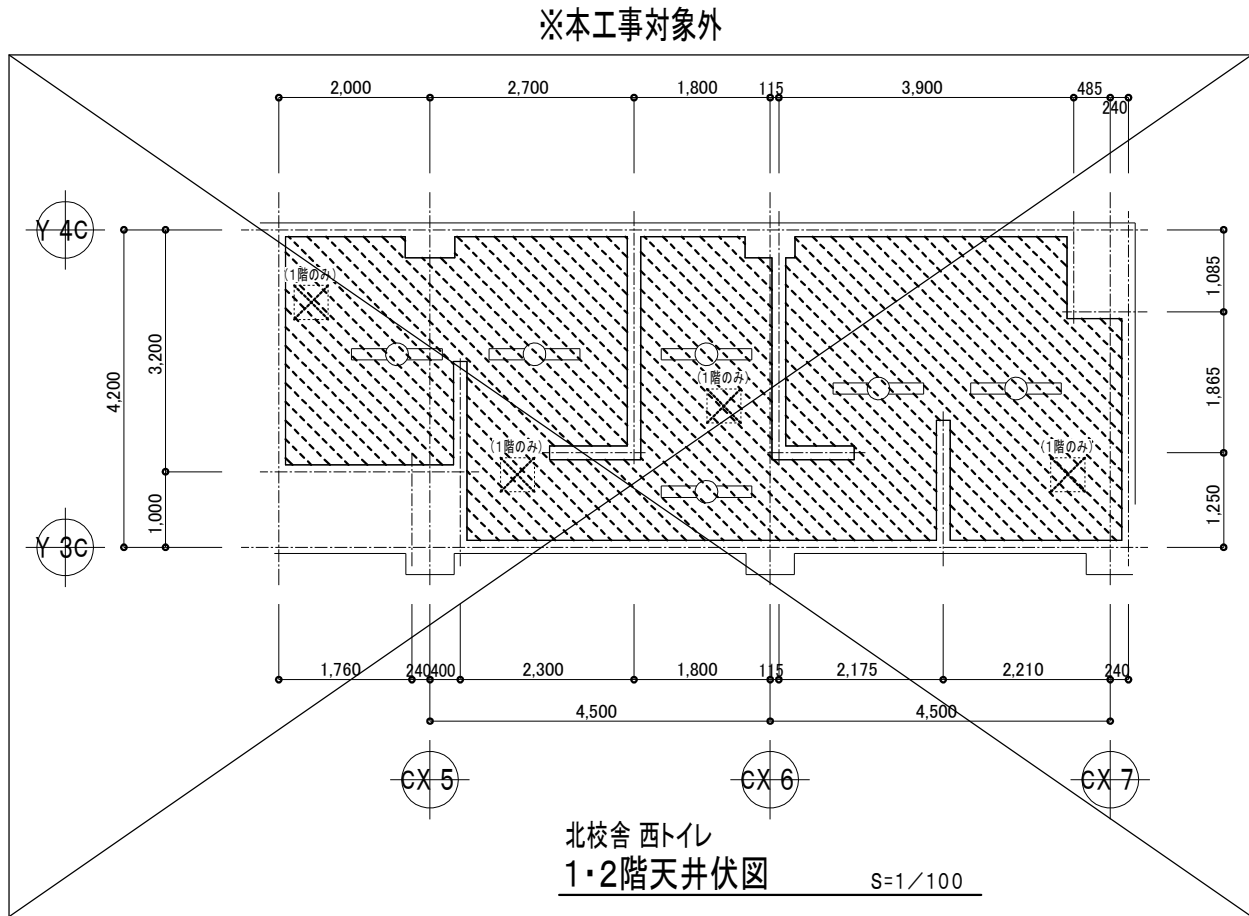
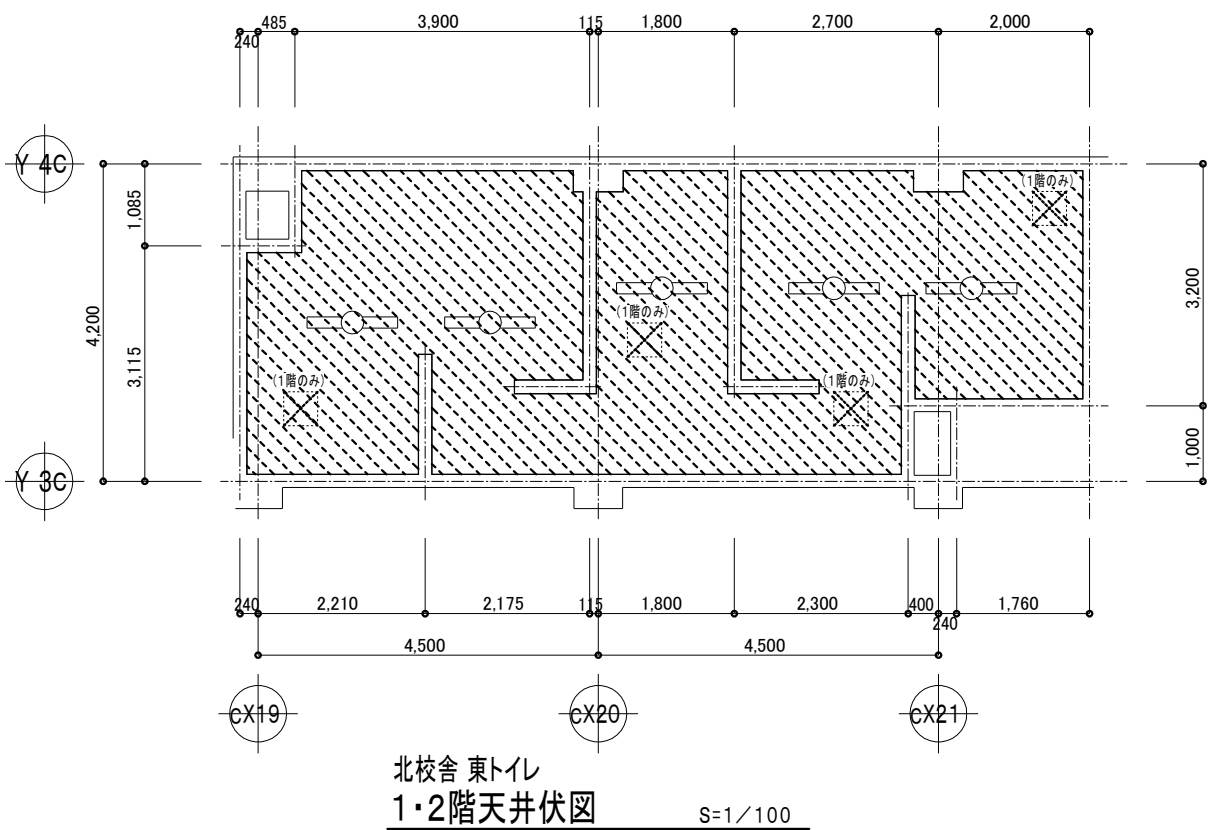
天井撤去:軽量鉄骨天井下地、フレキシブルボードt=6(※3)

 :照明器具(FHF32×1) 取り外し ※再取付(取り外し前に点灯確認を行うこと)

(※3):アスベスト含有建材レベル3を示す

※既存天井点検口はすべて撤去

※その他は図示による。

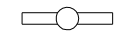


改 修

凡 例

 改修範囲を示す

天井新設:軽量鉄骨天井下地@300、北葦石膏ボードt=9.5(廻り縁:塩ビ)

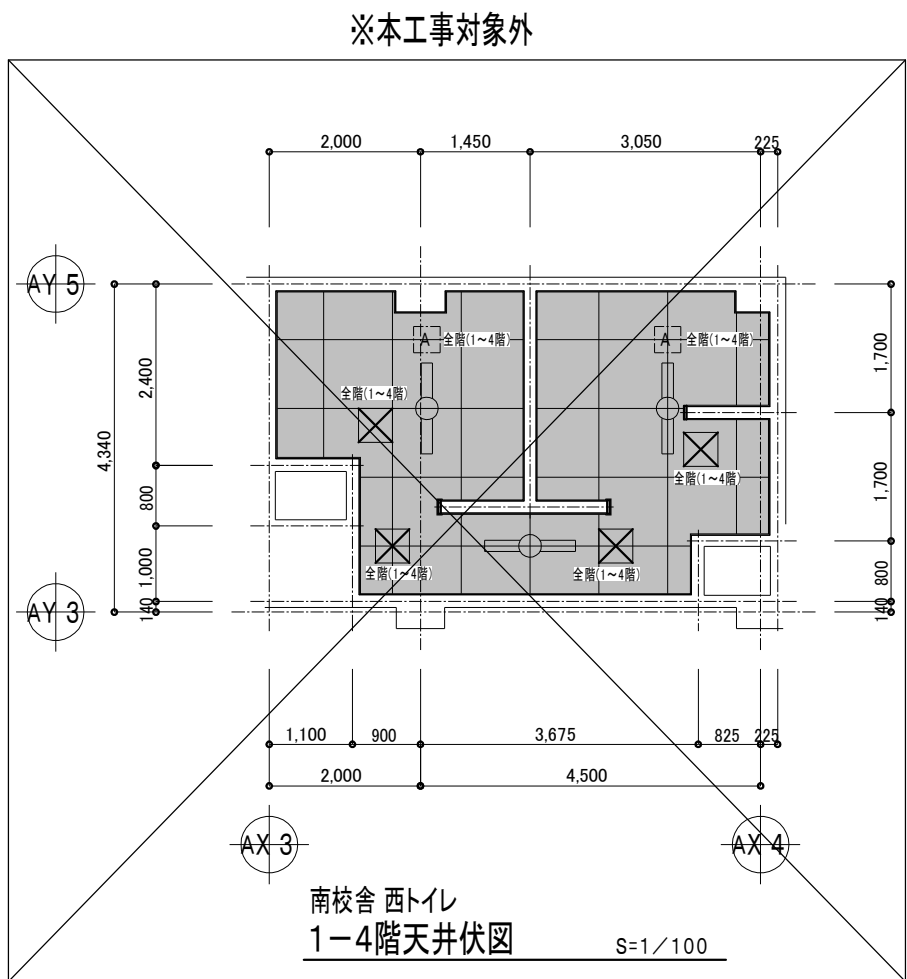
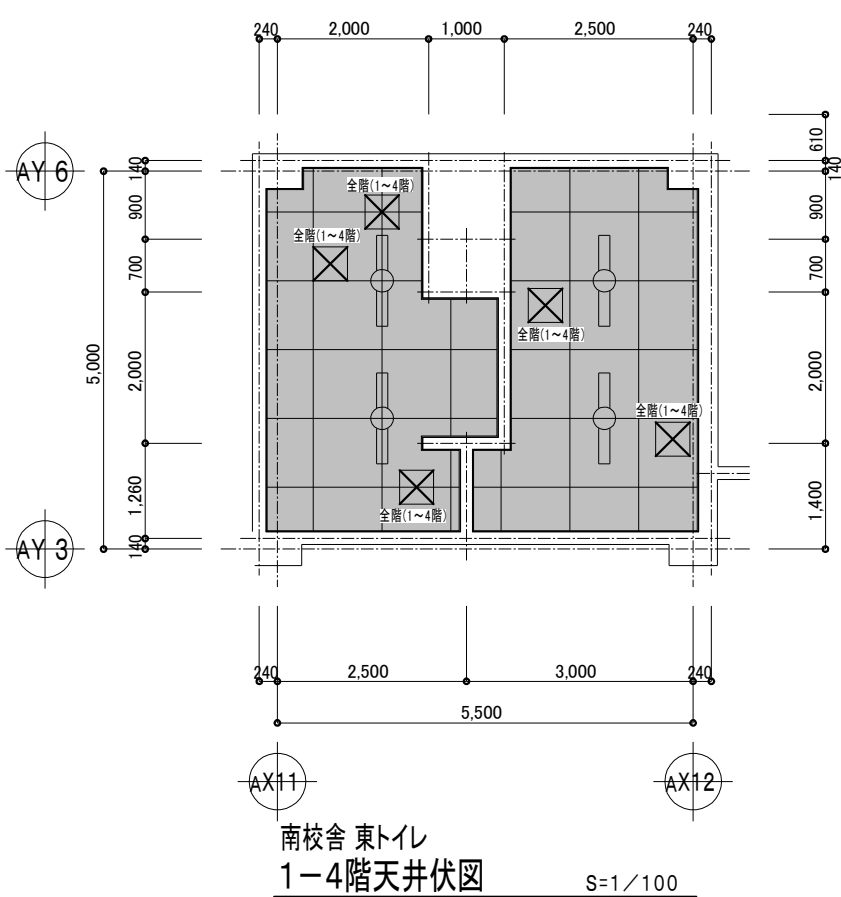
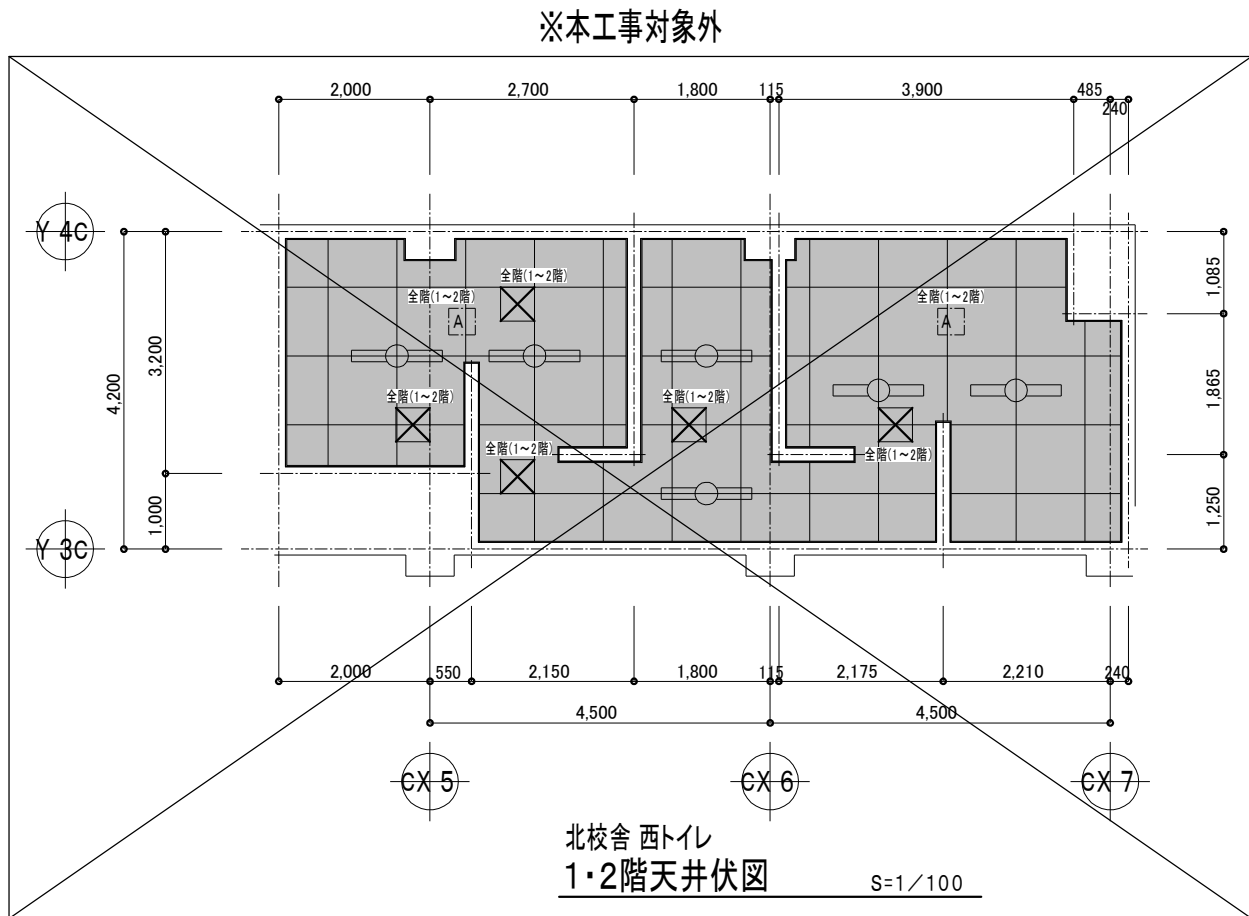
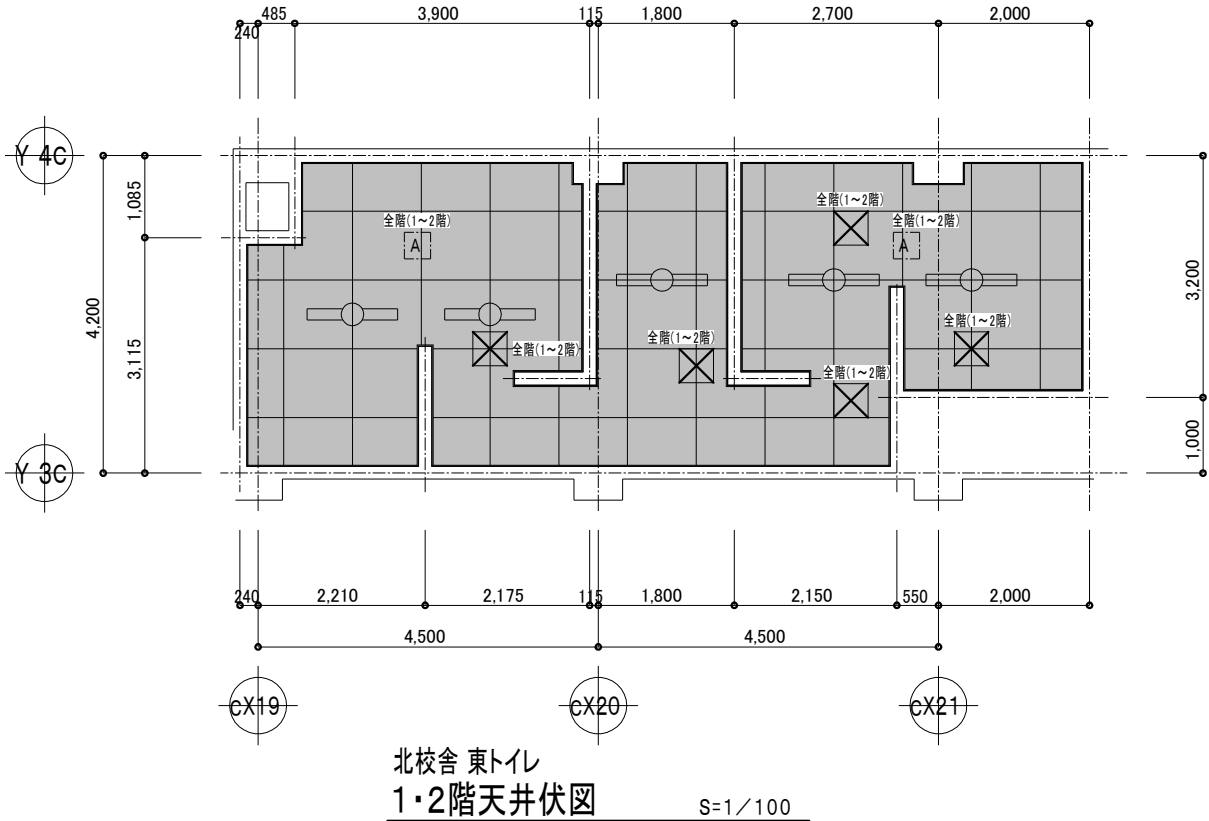
 :照明器具(FHF32×1) 取付(再使用) (取付後、点灯確認を行うこと)

 :天井埋込換気扇用開口 350×350、LGS野縁19型開口補強、ボード切込み共 ※すべての階

 :天井点検口(アルミ額縁タイプ)新設 450×450、開口補強、ボード切込み共 ※すべての階

※開口及び点検口の位置は監督員と協議の上、決定する事。

※その他は図示による。



特記事項



齊 藤 出 建 築 設 計 室

一級建築士 第326081号 齋 藤 出

検 印



設 計



設計年月日
R 7 . 3 . 15

変更年月日
R 7 . . 00

工事名称

川越市立仙波小学校トイレ改修工事

図面名称

現況・改修 天井伏図

Scale
1/100

No.

A-15

建 具 表											
符号・数量		SD 1 x 2 ケ所			TB 13 x 4 ケ所						
型 式		スチール製片開き点検戸(特定防火設備順規品)			トイレブース						
形状・寸法											
取付位置		北校舎 東トイレ 1～2階男子トイレ			南校舎 東トイレ 1～4階女子トイレ						
仕様・見込		溶融亜鉛メッキ鋼板t=1.6 SOP塗り									
金 物		丁番、ワンタッチ平面ハンドル(鍵付き)									
ガ ラ ス											
備 考		既設ステンレス枠内に扉のみ新設									
符号・数量		TB 1 x 1 ケ所		TB 2 x 2 ケ所 ※東トイレのみ(西トイレは本工事対象外)		TB 3 x 2 ケ所 ※東トイレのみ(西トイレは本工事対象外)		TB 4 x 2 ケ所 ※東トイレのみ(西トイレは本工事対象外)		TB 5 x 4 ケ所	
型 式		トイレブース		トイレブース		トイレブース		トイレブース		トイレブース	
形状・寸法		トイレブース仕様(中心吊タイプ) 見込:40mm 笠木・エッジ類:アルミ押出形材 柱・脚:ステンレス(SUS304)ヘヤーライン仕上 パネル・ドア:表面材)ポリエステル化粧板 裏打材)器具取付位置に補強材を取付ける。 芯材)ペーパーコア 金物(内開き):表示付スライドラッチ、帽子掛け戸当り 非常時外開き機能付き 金物(外開き):表示付スライドボルト、外開き戸当り、帽子掛け 金物(片引き):SUSドアハンドル、表示付引戸錠 金物(S・K):取手 ※仕様は参考とし、類似の各メーカー仕様を優先する。 ※各設備等の取付等に伴う補強は本工事に含む。									
取付位置		各トイレ		北校舎 東・西トイレ 1～2階 女子トイレ (※西トイレは左右反転)		北校舎 東・西トイレ 1～2階 女子トイレ (※西トイレは左右反転)		北校舎 東・西トイレ 1～2階 男子トイレ (※西トイレは左右反転)		南校舎 東トイレ 1～4階女子トイレ	
符号・数量		TB 6 x 3 ケ所		TB 7 x 1 ケ所		TB 8 x 4 ケ所		TB 9 x 4 ケ所		TB 10 x 1 ケ所	
型 式		トイレブース		トイレブース		トイレブース		トイレブース		トイレブース	
形状・寸法											
取付位置		南校舎 東トイレ 2～4階男子トイレ		南校舎 東トイレ 1階男子トイレ		南校舎 西トイレ 1～4階女子トイレ		南校舎 西トイレ 1～4階男子トイレ		外トイレ 女子トイレ	
				※本工事対象外		※本工事対象外		※本工事対象外		※本工事対象外	
						※本工事対象外		※本工事対象外		※本工事対象外	
								※本工事対象外		※本工事対象外	
										※本工事対象外	
										※本工事対象外	
										※本工事対象外	
										※本工事対象外	
										※本工事対象外	
										※本工事対象外	
										※本工事対象外	
										※本工事対象外	
										※本工事対象外	
										※本工事対象外	
										※本工事対象外	
										※本工事対象外	
										※本工事対象外	
										※本工事対象外	
										※本工事対象外	
										※本工事対象外	
										※本工事対象外	
										※本工事対象外	
										※本工事対象外	
										※本工事対象外	
										※本工事対象外	
										※本工事対象外	
										※本工事対象外	
										※本工事対象外	
										※本工事対象外	
										※本工事対象外	
										※本工事対象外	
										※本工事対象外	
										※本工事対象外	
										※本工事対象外	
										※本工事対象外	
										※本工事対象外	
										※本工事対象外	
										※本工事対象外	
										※本工事対象外	
										※本工事対象外	
										※本工事対象外	
										※本工事対象外	
										※本工事対象外	
										※本工事対象外	
										※本工事対象外	
										※本工事対象外	
										※本工事対象外	
										※本工事対象外	
										※本工事対象外	
										※本工事対象外	
										※本工事対象外	
										※本工事対象外	
										※本工事対象外	
										※本工事対象外	
										※本工事対象外	
										※本工事対象外	
										※本工事対象外	
										※本工事対象外	
										※本工事対象外	
										※本工事対象外	
										※本工事対象外	

川越市立仙波小学校トイレ改修工事 機械設備改修工事 特記仕様書

1.一般事項
本工事は設計図、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（最新版）」、「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（最新版）」、「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）」に準拠し、監督員の指示に従い施工する。 ※疑義に対する協議等は標準仕様書による。

2.機械設備改修
衛生器具設備工事 一式
給水設備工事 一式
排水設備工事 一式
換気設備工事 一式

3.発生材の処理等

機械設備用既設建材 石綿含有調査実施状況		
名 称	場 所	調 査 有 無
和風大便器用耐火カバー	※図示による	未実施(みなし処分とする)
耐火二層管 保護材	※図示による	未実施(みなし処分とする)

・その他については、「建築工事 特記仕様書」に準じて適正に処分を行うこと。

4.特記事項
(1)共通事項
・機械設備工事について、施工完成図(監督員が指定した設計図に完成時の状態を表現したもの)、機器完成図及び取扱説明書、保証書等をとりまとめ、2部提出のこと。
(2)衛生器具設備工事
・器具付厲止水栓は、ドライバー式とする。
・衛生器具類の据付について、建築工事との取り合いを確認した上で、施工図の作成・提出を行い、監督員より承諾を受けてから、施工を行うこと。
・小便器用自動洗浄について、前洗浄(予備洗浄)の設定は「入」に設定すること。
・小便器用凍結防止弁の開閉については、監督員と協議の上、開閉調整を行うこと。
(3)給水設備工事/排水設備工事
・給水配管の呼び径50以下の弁は、仕切弁とし、呼び径65以上はバタフライ弁とする。※仕様は「凡例(改修後)」参照のこと。
・給水一次側及びポンプ室内に使用する弁類はJS10Kとする。その他は5K。
・屋外に使用する支持金物は原則として、ステンレス製とする。
・点検口等配管を視認できる箇所に口径、系統名、流れ方向を表示すること。
・各配管材ごとの吊り支持間隔、形鋼振れ止め支持間隔は、下記表による。

呼び径		15	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	200	250	300
分類															
吊金物による吊間隔	鋼管・ステンレス管	2.0m以下									3.0m以下				
	ビニル管・ポリエチレン管	1.0m以下								2.0m以下					
形鋼振れ止め支持間隔	鋼管・ステンレス管	-					8.0m以下				12m以下				
	ビニル管・ポリエチレン管	-		6.0m以下			8.0m以下				12m以下				

・壁・床・天井を露出で貫通する場合は、貫通部の隙間はシーリングプレート等で保護すること。
・既設スリーブ貫通部は、配管施工後にシーリングや防水処理を行うこと。不要貫通口は穴埋め、防水補修を行うこと。
・撤去の際に切断した鋼管は、切断面に錆止めを塗布すること。
・既設のコンクリート埋込配管は残置とし、切断面は閉止処置(プラグ止め等)を行うこと。
・改修範囲の既設汚水・雑排水配管(立管等)について、新設配管接続前に高圧洗浄にて清掃を行い、再利用して問題ないことを確認してから、新設配管を接続すること。
・給水配管口径25Aにて大便器等に接続する場合は、施工状況に応じて高密度ポリエチレン管の使用も可とする。
・RC造や補強コンクリートブロック造の躯体をコア抜きする際は、各箇所レントゲン撮影等の調査を行うこと。
・既存管材料と新設管材料のイオン化傾向が大きく異なる場合(銅とステンレスなど)は、絶縁継手を使用すること。
・排水管を埋設する場合は、根切り底を管の下端より100mm程度深く根切りし、山砂の類をやりかたにならない敷き込み、突き固めた後、管をなじみ良く敷設すること。
・再生砂を使用する場合は、事前に六価クロム溶出試験を実施すること。
・トイレ以外の系統(廊下流しなど)の給水復旧時期は、施設管理者と調整の上、柔軟に対応すること。
・PS内の高密度ポリエチレン管、硬質ポリ塩化ビニル管の床・壁貫通箇所は、防火区画貫通処理を行うこと。

(4)換気設備工事
・点検口等ダクトを視認できる箇所に口径、系統名、流れ方向を表示すること。
・ダクトと機器接続部は、たわみ継手にて接続すること。
・ダクトを撤去後、再利用側約1m程度の保温材、付着した油脂類、ダクト内に堆積したほこり等の除去を行うこと。
・撤去箇所は、フランジ接続の場合は、原則として既設ダクトのフランジ部とする。

5.試験
試験項目は以下のとおりとする。
給排水設備工事
給水管 水圧試験(原則0.75MPa以上、保持時間60分) ※既設配管の状態等により、規定圧力まで昇圧できない場合は、直ちに試験を中止し、監督員と協議すること。
※配管途中若しくは隠蔽・埋戻前、又は配管完了後の塗装・被覆施工前に行うこと。

水質試験:水質試験項目は、「一般細菌」、「大腸菌」、「亜硝酸窒素」、「硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素」、「塩化物イオン」、「有機物」、「pH値」、「味」、「臭気」、「色度」、「濁度」、「残留塩素」とする。 ※採水箇所は原則として給水配管上の最遠位置の衛生器具とし、採水困難な場合は監督員と協議による。
排水管 満水試験(改修部を対象※詳細な試験範囲は監督員と協議のこと、保持時間30分)、通水試験(衛生器具等取付後)
衛生器具:試運転(排水時、跳ね出しや封水切れ等が無いか確認すること。)

換気設備工事
換気扇 風量測定、試運転(運転動作確認)、絶縁抵抗試験
制気口 風量測定(風切音確認)

凡例(改修前) ※太線部は撤去、細線部は既設再利用を示す

名 称	記 号	区 分	仕 様(改 修 前)	
給水管	-----	屋内一般・ビッド内	硬質塩化ビニルライニング鋼管	VB
		埋設・ビッド内	硬質塩化ビニルライニング鋼管(外面被覆)	VD
汚水管	-----<	主管・埋設	排水用鋳鉄管(メカニカル型)	QIP
		枝管	鉛管	LP
通気管	-----	屋内一般・ビッド内	硬質ポリ塩化ビニル管	VP
		主管(埋設・ビッド内)	配管用炭素鋼鋼管(白)	SGP
雑排水管	-----	枝管	鉛管	LP
		屋内一般	配管用炭素鋼鋼管(白)	SGP
消火管	-----x-----	屋内一般	配管用炭素鋼鋼管(白)	SGP
仕切弁	-----<GV	-	-	GV
バタフライ弁	-----<BV	-	-	BV
水栓	-----<	-	水栓	-
掃除口	-----<	-	湿式(防水)	QOB
排水目皿	-----<	-	床用	D

凡例(改修後) ※太線部は新設、細線部は既設再利用を示す

名 称	記 号	区 分	仕 様(改 修 後)	
給水管	-----	屋内一般・ビッド内(30A以上)	高密度ポリエチレン管	PE
		屋内一般・ビッド内(25A以下) ※器具壁給水接続部	ポリブテン管(10mm保温付)	PB
		屋内一般・ビッド内(25A以下) ※器具末給水接続部	一般配管用ステンレス鋼鋼管(拡管式)	SUS
		屋外露出・埋設部	高密度ポリエチレン管	PE
汚水管	-----<	屋内一般・ビッド内	耐火VP 硬質ポリ塩化ビニル管	FS-VP VP
		屋外露出部	耐候性向上仕様 硬質ポリ塩化ビニル管	カラーVP
		埋設部	硬質ポリ塩化ビニル管	VU
		屋内一般・ビッド内	耐火VP 硬質ポリ塩化ビニル管	FS-VP VP
雑排水管	-----	屋外露出部	耐候性向上仕様 硬質ポリ塩化ビニル管	カラーVP
		埋設部	硬質ポリ塩化ビニル管	VU
		耐火性能を要求される箇所	耐火VP	FS-VP
通気管	-----	屋外露出部	耐候性向上仕様 硬質ポリ塩化ビニル管	カラーVP
		その他の部分	硬質ポリ塩化ビニル管	VP
仕切弁	-----<GV	-	管端防食ねじ込み形弁(JV5)(10K)	GV
バタフライ弁	-----<BV	-	ウェハー形ゴムシートバタフライ弁(JSB2032)	BV
水栓	-----<	-	水栓	-
	-----<	-	フラッシュバルブ	-
掃除口	-----<	-	乾式	QOA

保温仕様(改修後)

区分	施工場所	仕様	保温厚
給水管(新設)	屋内露出	合成樹脂製カバー、保温筒(ポリスチレンフォーム)、粘着テープ	15～80A:20mm
〃	ビッド内	保温筒(ポリスチレンフォーム)、粘着テープ、ポリスチレンフィルム、着色アルミガラスクロス	15～80A:20mm
〃	空隙壁中・天井内	アルミガラスクロス化粧保温筒(ポリスチレンフォーム)、アルミガラスクロス粘着テープ	15～80A:20mm
〃	屋外露出	保温筒(ポリスチレンフォーム)、粘着テープ、ポリスチレンフィルム、溶融アルミニウム亜鉛鉄板	15～80A:20mm

※高密度ポリエチレン管、ポリブテン管(10mm保温付)を採用する場合は、継手部(金属部含む)以外は保温を要しない。

※トイレ室内で露出するポリブテン管は合成樹脂製カバー保護とする。

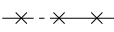
現 況		給排水衛生設備撤去器具表																																						
名 称	仕 様・主 要 器 具 参 考 型 番	北校舎 東トイレ			小計	北校舎 西トイレ						小計	南校舎 東トイレ								小計	南校舎 西トイレ								小計	外トイレ	小計	合 計	備 考						
		1階		手洗		2階		手洗	1階		手洗		2階		手洗	1階		手洗	2階			手洗	3階		手洗	4階		手洗	1階						外部トイレ	手洗				
		男子トイレ	女子トイレ			男子トイレ	女子トイレ		男子トイレ	女子トイレ			男子トイレ	女子トイレ		男子トイレ	女子トイレ		男子トイレ	女子トイレ			男子トイレ	女子トイレ		男子トイレ	女子トイレ		男子トイレ								女子トイレ	男子トイレ	女子トイレ	男子トイレ
和風大便器	和風便器、FV、洗浄管、耐火カバー、紙巻器他付属品共	1	4		1	2		8		3		1	4		8		2	2	2	2	4	1	4	17		1		1		1		1		4					25	
和風大便器	ロータンク式、紙巻器他付属品共																																							
洋風腰掛便器	FV、紙巻器他付属品共	1	1		1	3		6	1	1		1	1		4	1	2		3		1	1	1	9			1	1	1	1	1	1	6					15		
洋風腰掛便器	小児用、FV、紙巻器他付属品共									1	1				2											1	1						2							
小便器	床置型、手動FV、洗浄管他付属品共 U307	4			4			8	4			4			8	6		6		6		6		24	2		2		2		2		8					32		
小便器	壁掛型(床排水)、手動FV、洗浄管他付属品共 U5																																	3		2	5			
掃除用流し	バック付掃除用流し、単水栓、止水栓、排水トラップ他付属品共	1	1		1	1		4	1	1		1	1		4											1	1	1	1	1	1	1	1	8					4	
水 栓	横水栓	2	2	3	2	2	3	14	2	2	3	2	2	3	14	3	3	3	3	3	3	3	3	24	2	2	2	2	2	2	2	2	2	16					38	
洗面器	壁掛小型洗面器、単水栓、止水栓、排水金物他付属品共																																	1	1	1	3			
床上掃除口	COB100	3	2	1	3	2	1	12	3	2	1	3	2	1	12	1	1	1	2	1	2	1	2	11	1	1	2	2	2	2	2	2	14					23		
床上掃除口	COB80			1				1			1				1			1		1		1	3				1		1		1		3					4		
床上掃除口	COB65		1		1	2	1	5		1		1	2	1	5										1	1	1	1	1	1	1	1	8					5		
床上掃除口	COB50																	1		1		1	3														3			
床排水トラップ	T5B-50	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	1	8	8	1	1	1	1	1	1	1	1	8					14		

換気設備撤去機器表																																								
名 称	仕 様・既設機器型番	北校舎 東トイレ			小計	北校舎 西トイレ						小計	南校舎 東トイレ								小計	南校舎 西トイレ								小計	外トイレ	小計	合 計	備 考						
		1階		手洗		2階		手洗	1階		手洗		2階		手洗	1階		手洗	2階			手洗	3階		手洗	4階		手洗	1階						外部トイレ	手洗				
		男子トイレ	女子トイレ			男子トイレ	女子トイレ		男子トイレ	女子トイレ			男子トイレ	女子トイレ		男子トイレ	女子トイレ		男子トイレ	女子トイレ			男子トイレ	女子トイレ		男子トイレ	女子トイレ		男子トイレ								女子トイレ	男子トイレ	女子トイレ	男子トイレ
天井埋込換気扇 EF-1	低騒音型、ダクト、フード 360m3／h×150φ V-20ZS4	1	1		1	1		4	1	1		1	1		4											1	1	1	1	1	1	1	1	8					4	機器、ダクト(吊金物共)撤去 フードは既存再使用
標準換気扇 EF-2	壁付換気扇(格子式) 25cmタイプ(窓パネル取付) 電気配線仕様 電動式シャッター、SUS製ウェザーカバー、取付枠、他標準付属品一式																																					既設再利用		

特記事項		No.	
		M-02	

凡 例

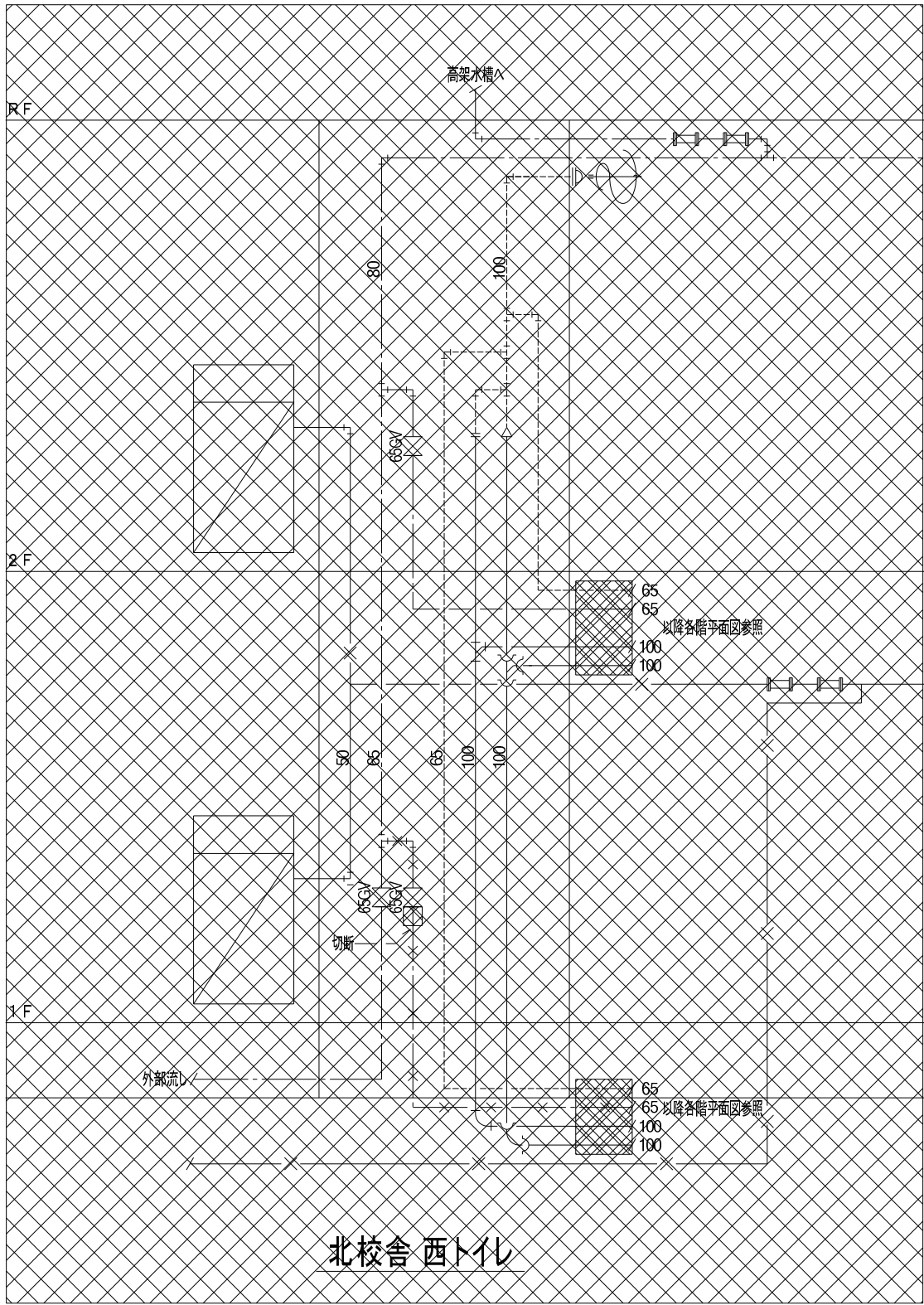
 撤去する配管、配管付属品の部分を示す

 本工事後不使用管を示す

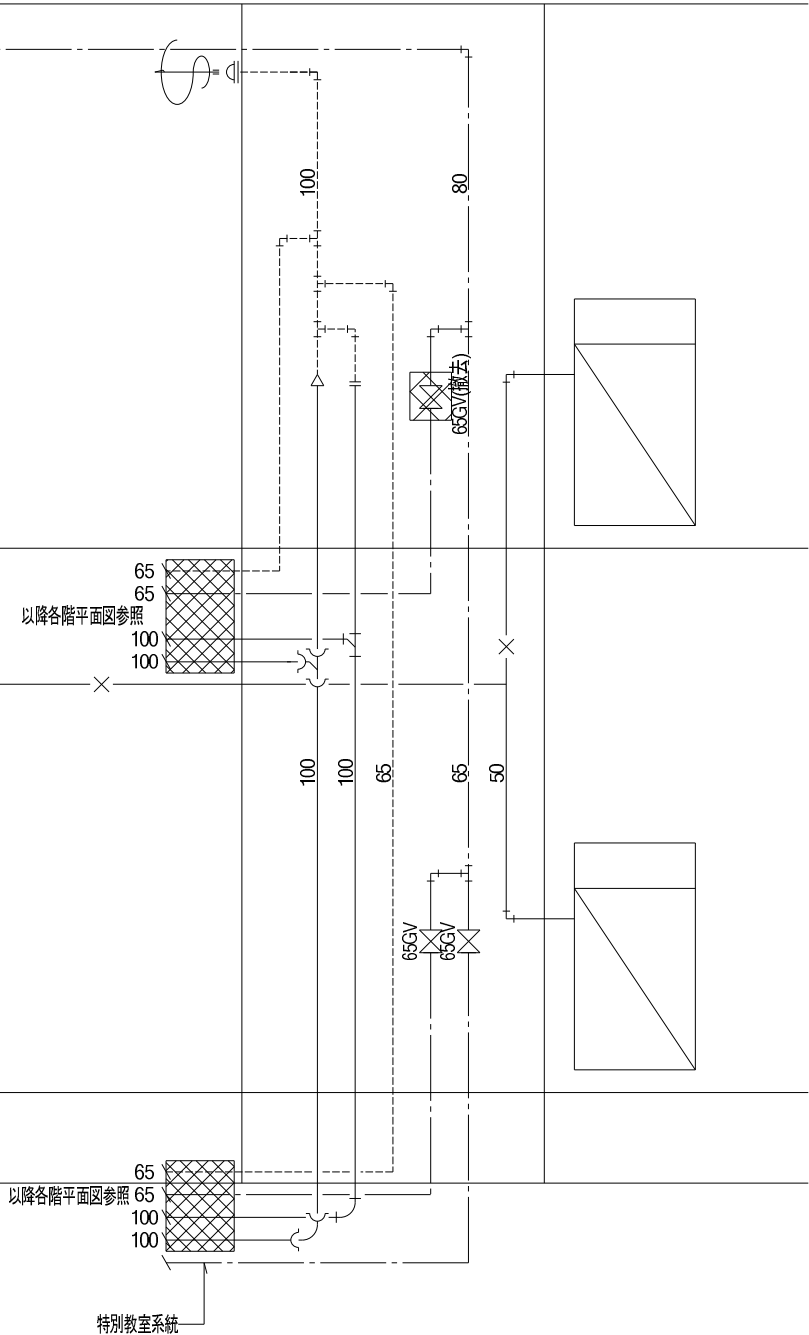
※PS内の各配管は現状維持とし、PS壁外側の各配管、配管付属品を撤去とする。

※埋設配管(1階土間、及び壁中)は残置とし、端部はプラグ又はキャップ止めとする。(不使用管)

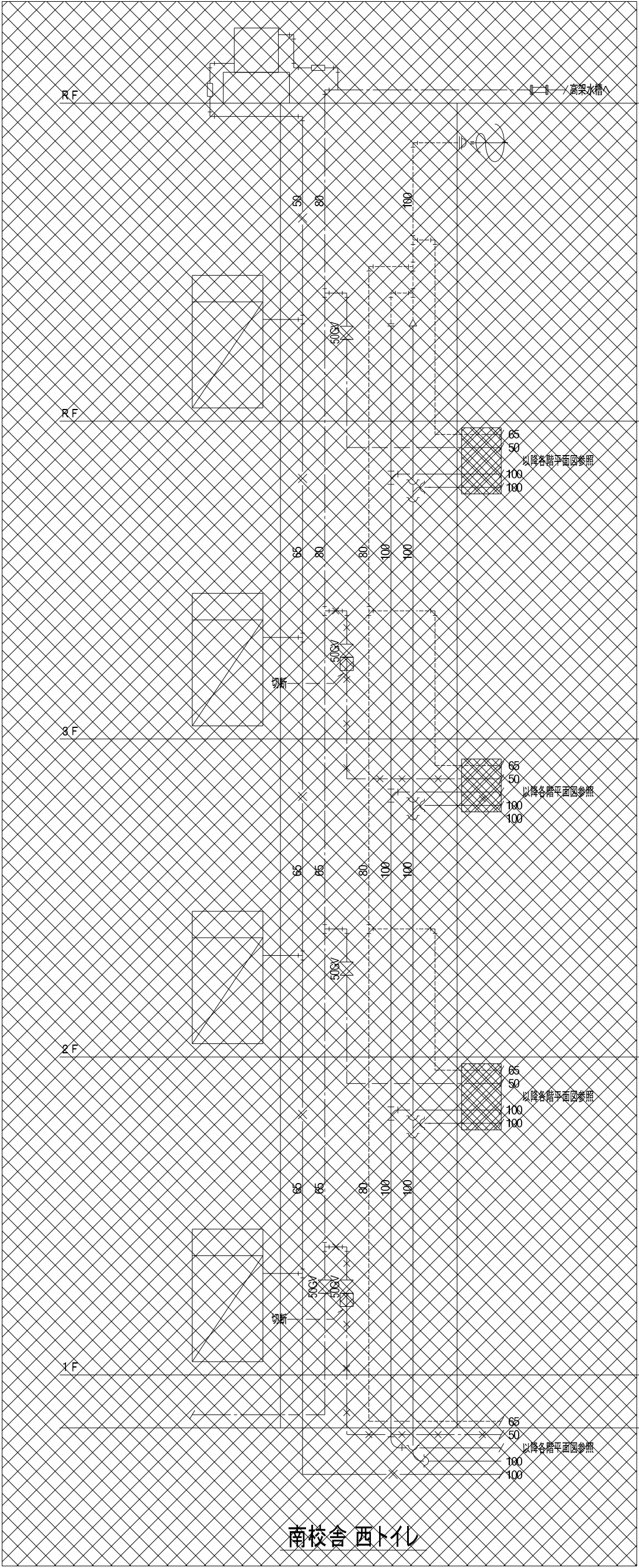
※本工事対象外



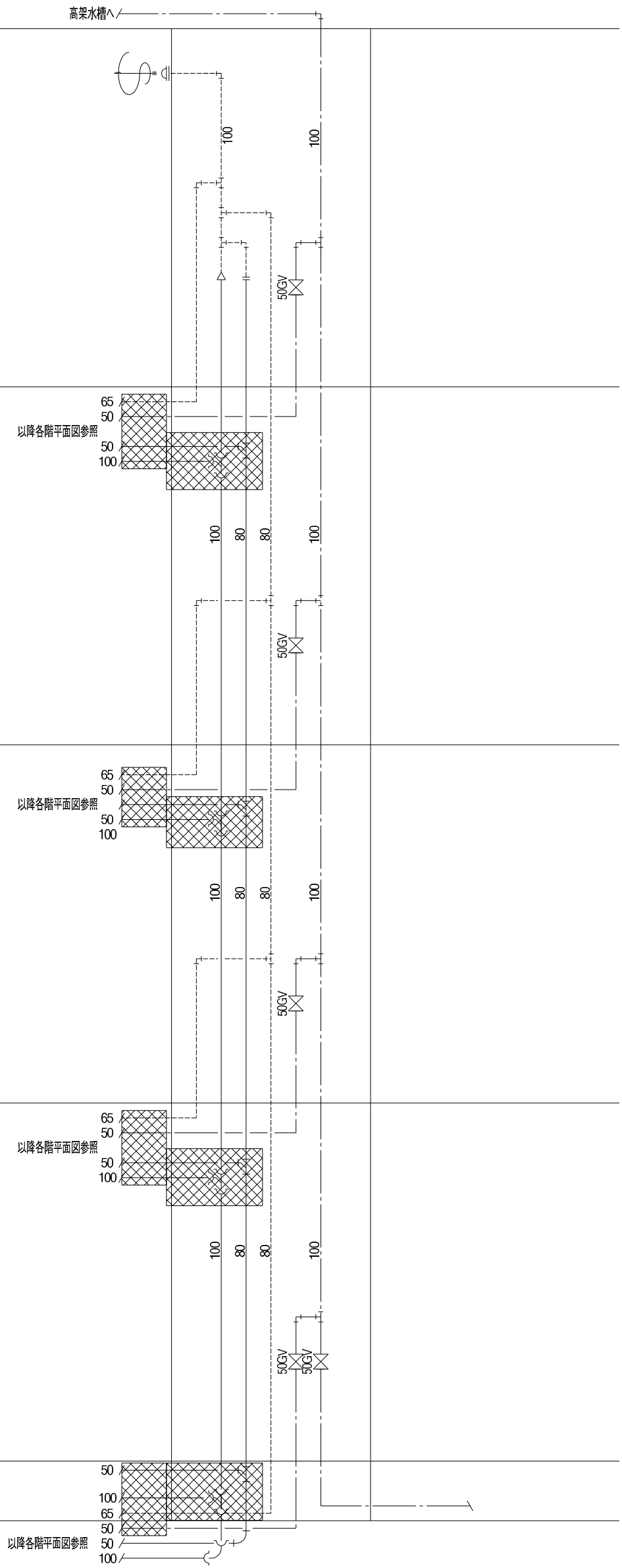
北校舎 東トイレ



※本工事対象外



南校舎 東トイレ



特記事項



齊藤出建築設計室

一級建築士 第326081号 齋 藤 出



検 印

設 計

設計年月

R 7 . 3

変更年月

工事名称

川越市立仙波小学校トイレ改修工事

図面名称

現況 給排水設備系統図

Scale

No.

M-04

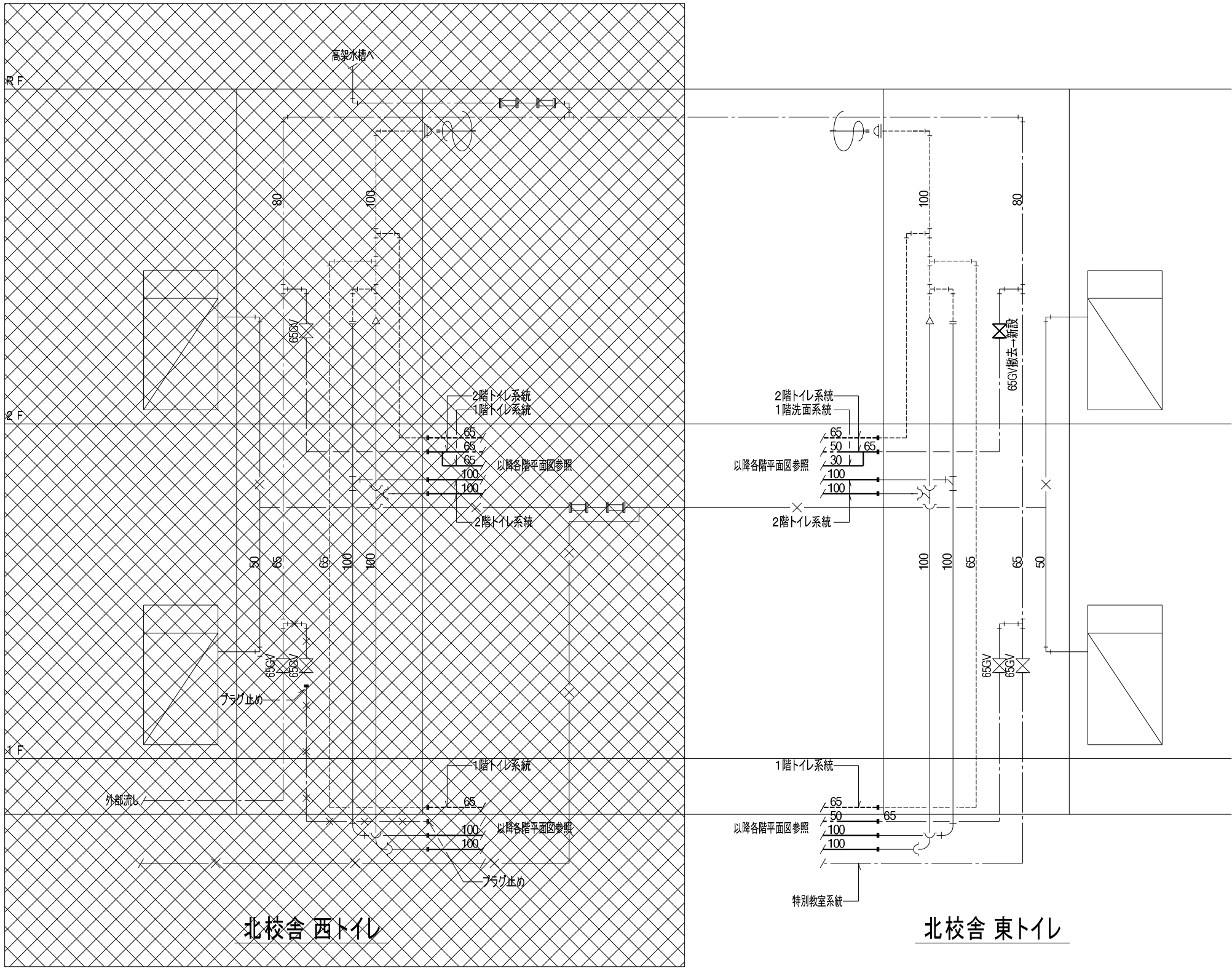
凡 例

- 新設配管を示す(太線表記)
- 既設配管を示す(細線表記)
- ※PS内の各配管は現状維持とし、PS壁外側の各配管、配管付属品を更新とする。

配 管 凡 例

記 号	名 称	仕 様
	給水管(上水)	天井内、PS内、ピット内(25A以上):水道用高密度ポリエチレン管(保温無)
		器具接続配管(25A以下):ポリブテン管(保温10m付、室内露出部は合成樹脂製カバー保護とする)
	排水管(雑排水、汚水共)	天井内、PS内、区画貫通箇所:耐火VP管(保温無)
	通気管	ピット内・天井内:VP管(保温無)

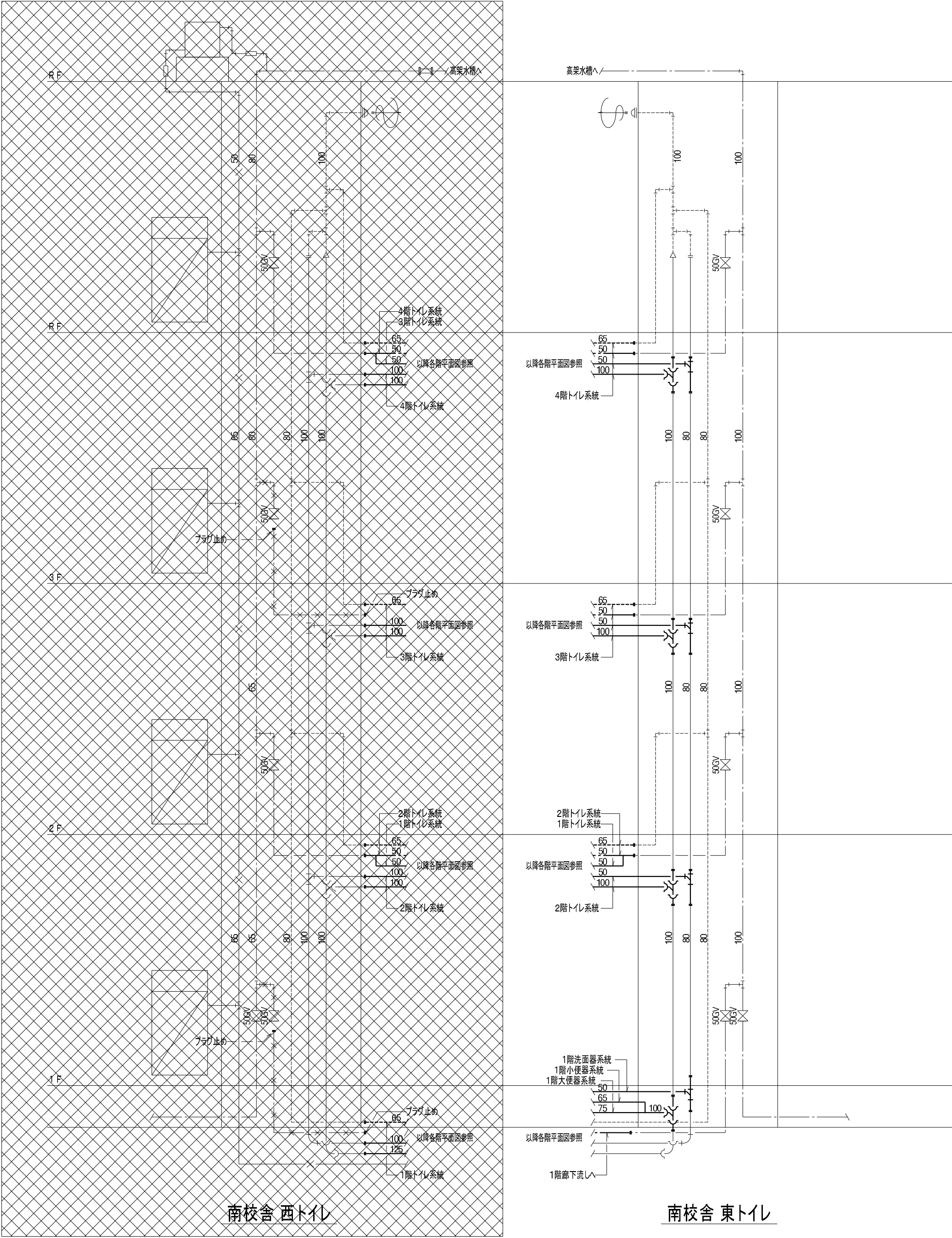
※本工事対象外



北校舎 西トイレ

北校舎 東トイレ

※本工事対象外



南校舎 西トイレ

南校舎 東トイレ

特記事項



齊藤出建築設計室

一級建築士 第326081号 齋 藤 出

検 印



設 計



設計年月

R 7 . 3

変更年月

工事名称

川越市立仙波小学校トイレ改修工事

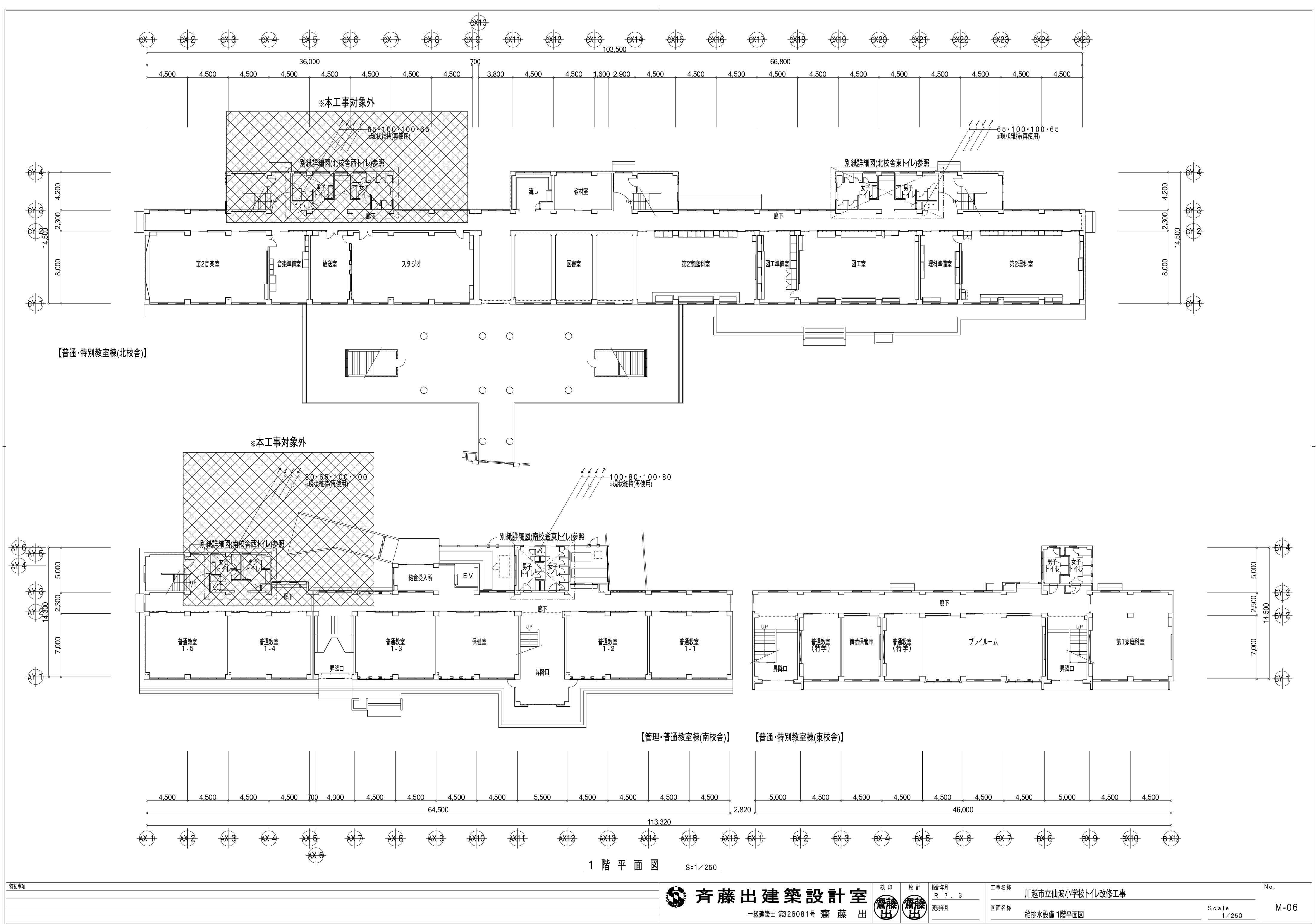
図面名称

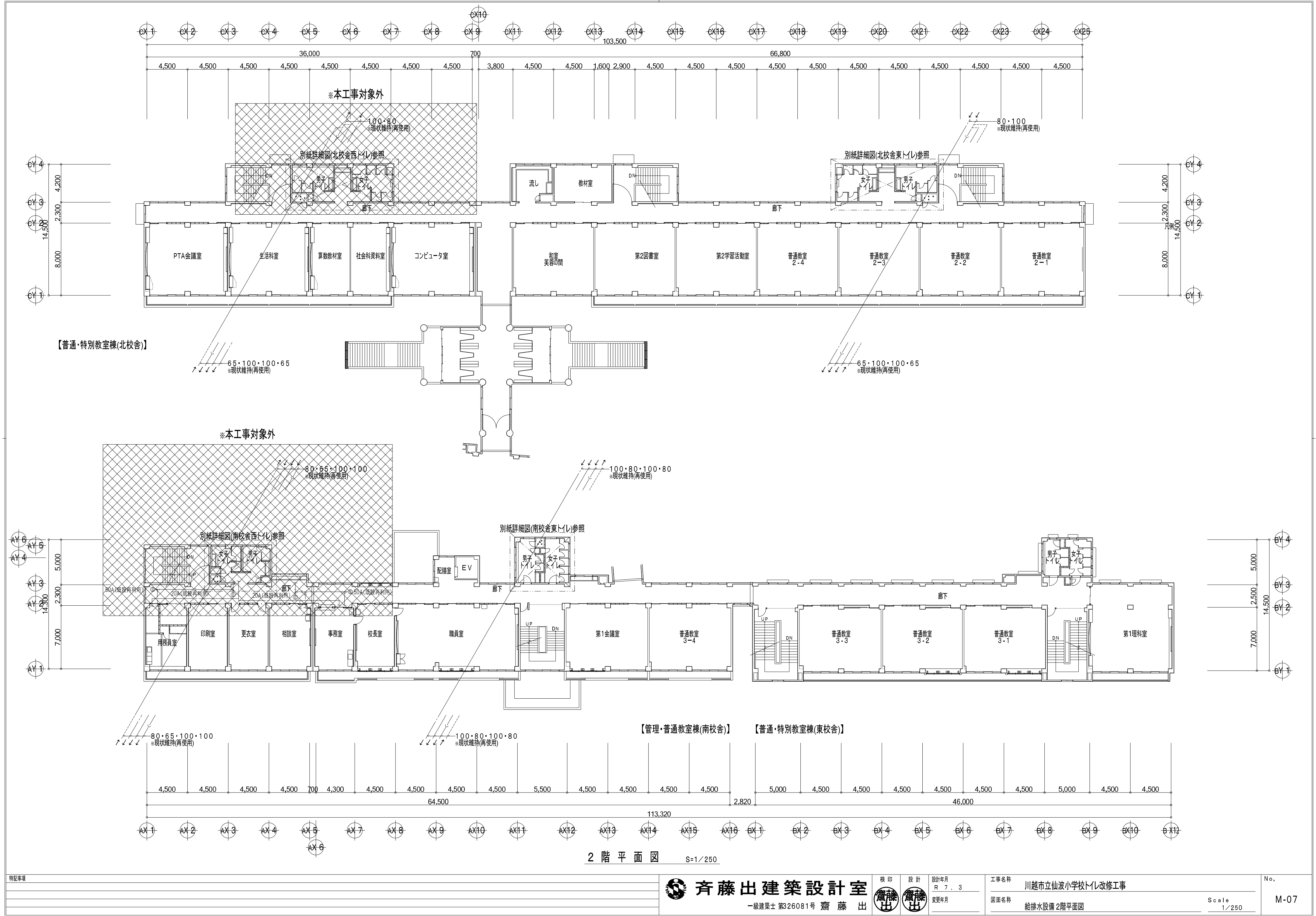
改修 給排水設備 系統図

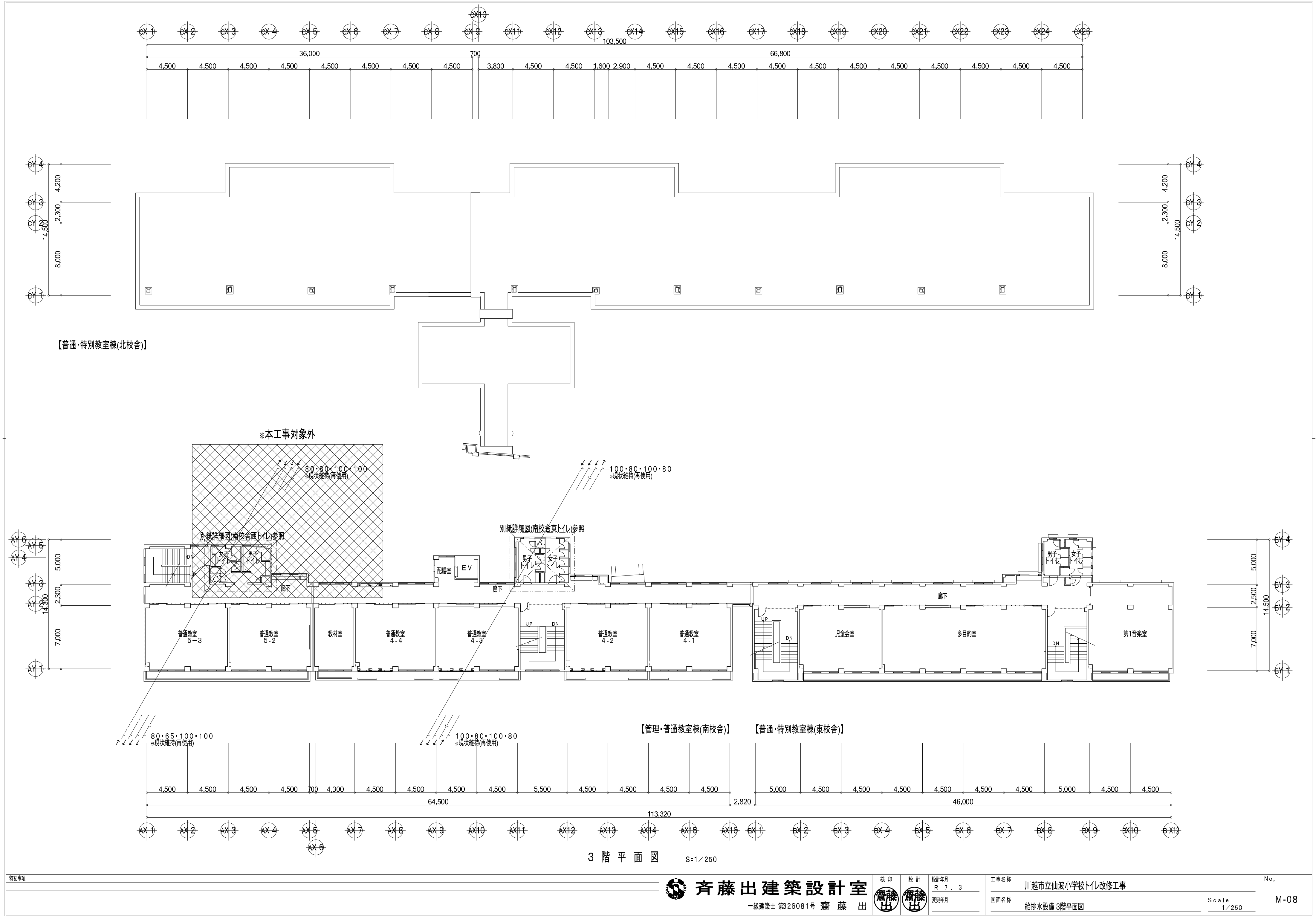
Scale

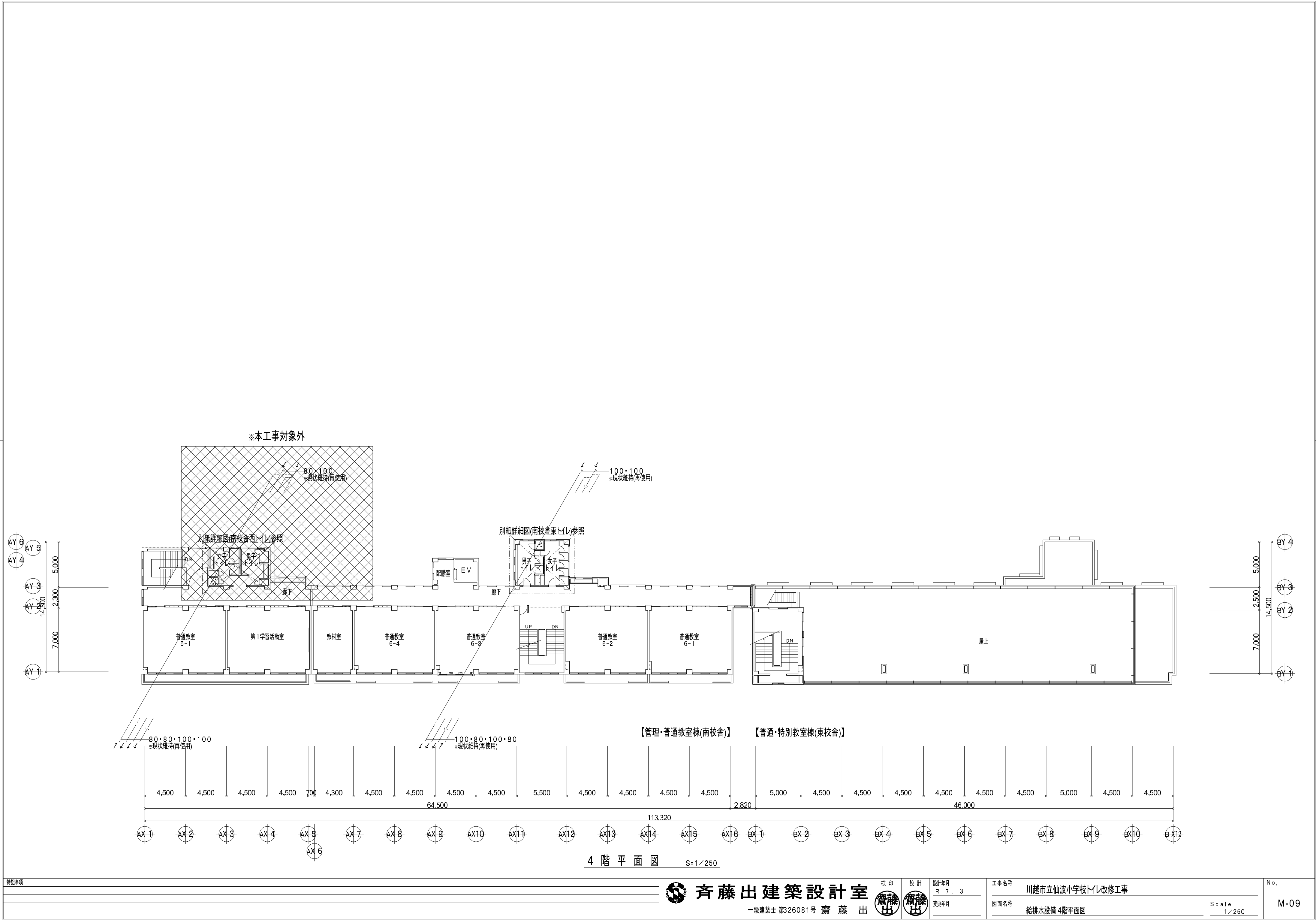
No.

M-05









凡 例



撤去する配管、配管付属品、衛生器具の部分を示す

※PS内の各配管は現状維持とし、PS壁外側の各配管を撤去とする。

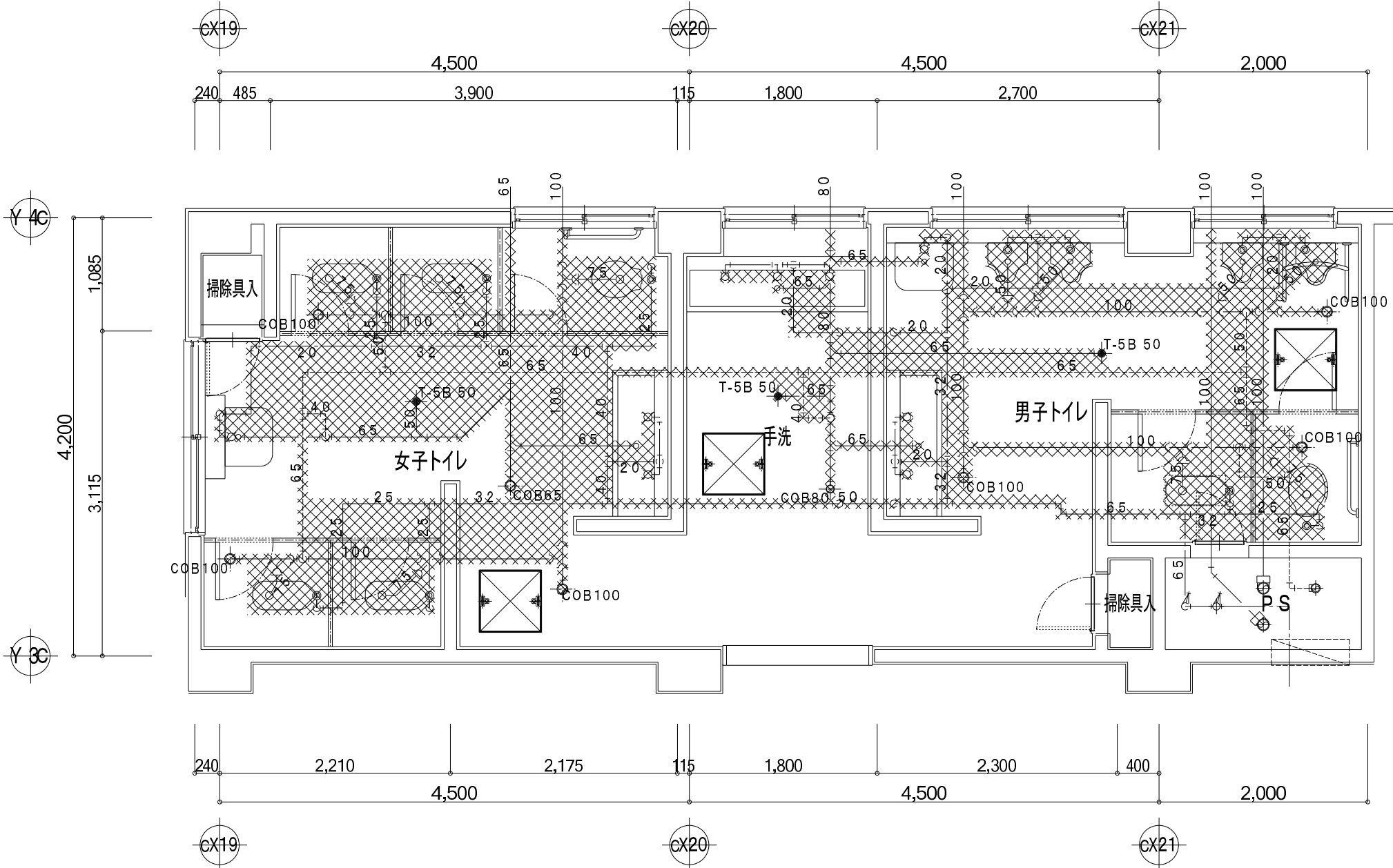
※埋設配管(1階土間、及び壁中)は残置とし、端部はプラグ又はキャップ止めとする。(不使用管)

※原則、既設配管継手より撤去とし、コンクリート埋込み部等の配管など、全撤去が困難な箇所限り

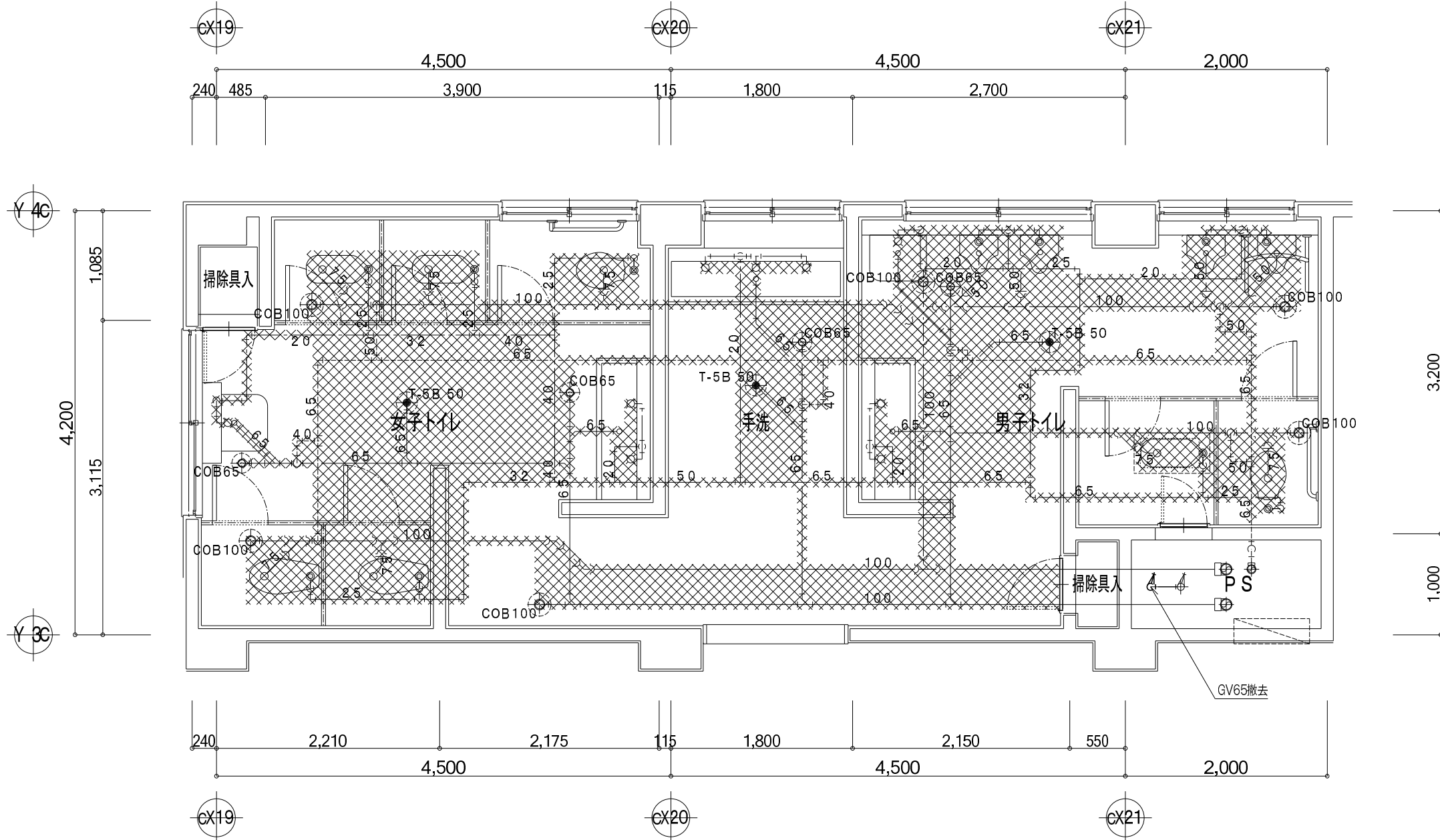
切断撤去とする。



既設床点検口を示す(建築図参照)



北校舎 東トイレ
1階トイレ平面詳細図 S=1/50



北校舎 東トイレ
2階トイレ平面詳細図 S=1/50

特記事項



齊藤出建築設計室

一級建築士 第326081号 齋 藤 出

検 印



設 計



設計年月

R 7 . 3

変更年月

工事名称

川越市立仙波小学校トイレ改修工事

図面名称

現況 北校舎 東トイレ 給排水衛生設備平面詳細図

Scale

1/50

No.

M-10

改修

凡 例

表記の衛生器具及び配管は既存を示す。

☆ 床から天井内への立ち上げ配管を示す(露出配管)

★ 天井より立下げ配管を示す(露出配管)

 既存配管スリーブ位置を示す。(改修工事で再使用とする)

※PS内の各配管は現状維持とし、PS壁外側の各配管を撤去とする。

※特記なき限り、天井内配管とする。

※室内露出給水管(横引き、立上げ、立下げ)は合成樹脂製カバー保護とする。

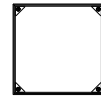
※給水管管種は右記による 30~50 : 高密度ポリエチレン管 20~25PB : ポリブデン管

※腰掛洋便器への給水は20Suにて床より立上げ配管とする。

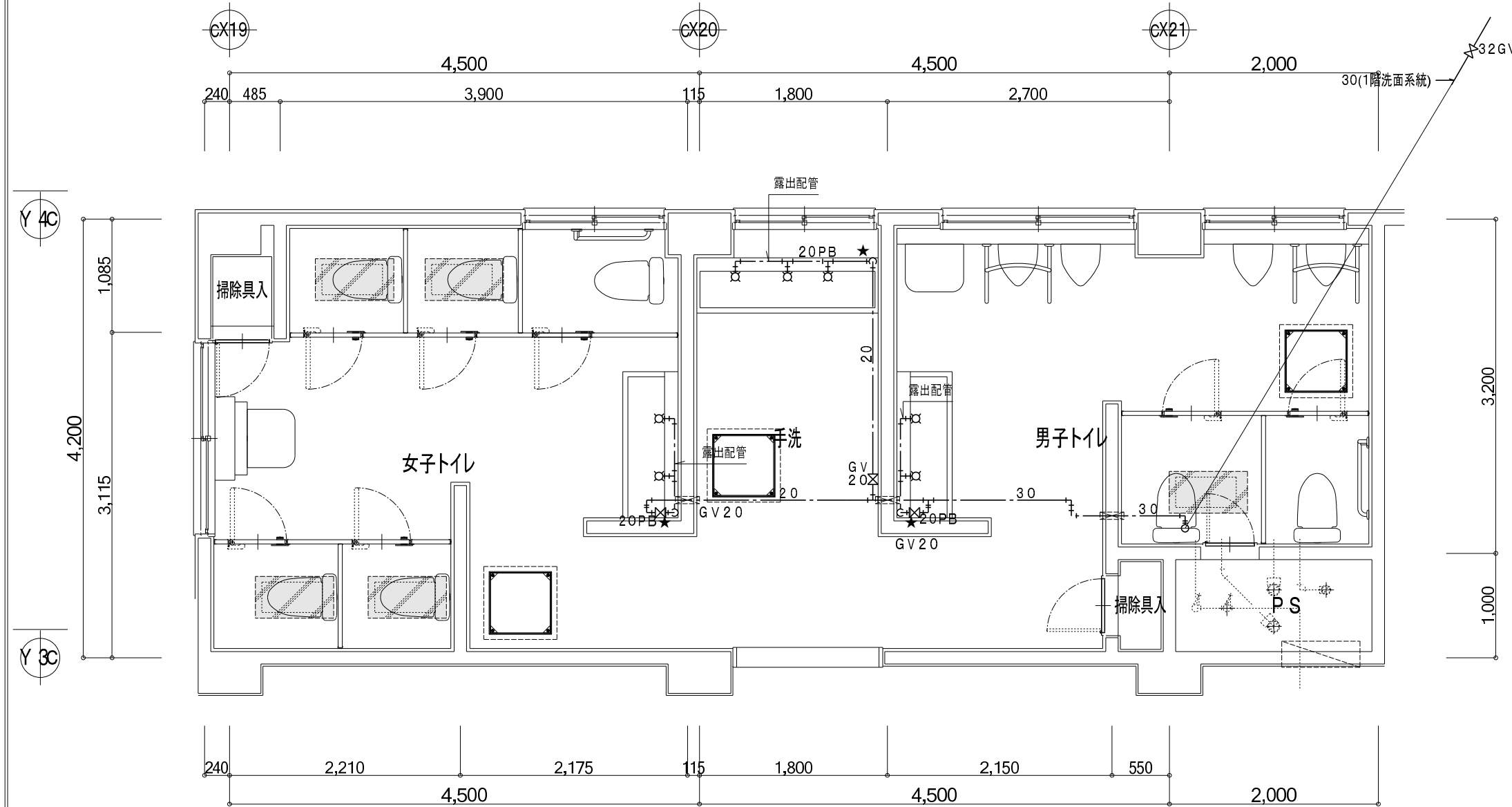
※床下掃除口(CO)は満水試験用とし、上向き設置とする。(つまみ形)

※原則、既設配管継手より新設とし、既設ねじ接合部が著しく劣化している等、再利用が困難な場合に

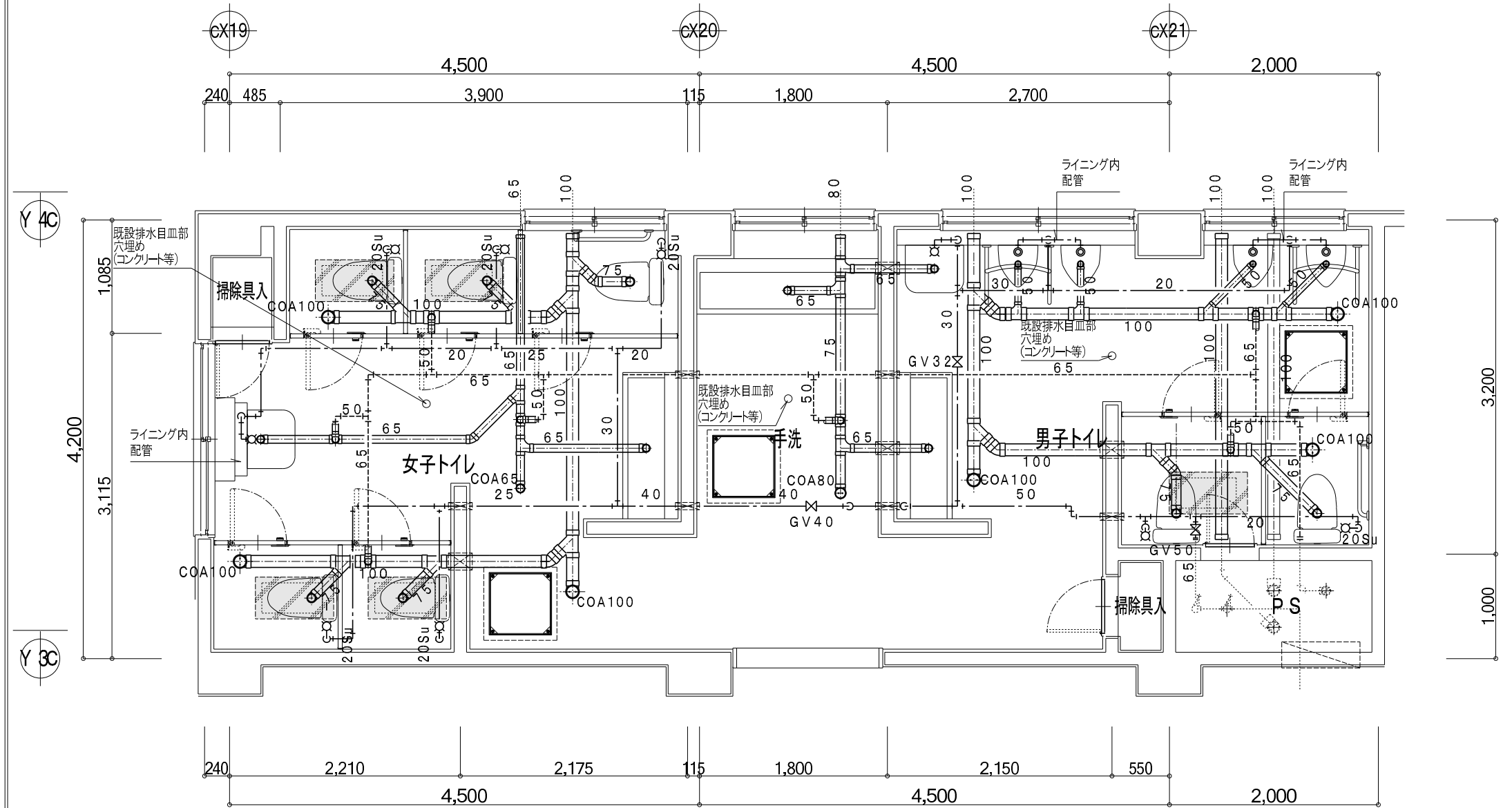
限り、メカニカル管継手新設(用途に合わせたもの)とする。



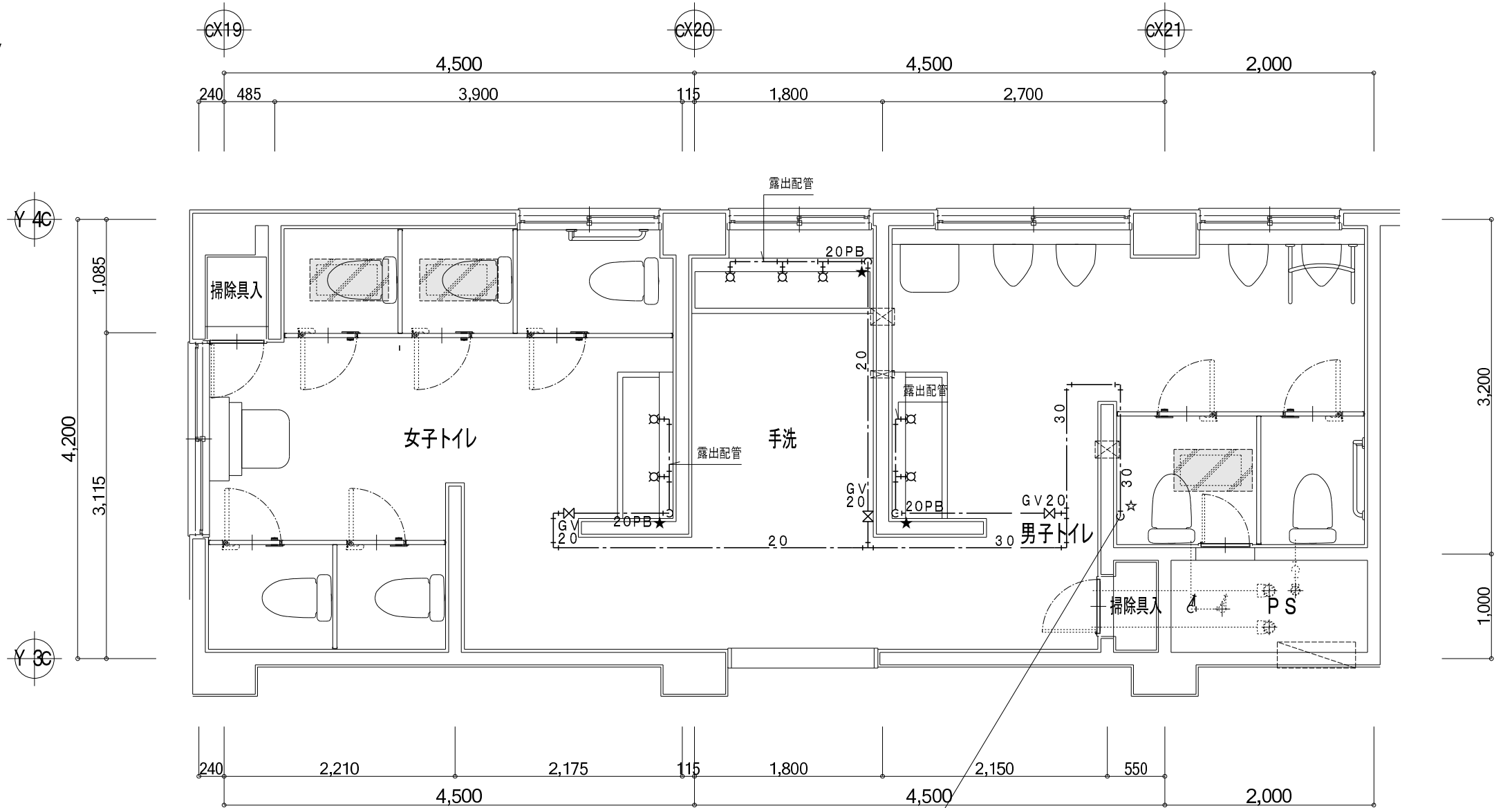
新設床点検口を示す(建築図参照)



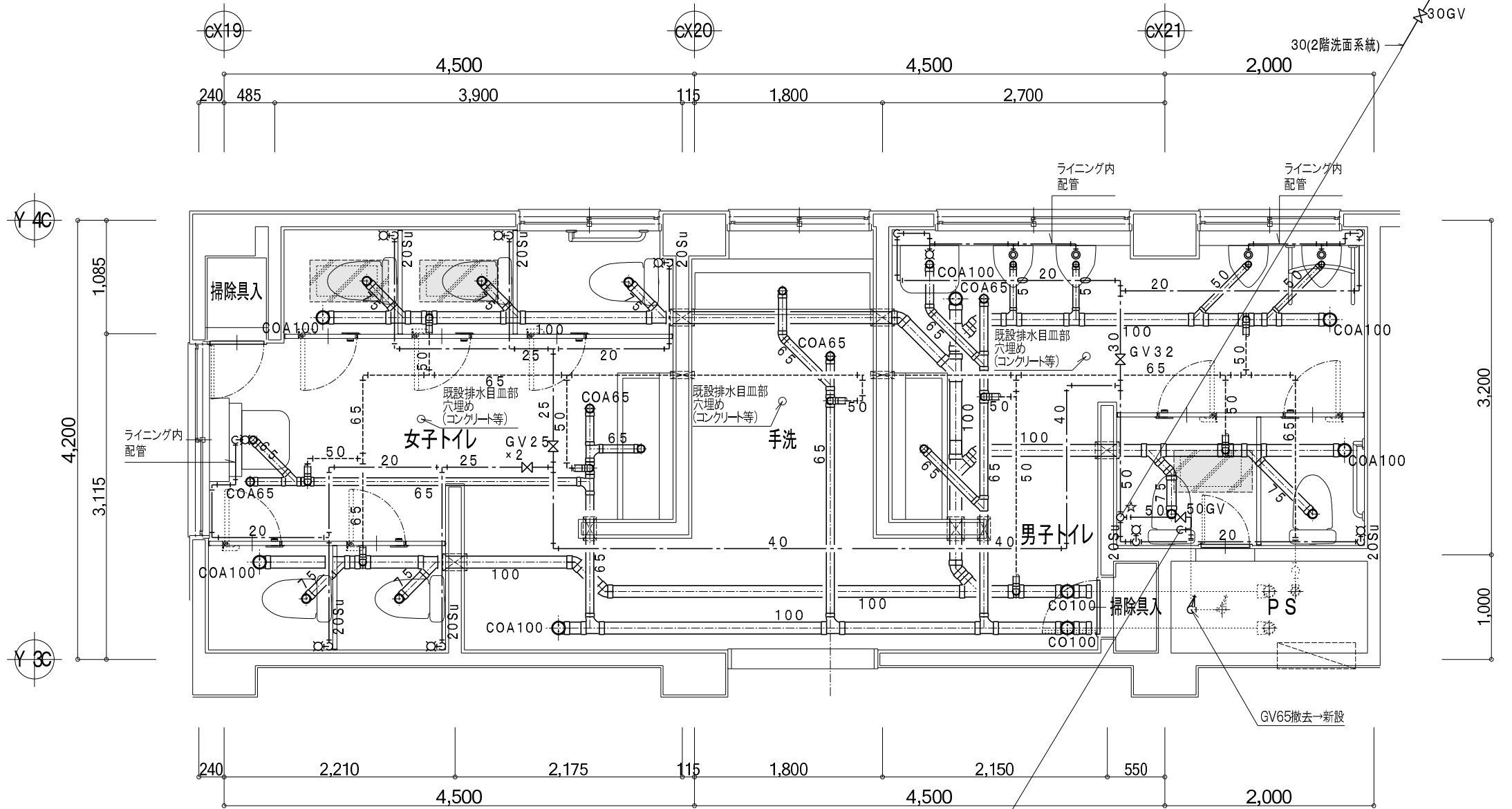
北校舎 東トイレ 1階トイレ平面詳細図(見上げ) S=1/50



北校舎 東トイレ 1階トイレ平面詳細図(見下げ) S=1/50



北校舎 東トイレ 2階トイレ平面詳細図(見上げ) S=1/50



北校舎 東トイレ 2階トイレ平面詳細図(見下げ) S=1/50

特記事項	斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋 藤 出	検 印 設 計 設計年月 R 7 . 3 変更年月	工事名称 川越市立仙波小学校トイレ改修工事 No. M-11 図面名称 改修 北校舎 東トイレ 給排水衛生設備平面詳細図 Scale 1/50
------	---	---	---

凡 例

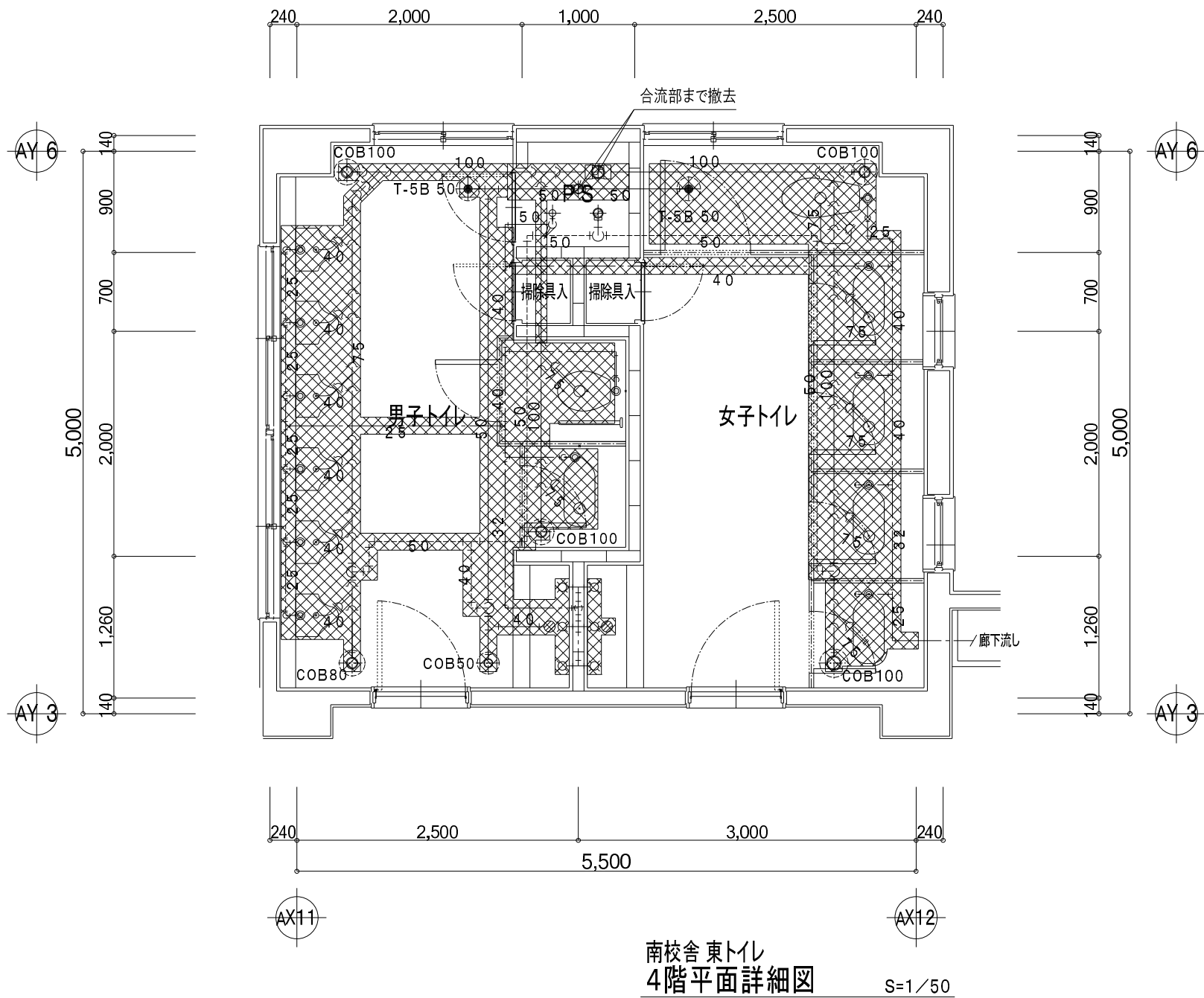
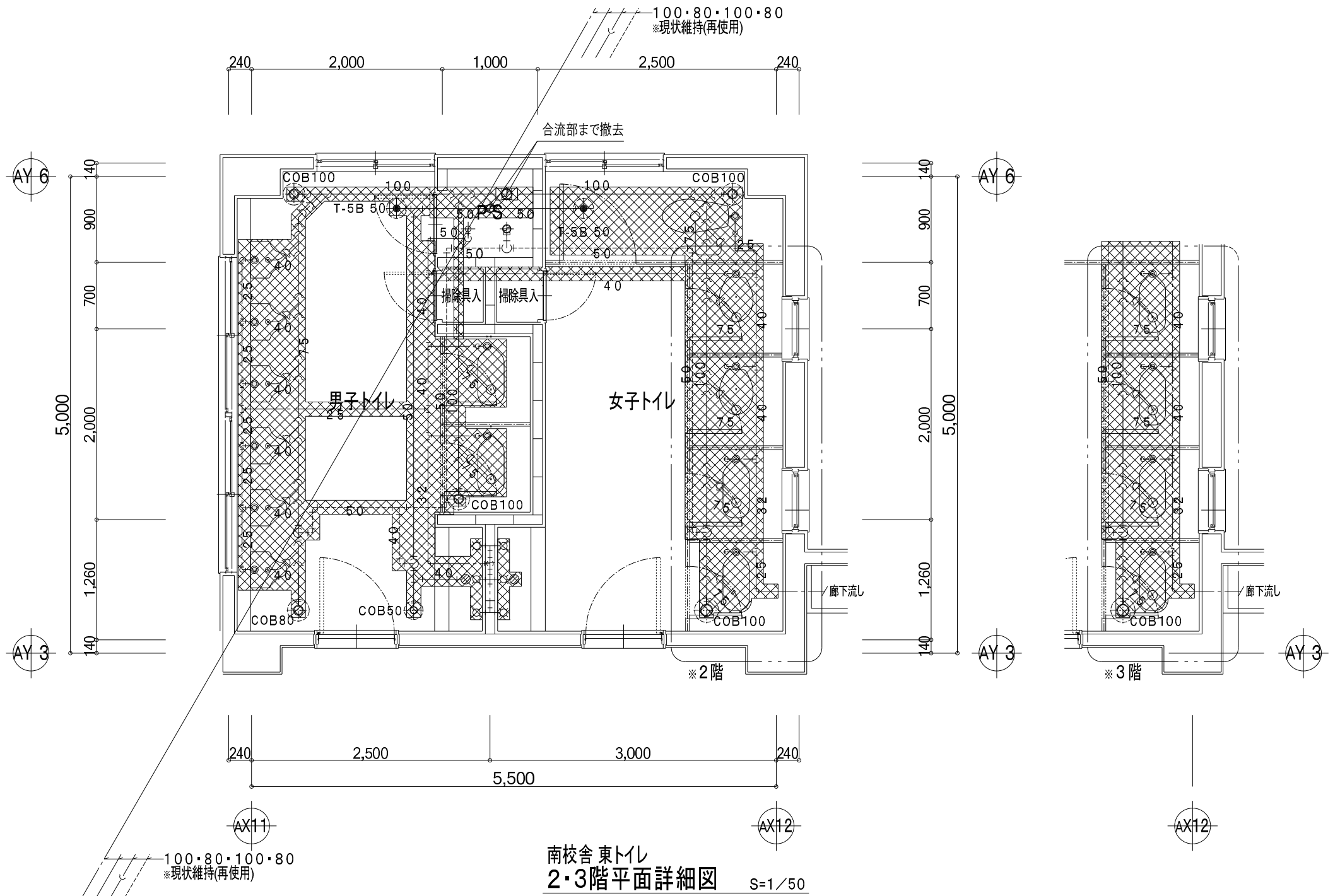
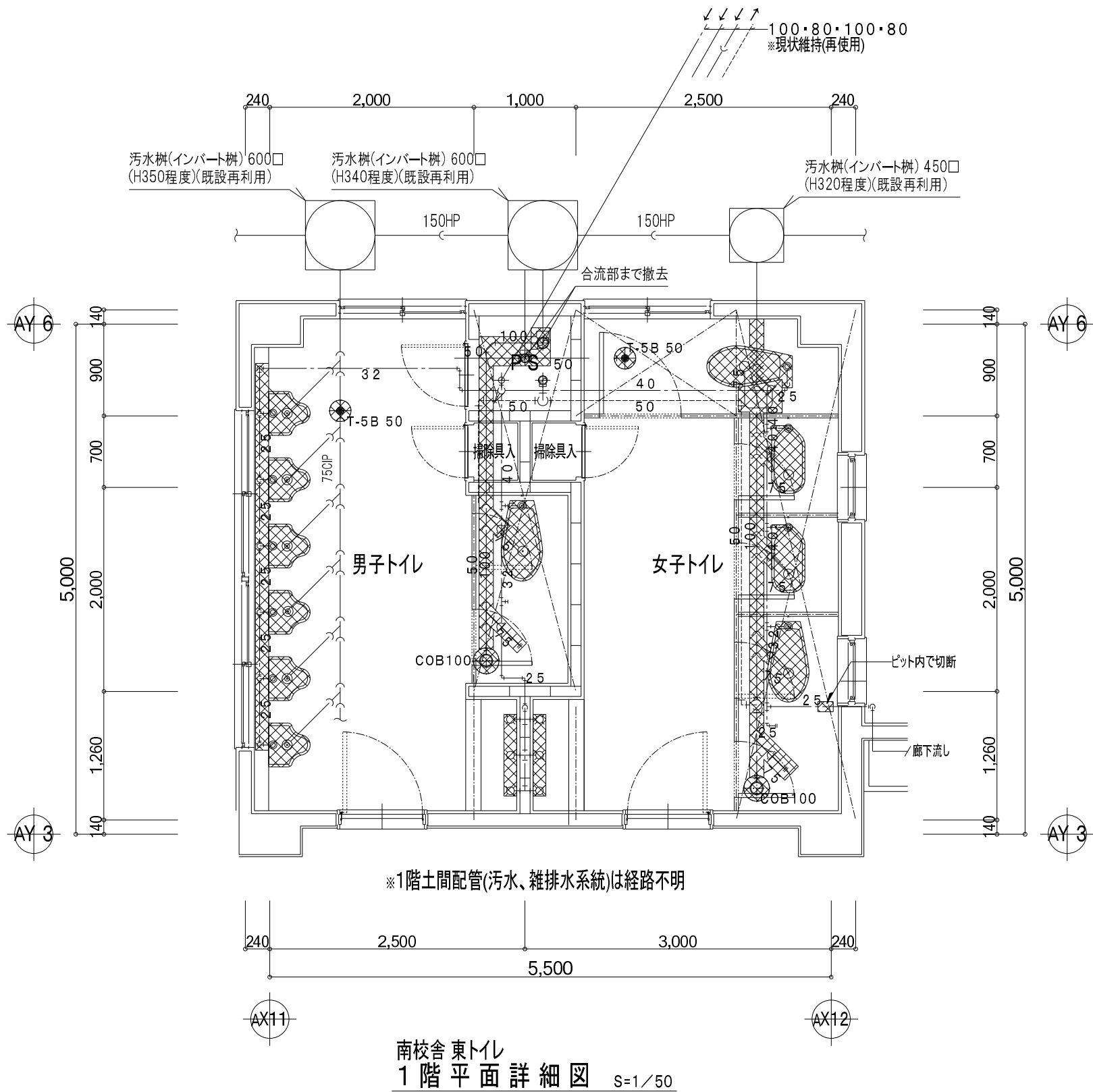
撤去する配管、配管付属品、衛生器具の部分を示す

※PS内の各配管は現状維持とし、PS壁外側の各配管を撤去とする。

※埋設配管(1階土間、及び壁中)は残置とし、端部はプラグ又はキャップ止めとする。(不使用管)

※原則、既設配管継手より撤去とし、コンクリート埋込み部等の配管など、全撤去が困難な箇所に限り

切断撤去とする。



特記事項



齊藤出建築設計室

一級建築士 第326081号 齋藤出

検印

設計

設計年月

R 7. 3

変更年月

工事名称

川越市立仙波小学校トイレ改修工事

図面名称

現況 南校舎 東トイレ 給排水衛生平面詳細図

Scale

1/50

No.

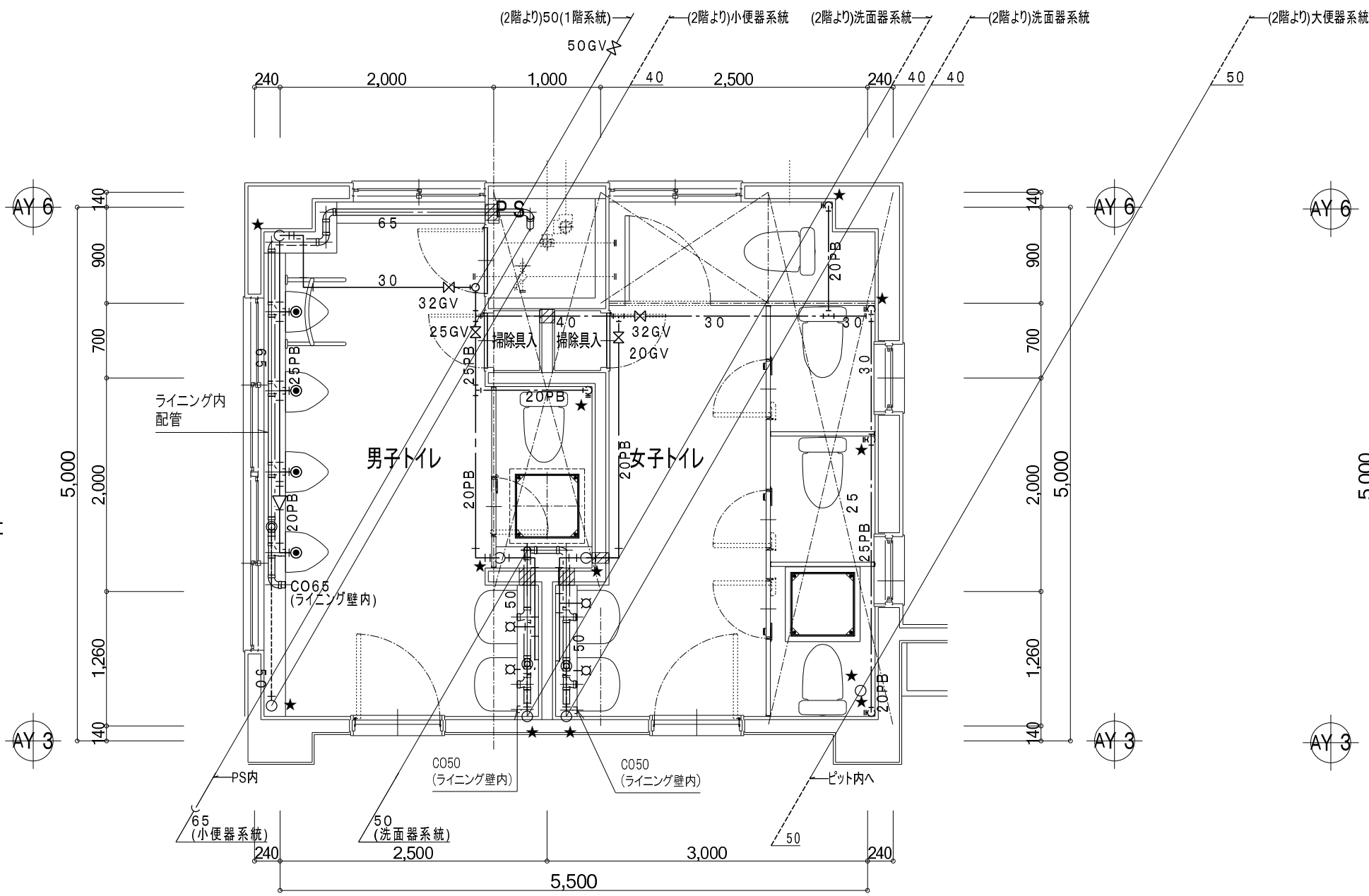
M-12

凡 例

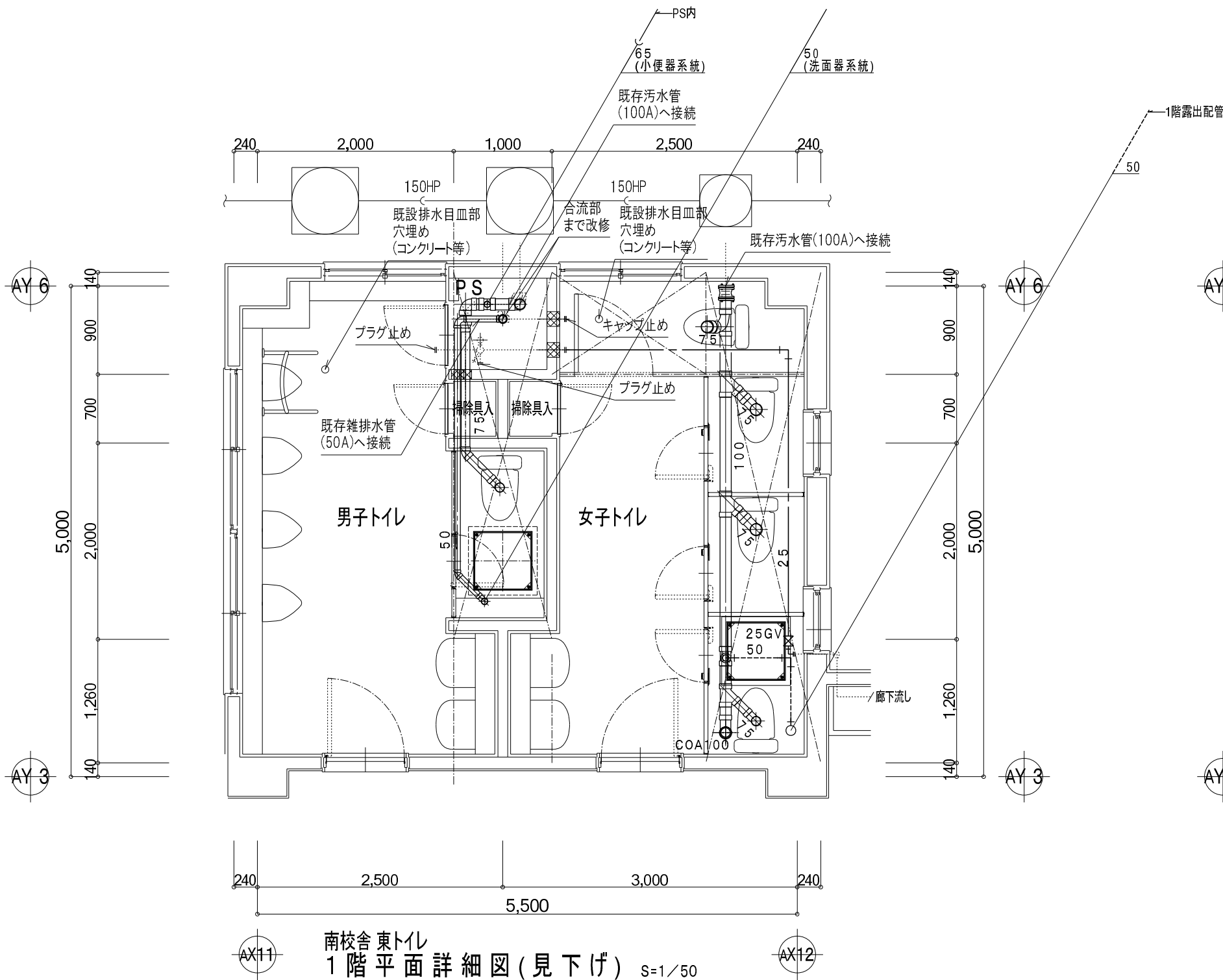
- ☆ 床から天井内への立ち上げ配管を示す(露出配管)
- ★ 天井より立下げ配管を示す(露出配管)



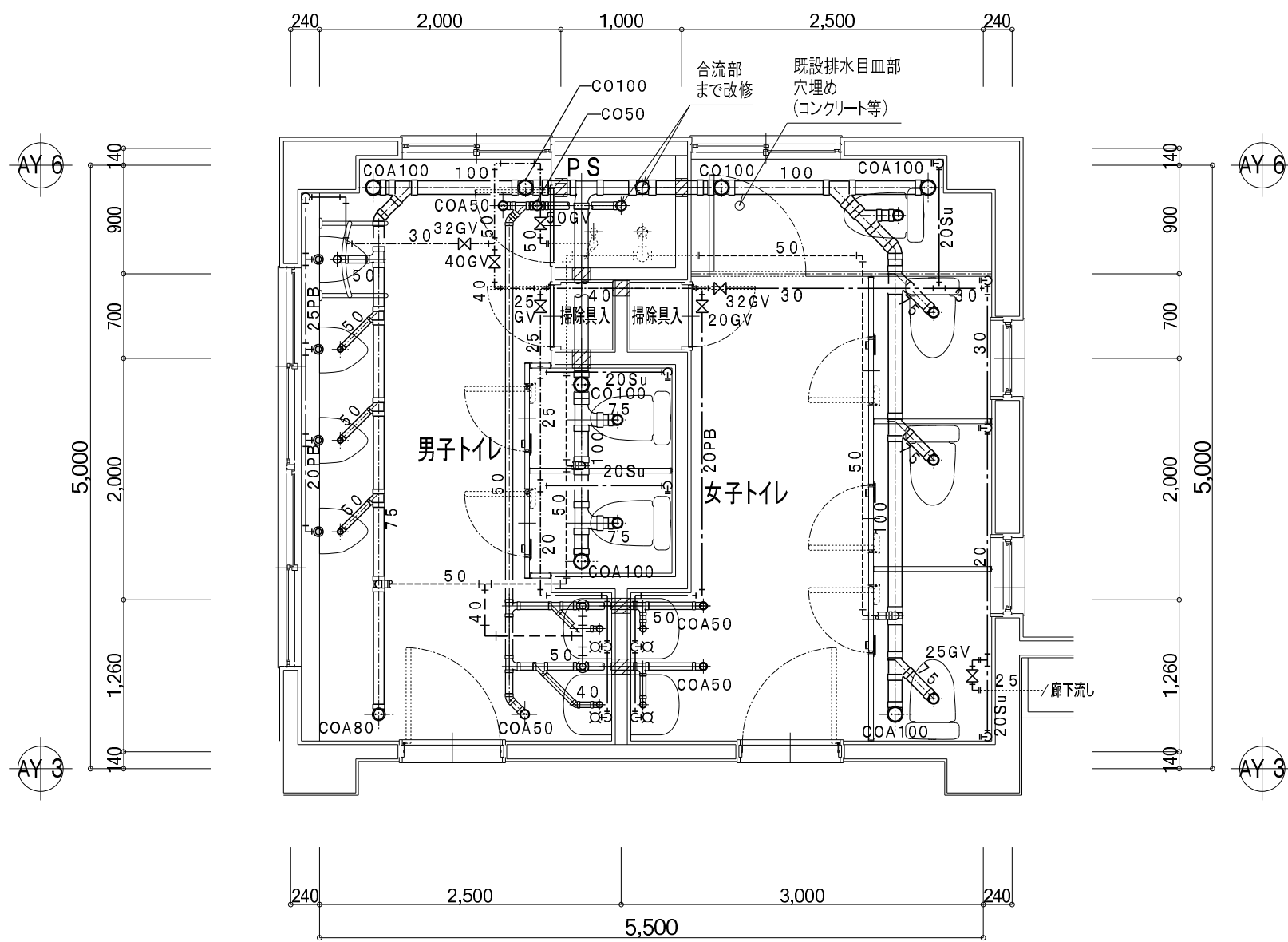
—— 既設スリーブ箇所(躯体壁)を示す



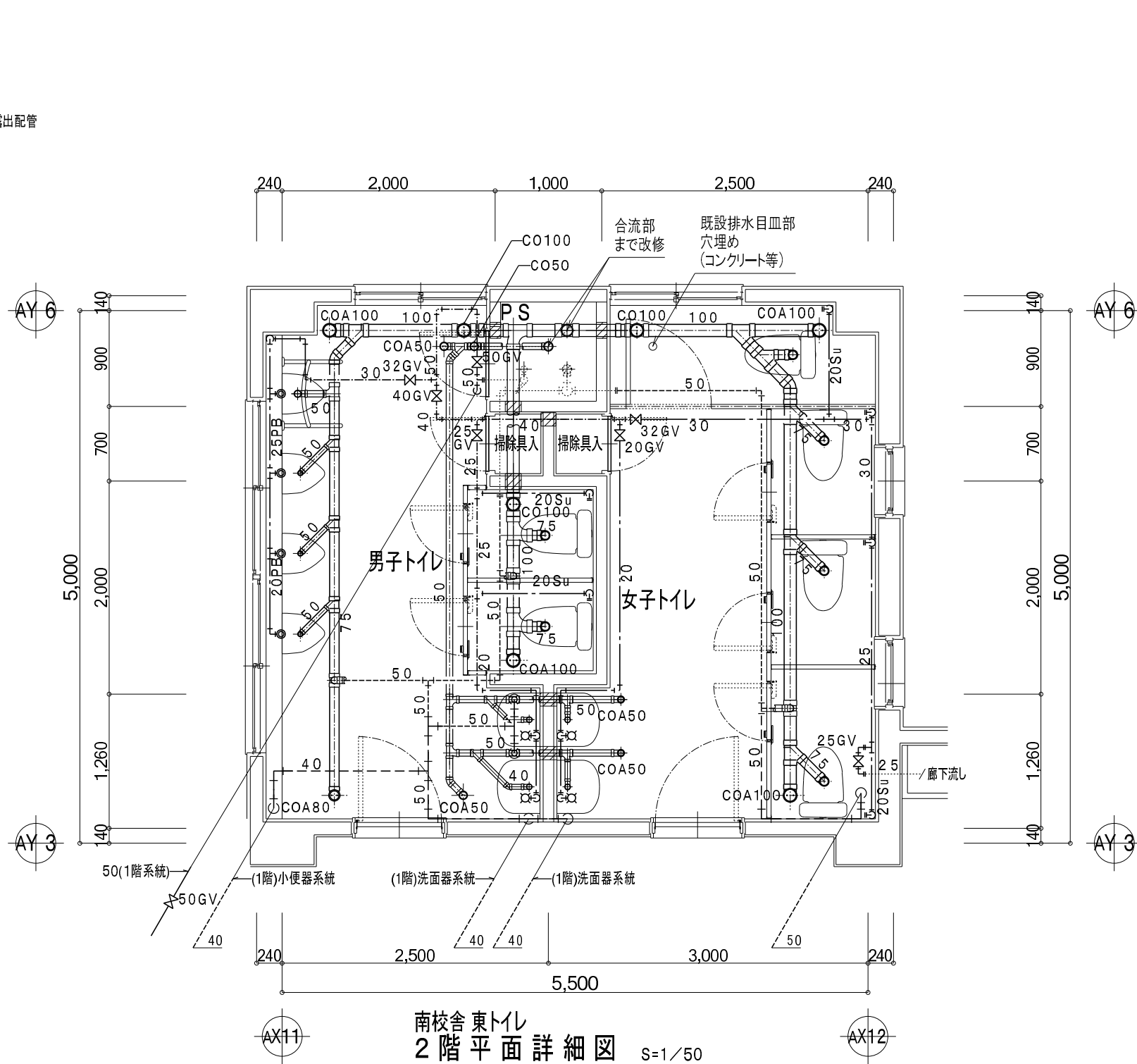
南校舎 東トイ
1階平面詳細図(見上げ) S=1/50



南校舎 東トイ
1階平面詳細図(見下げ) S=1/50

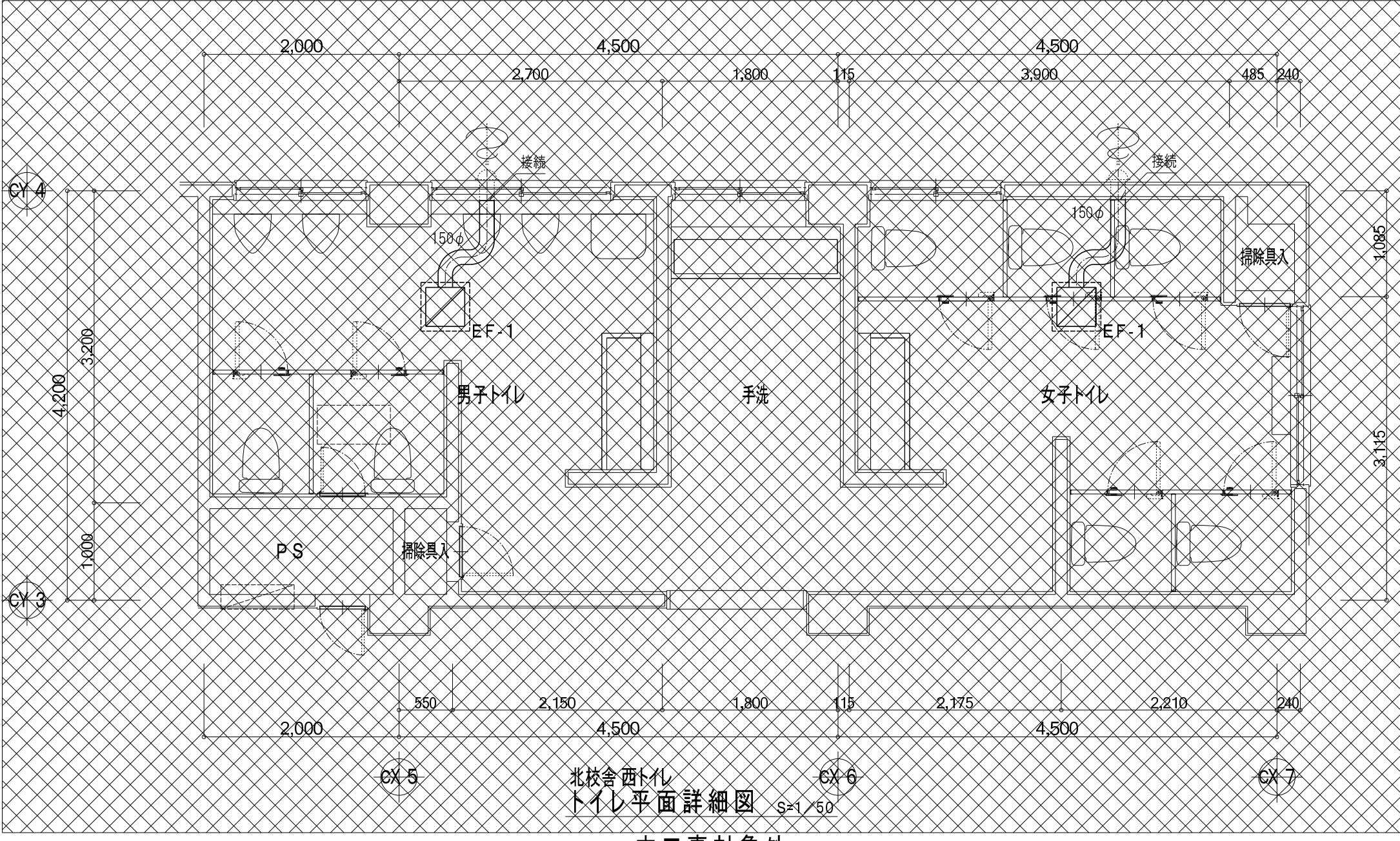
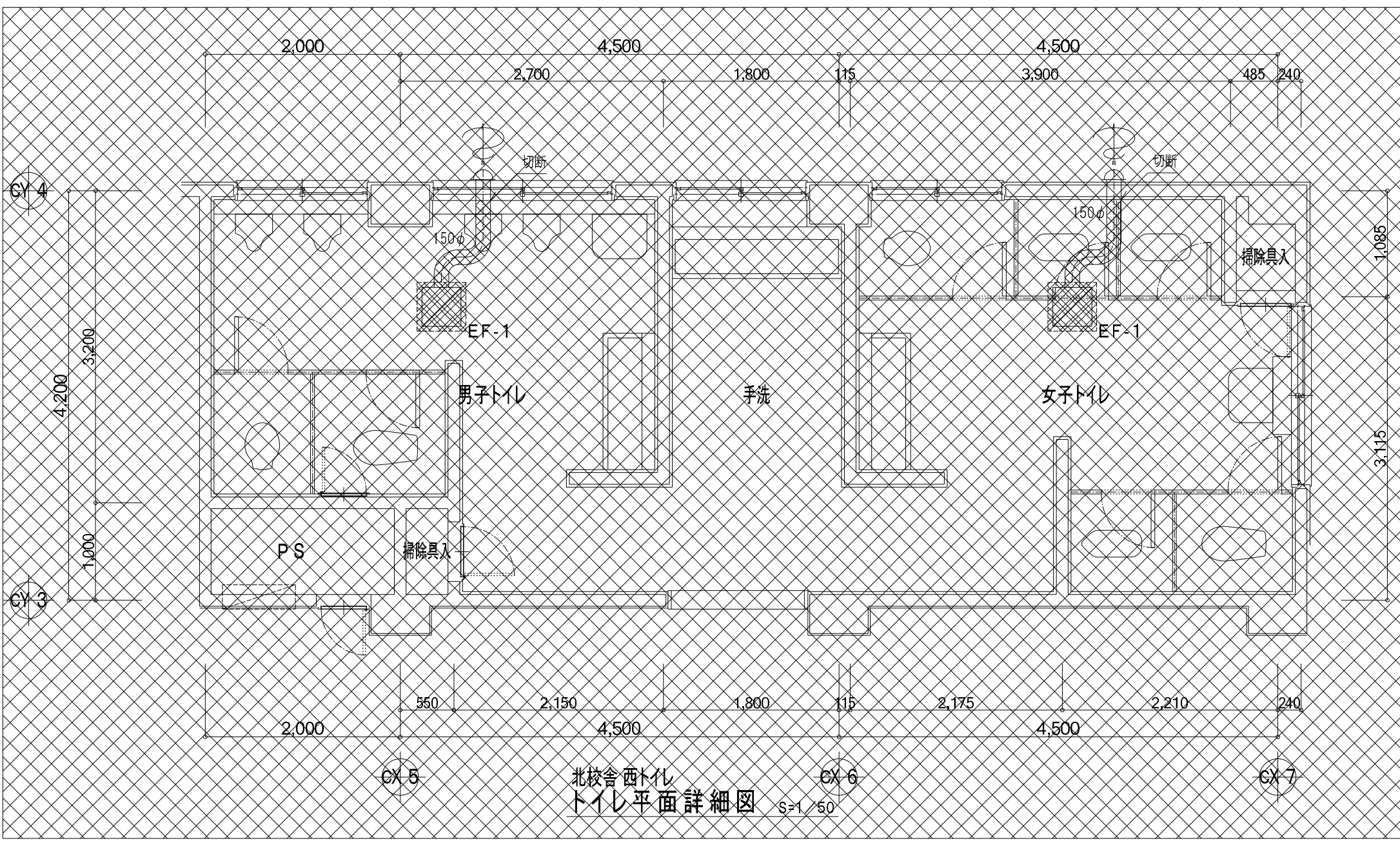
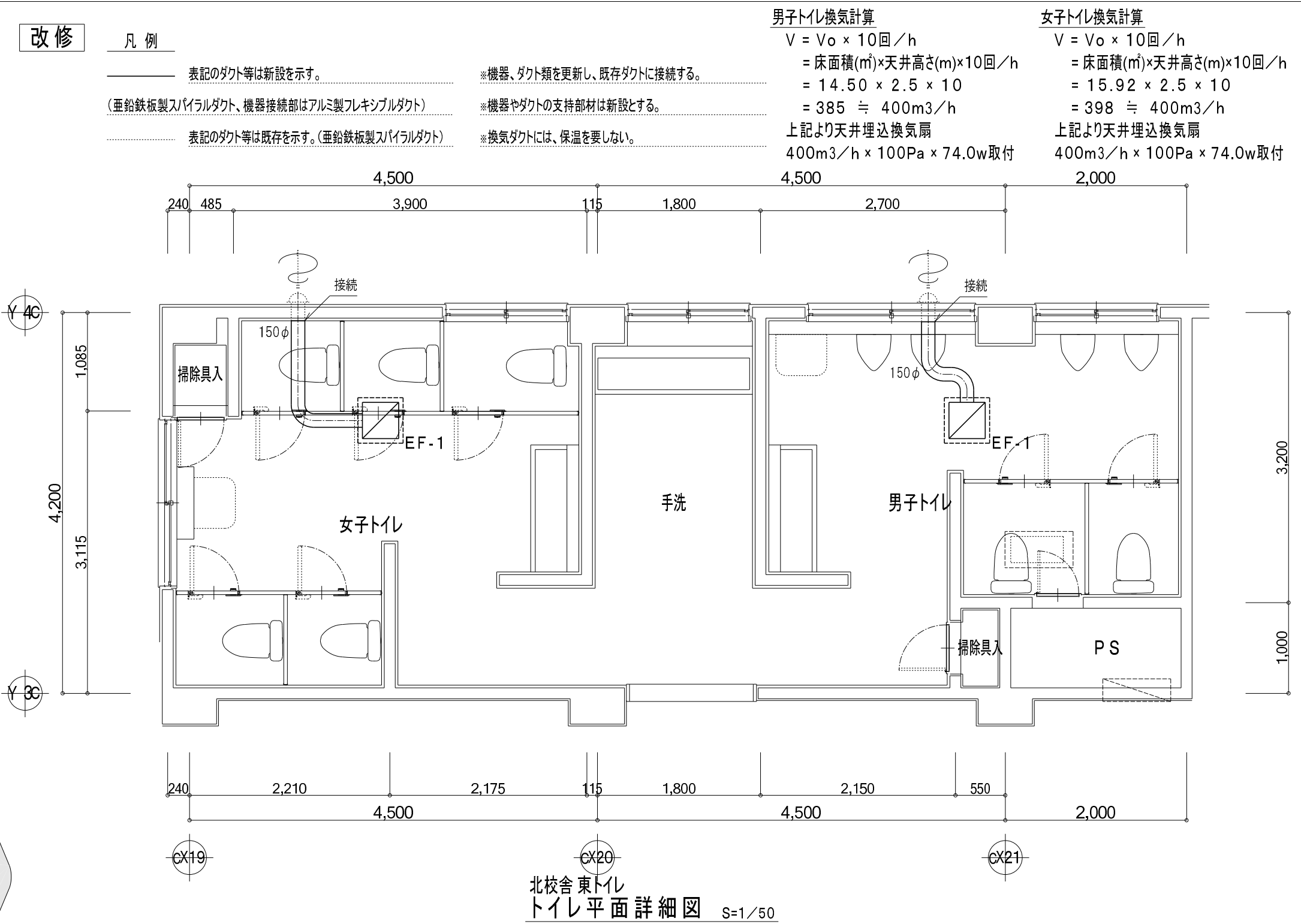
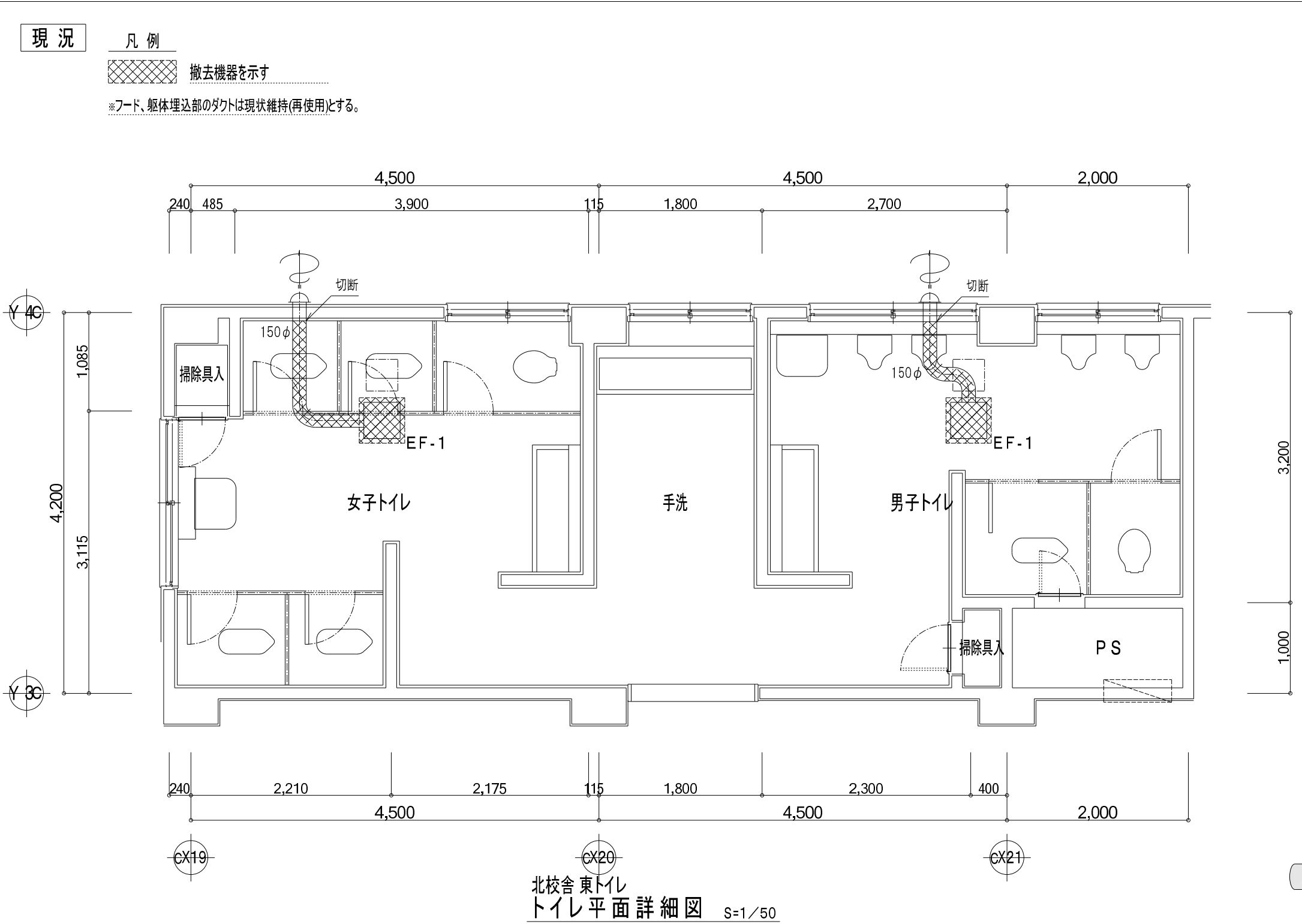


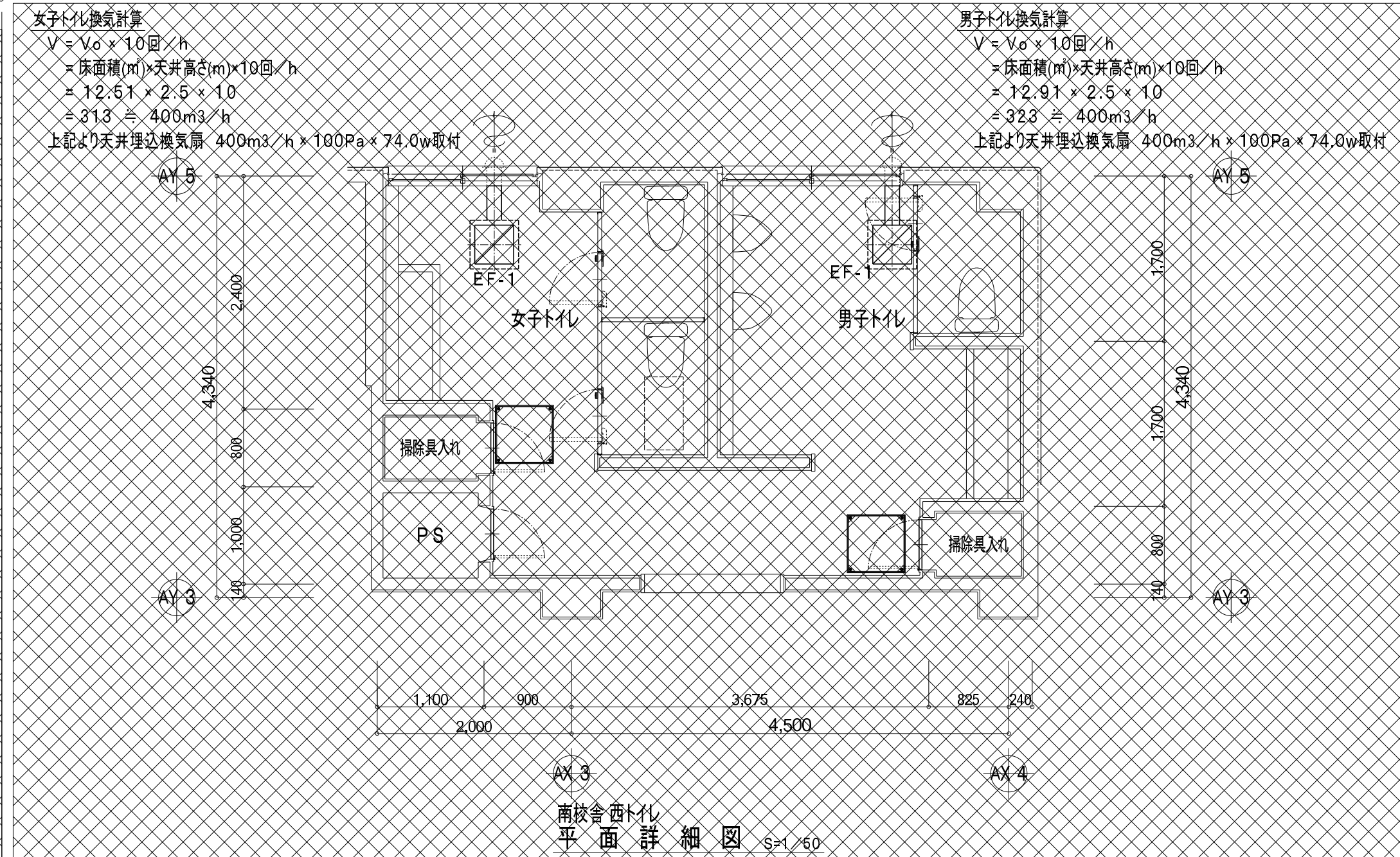
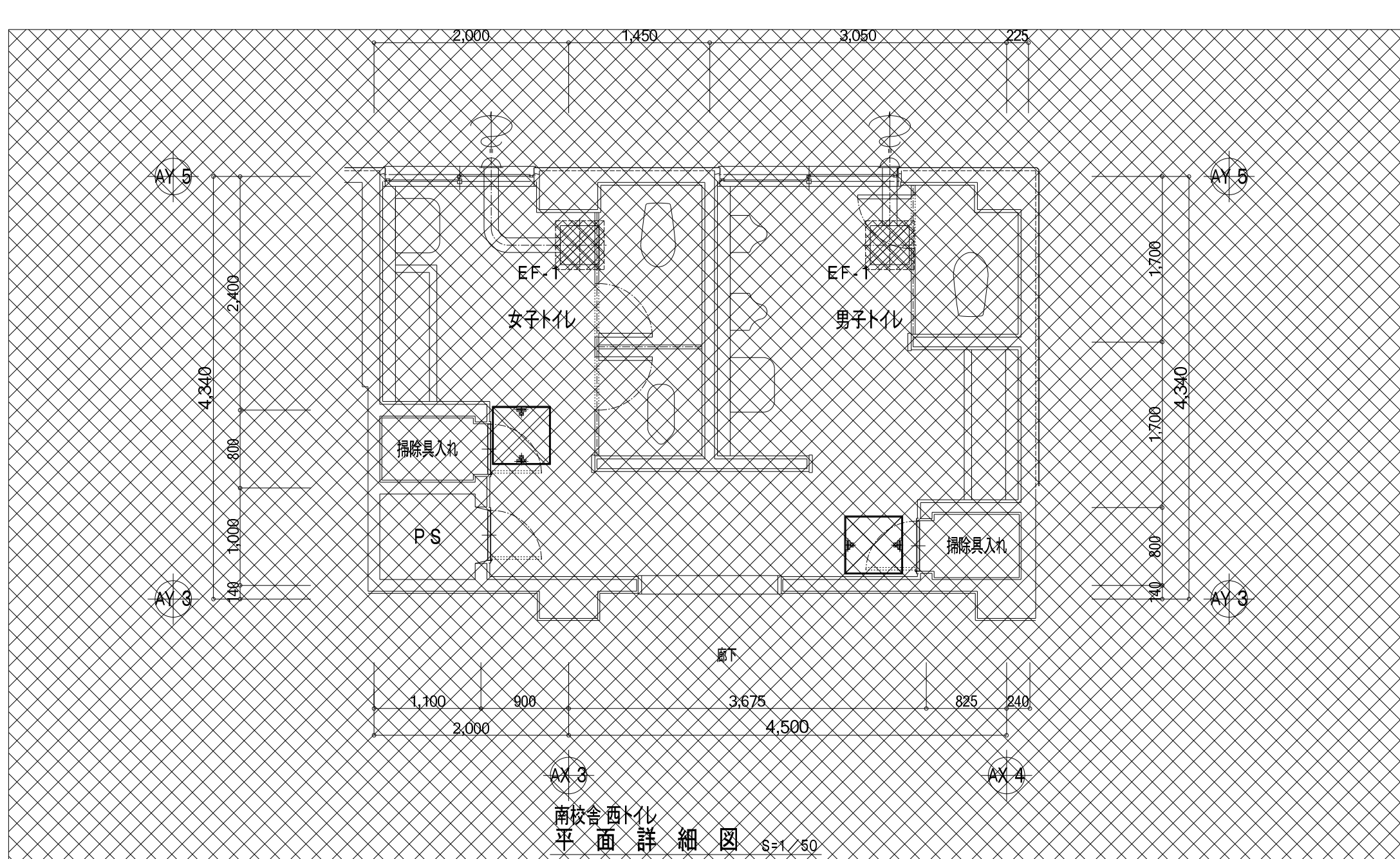
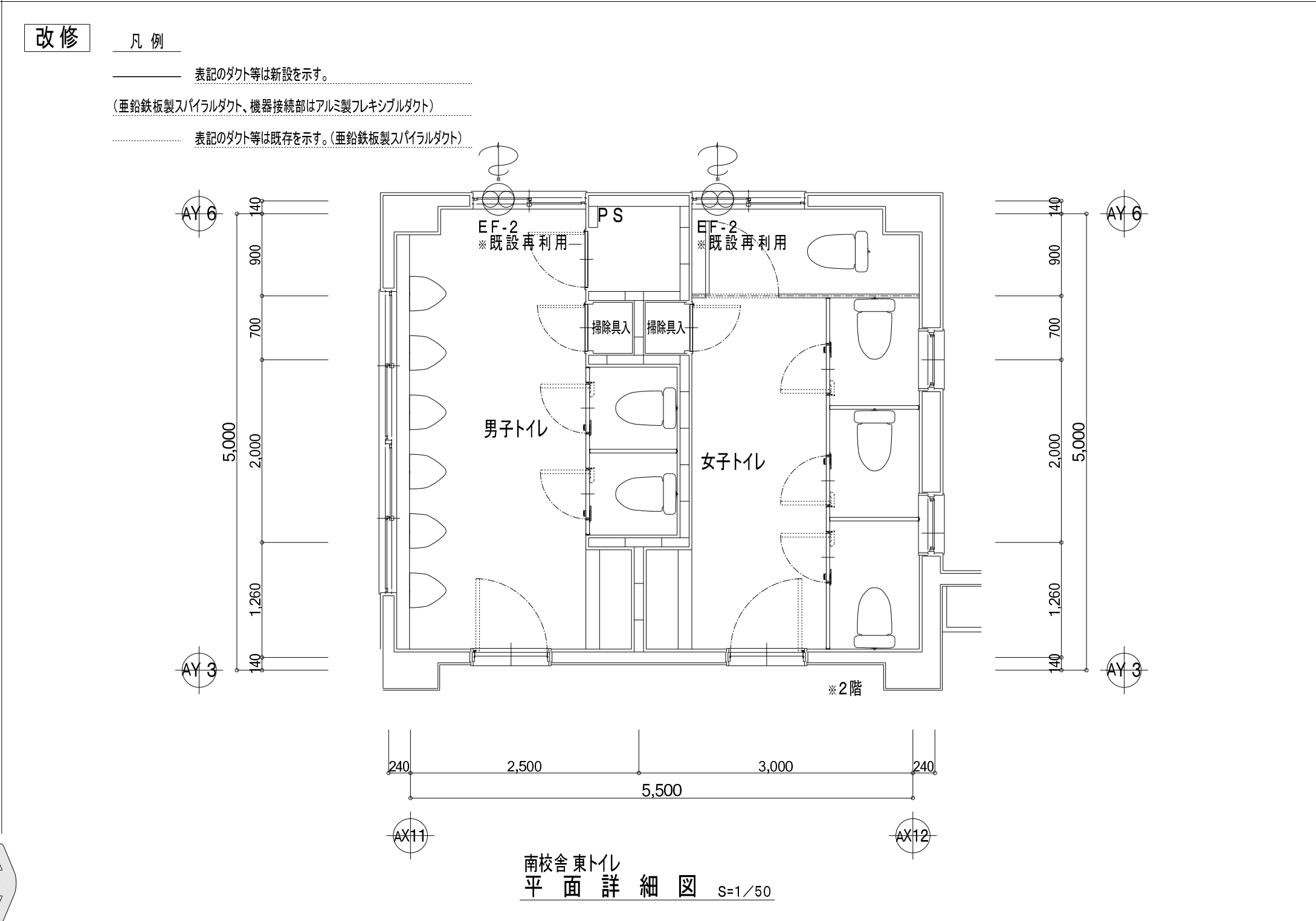
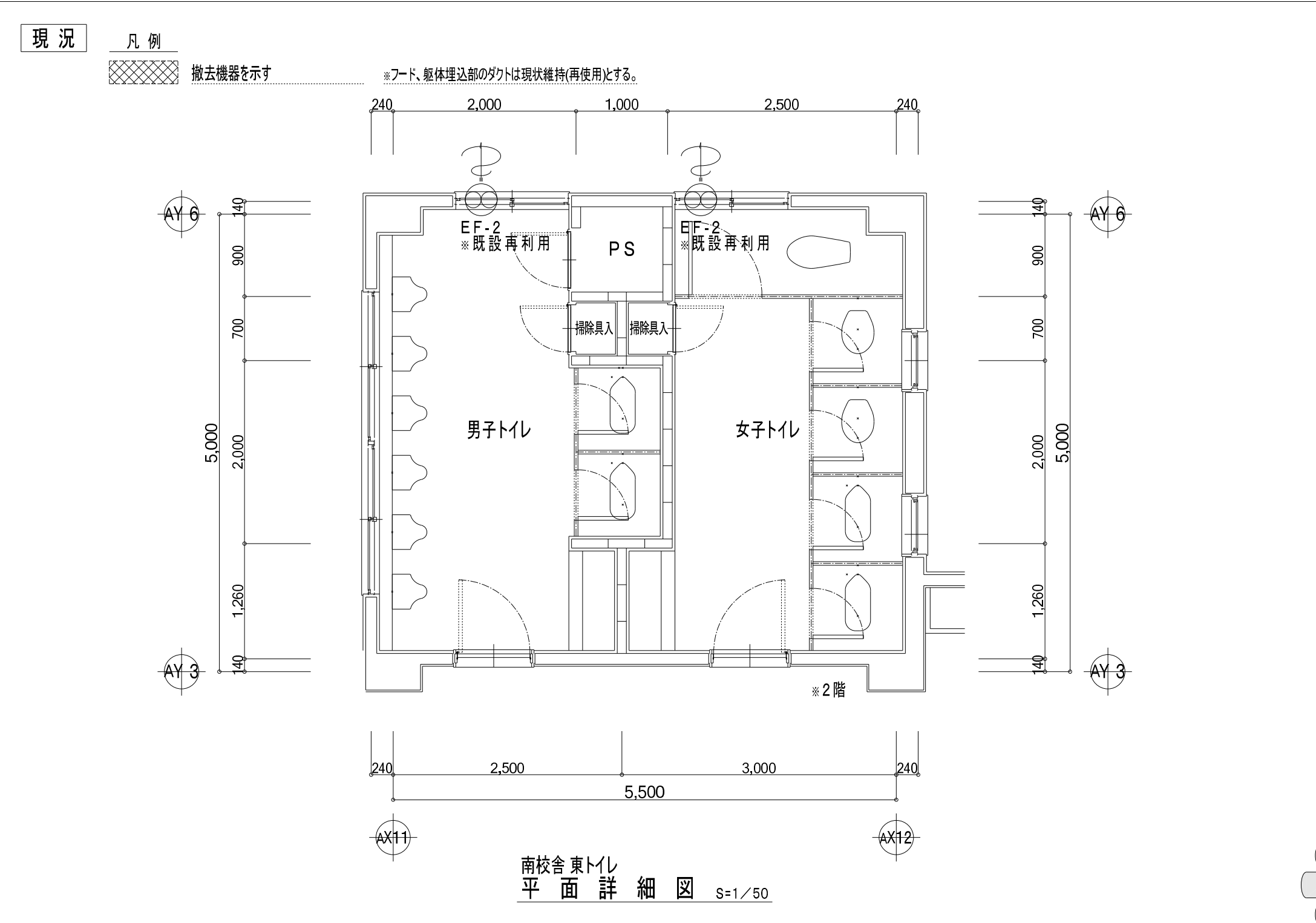
南校舎 東トイレ
3・4階平面詳細図 S=1/50



南校舎 東トイ
2階平面詳細図 S=1/50

特記事項	 斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋 藤 出	検 印 	設 計 	設計年月 R 7 . 3	工事名称 川越市立仙波小学校トイレ改修工事	No. M-13
				変更年月	図面名称 改修 南校舎 東トイレ 給排水衛生設備平面詳細図	





《週休２日制適用工事（現場閉所型）に係る特記仕様書》

本工事は「週休２日制適用工事（現場閉所型）」の試行対象工事である。

本工事は、月単位の週休２日を採用している。週休２日を守れなかった場合は減額変更となります。

実施は、川越市週休２日制適用工事要領（建築工事）（令和６年１１月１日施行）によるものとする。

同要領は、川越市総務部技術管理課ホームページで確認のこと。

技術管理課ホームページで確認のこと。

川越市総務部技術管理課ホームページ

<https://www.city.kawagoe.saitama.jp/sangyo/nyusatsu/1011724/1011747.html>